




置戸町  
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
結果報告書

令和5年3月  
置戸町



# 目 次

---

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 報告書の留意点.....	1
調査結果.....	2
あなたご自身のことなどについて.....	2
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	4
問2 からだを動かすことについて.....	8
問3 食べることについて.....	22
問4 毎日の生活について.....	32
問5 地域での活動について.....	52
問6 たすけあいについて.....	67
問7 健康について.....	81
問8 認知症に関する相談窓口などについて.....	87
問9 病院・医療施設の利用などについて.....	88
問10 今後の生活や暮らす場所などについて.....	89
問12 住まいの整備について.....	98
リスク分析.....	99
1 運動機能.....	100
2 転倒.....	101
3 低栄養.....	102
4 口腔機能.....	103
5 認知機能.....	104
6 認知機能の低下リスクの該当者クロス集計.....	105
自由意見.....	110

---

# 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、置戸町が今後の高齢者の保健福祉施策及び介護保険サービス利用見込みなどを検討するうえでの基礎資料として、生活状況、保健福祉に関する意識及び介護に関する考え方等を把握するために実施したものです。

## 2 調査の方法

### (1)調査対象

令和5年1月15日現在で、65歳以上の方(無作為抽出)

### (2)調査時期

令和5年2月13日～令和5年2月28日

### (3)調査方法

郵送配付・回収

### (4)配付・回収状況

配付数	回収数	回収率
600 票	399 票	66.5%

## 3 報告書の留意点

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

○「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。

○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

○ 百分率による集計では、回答者数(該当設問においては該当者数)を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。そのため、割合の合計が 100%にならない場合があります。

○ 複数回答(2つ以上選ぶ問)の設問では、すべての割合の合計が 100%を超えることがあります。

○ 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。クロス集計グラフでは、見やすさを考慮し「0.0」の表示を省略している場合があります。

○ 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

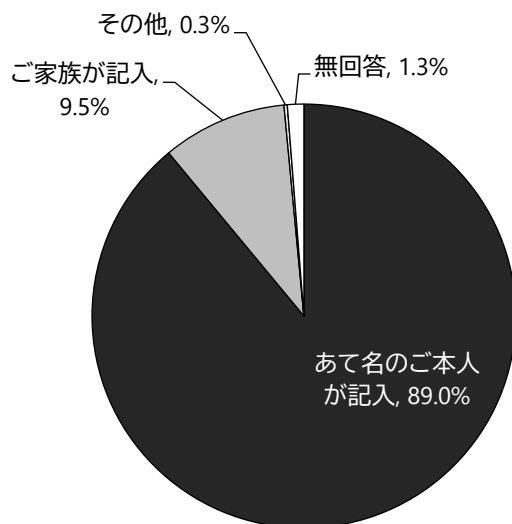
○必要に応じて令和2年に実施した前回調査との比較を行っています。

# 調査結果

## あなたご自身のことなどについて

### 調査票を記入されたのはどなたですか

「あて名のご本人が記入」が89.0%と最も多くなっています。



n=399

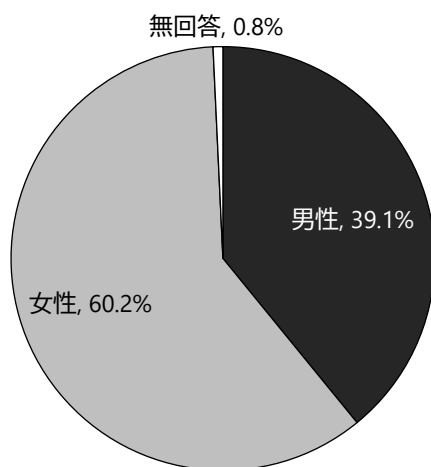
### 続柄の主な内容

妻 (10) / 長女 (3) / 子 (5) / 娘 (4) / 夫 (7) / 配偶者 (3) / 長男 (3) / 弟

※( )内の数字は同等内容の件数(以下同)

### あなたの性別について教えてください

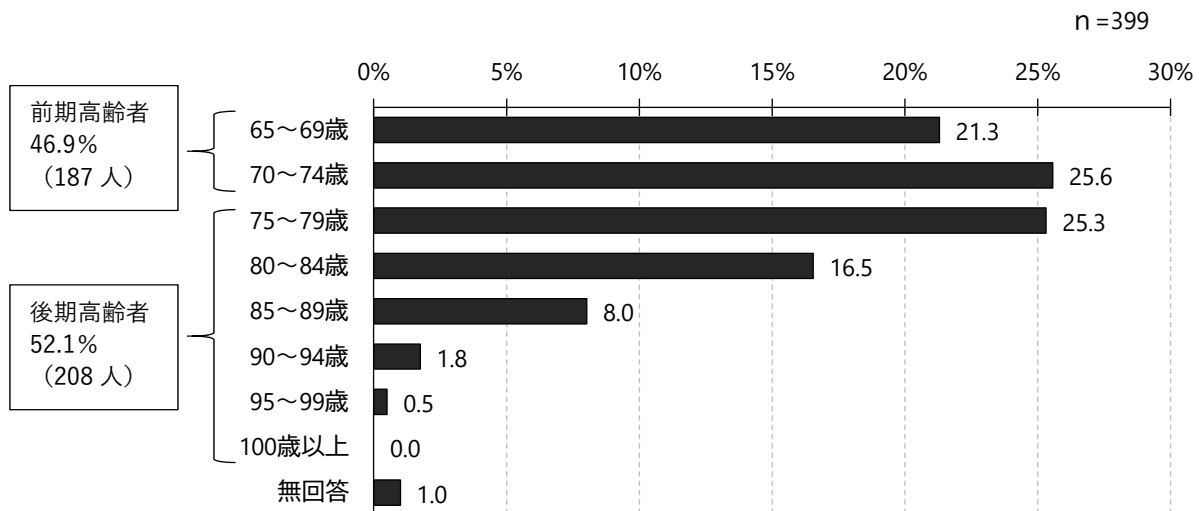
「男性」が39.1%、「女性」が60.2%となっています。



n=399

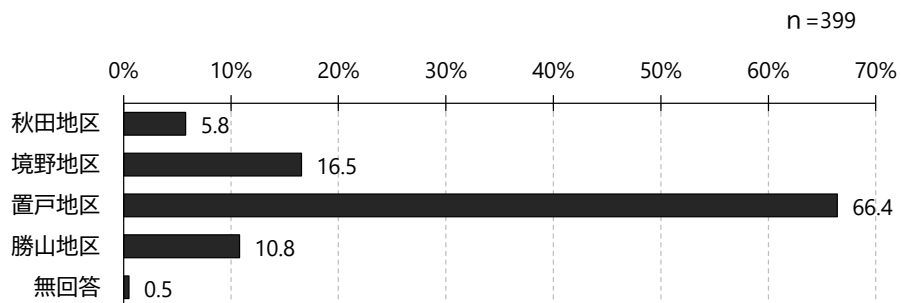
### あなたの年齢について教えてください

「70～74歳」が25.6%と最も多く、次いで「75～79歳」が25.3%、「65～69歳」が21.3%、「80～84歳」が16.5%、「85～89歳」が8.0%となっています。



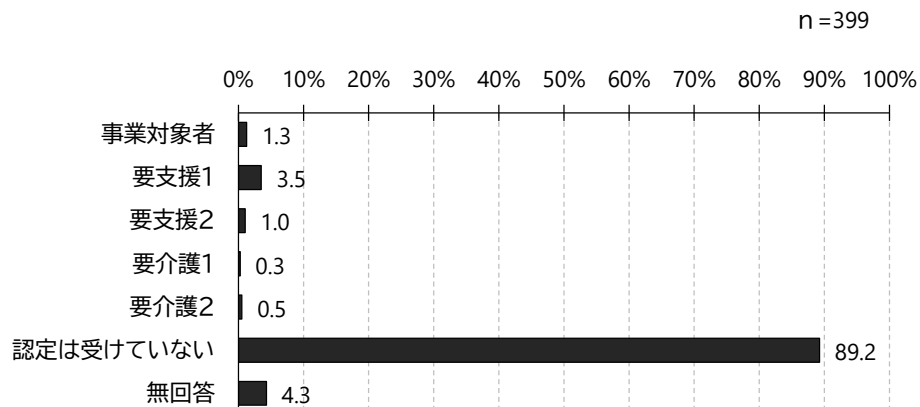
### お住まいの地区を教えてください

「置戸地区」が66.4%と最も多く、次いで「境野地区」が16.5%、「勝山地区」が10.8%、「秋田地区」が5.8%となっています。



### 現在受けている認定(要介護・要支援)の状況について教えてください

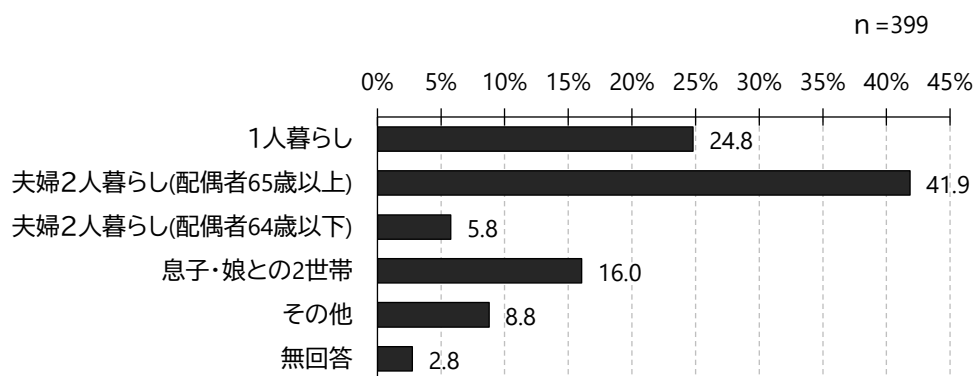
「認定は受けていない」が89.2%と最も多くなっています。



## 問1 あなたのご家族や生活状況について

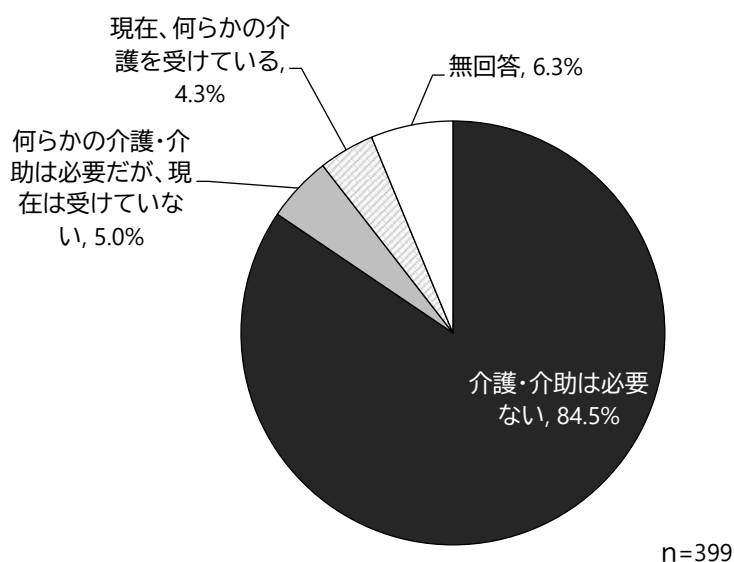
### (1) 家族構成を教えてください

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.9%と最も多く、次いで「1人暮らし」が24.8%、「息子・娘との2世帯」が16.0%、「その他」が8.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.8%となっています。



### (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

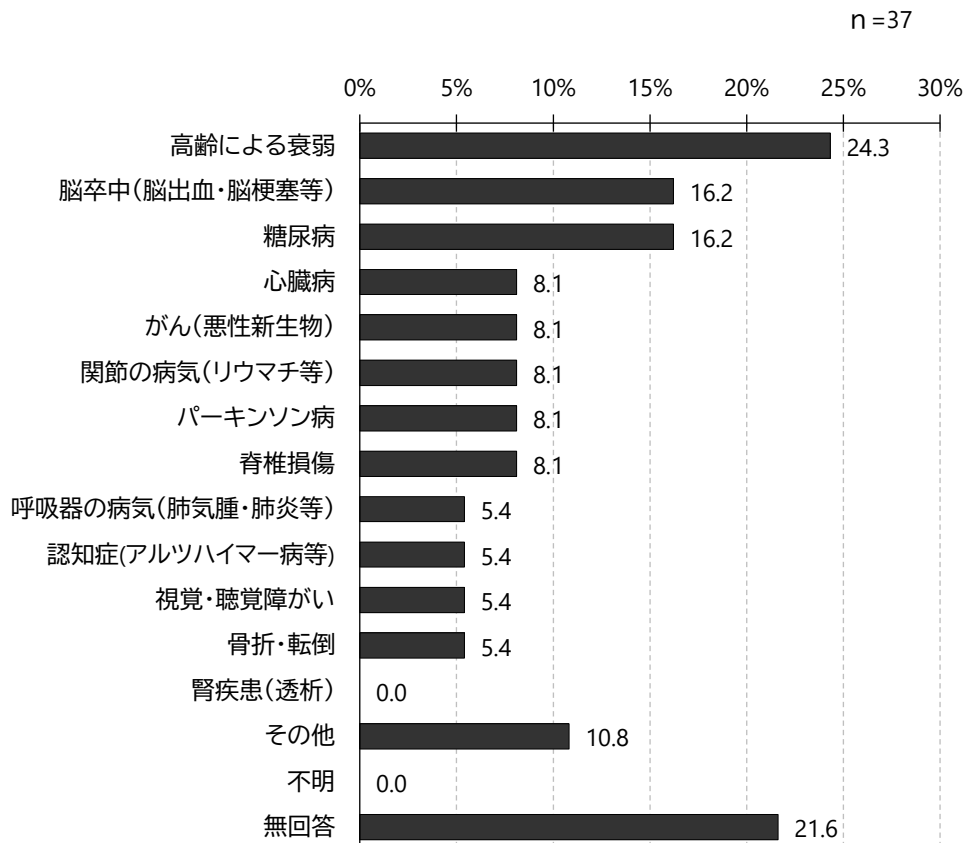
「介護・介助は必要ない」が84.5%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.0%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」が4.3%となっています。



(2)で「介護・介助は必要ない」以外を選択された方

(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(複数回答)

「高齢による衰弱」が24.3%と最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」及び「糖尿病」が16.2%となっています。



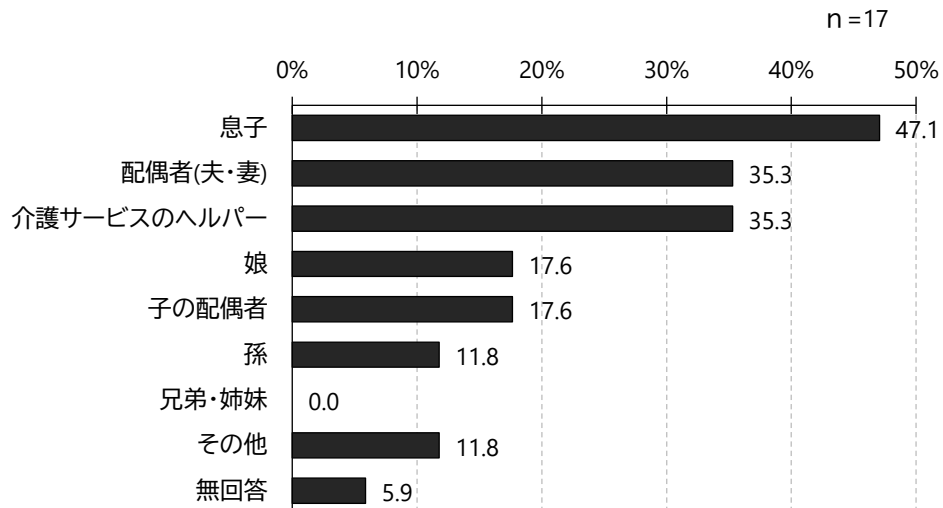
「その他」の主な内容

膝関節障害／リウマチ／腰痛

(2)で「現在、何らかの介護を受けている」を選択された方

(2)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(複数回答)

「息子」が 47.1%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」及び「介護サービスのヘルパー」が 35.3%となっています。



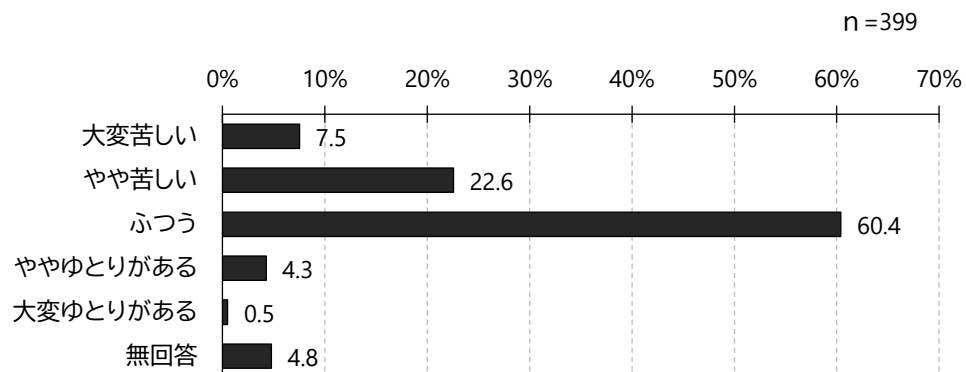
「その他」の主な内容

自分で頑張っている (2) / 従業員



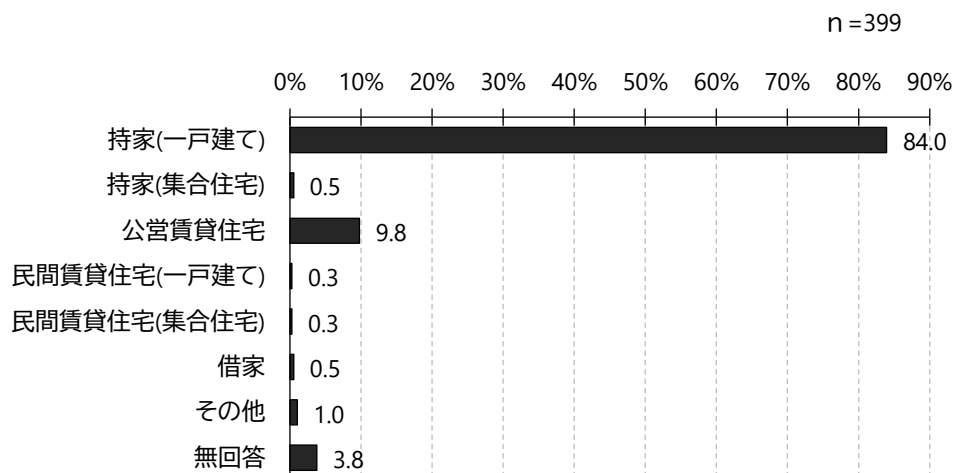
### (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が60.4%と最も多く、次いで「やや苦しい」が22.6%、「大変苦しい」が7.5%、「ややゆとりがある」が4.3%となっています。



### (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家(一戸建て)」が84.0%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が9.8%となっています。

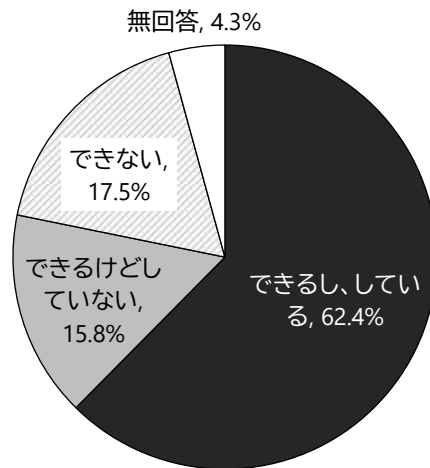


## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

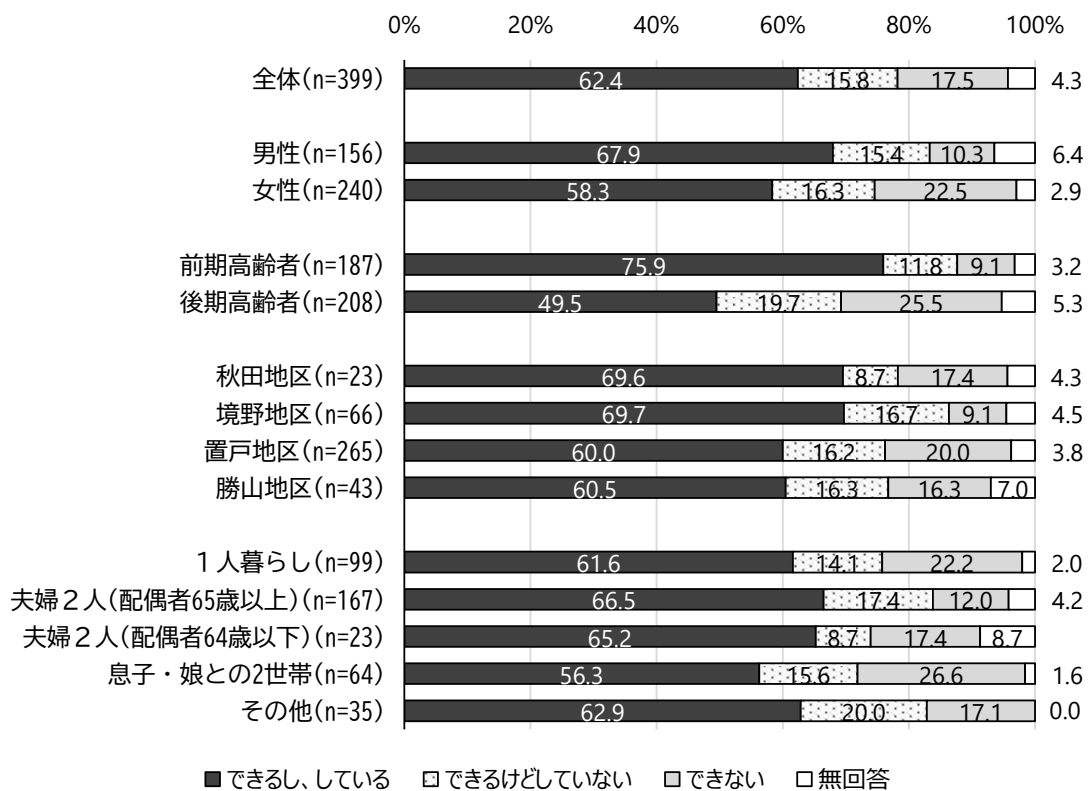
「できるし、している」が62.4%と最も多く、次いで「できない」が17.5%、「できるけどしていない」が15.8%となっています。

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、地区別では置戸地区で全体より高くなっています。



n=399

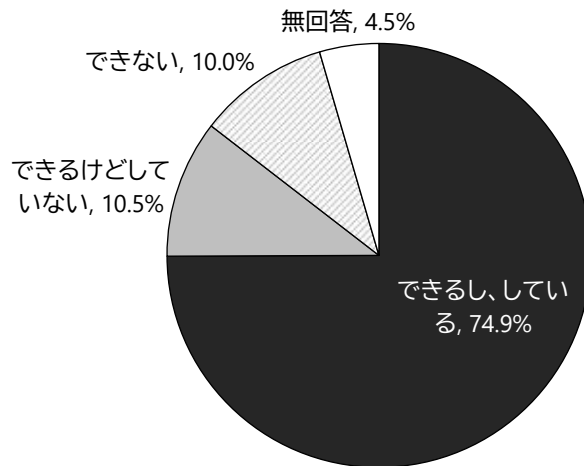
#### 性別・年齢別・地区別・家族構成別



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

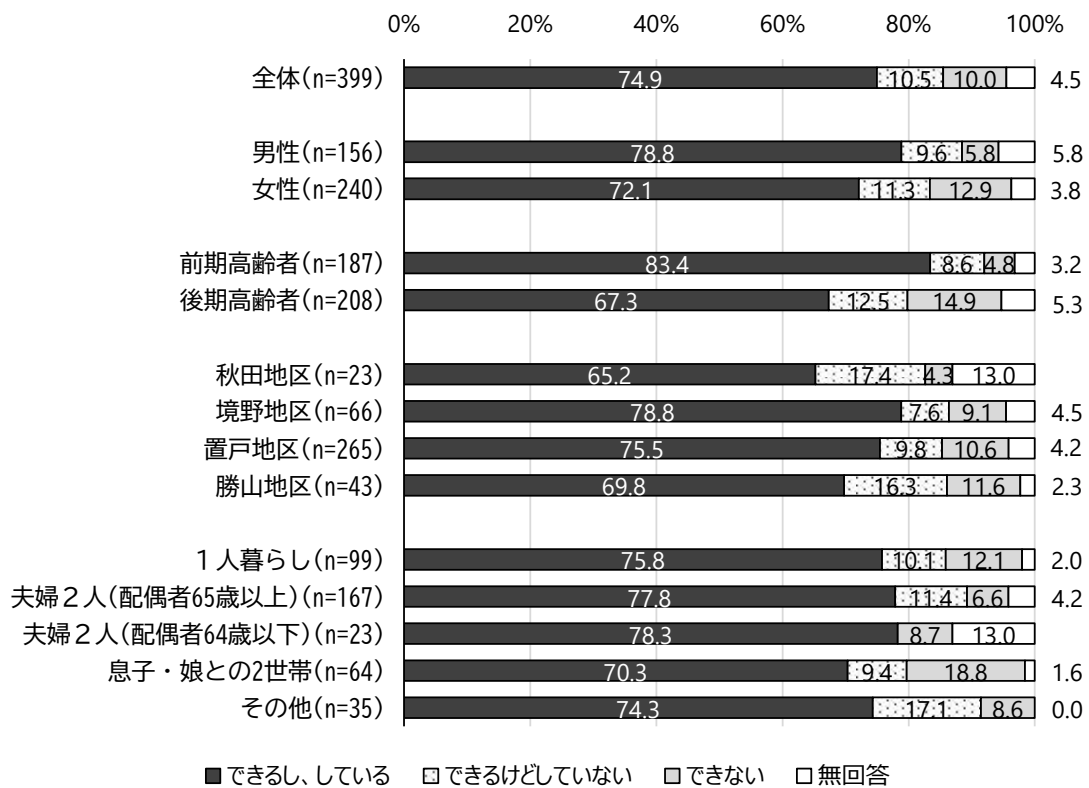
「できるし、している」が74.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.5%、「できない」が10.0%となっています。

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、地区別では置戸地区、勝山地区で全体より高くなっています。



n=399

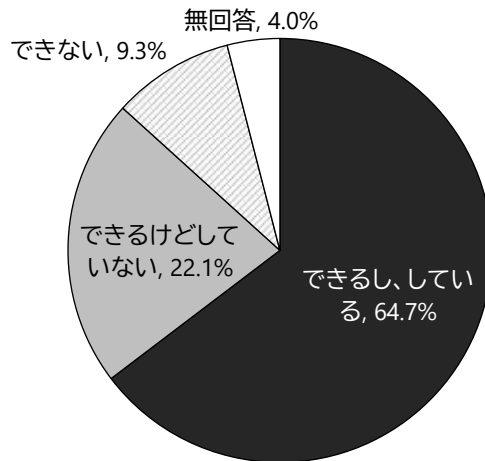
性別・年齢別・地区別・家族構成別



### (3) 15分位続けて歩いていますか

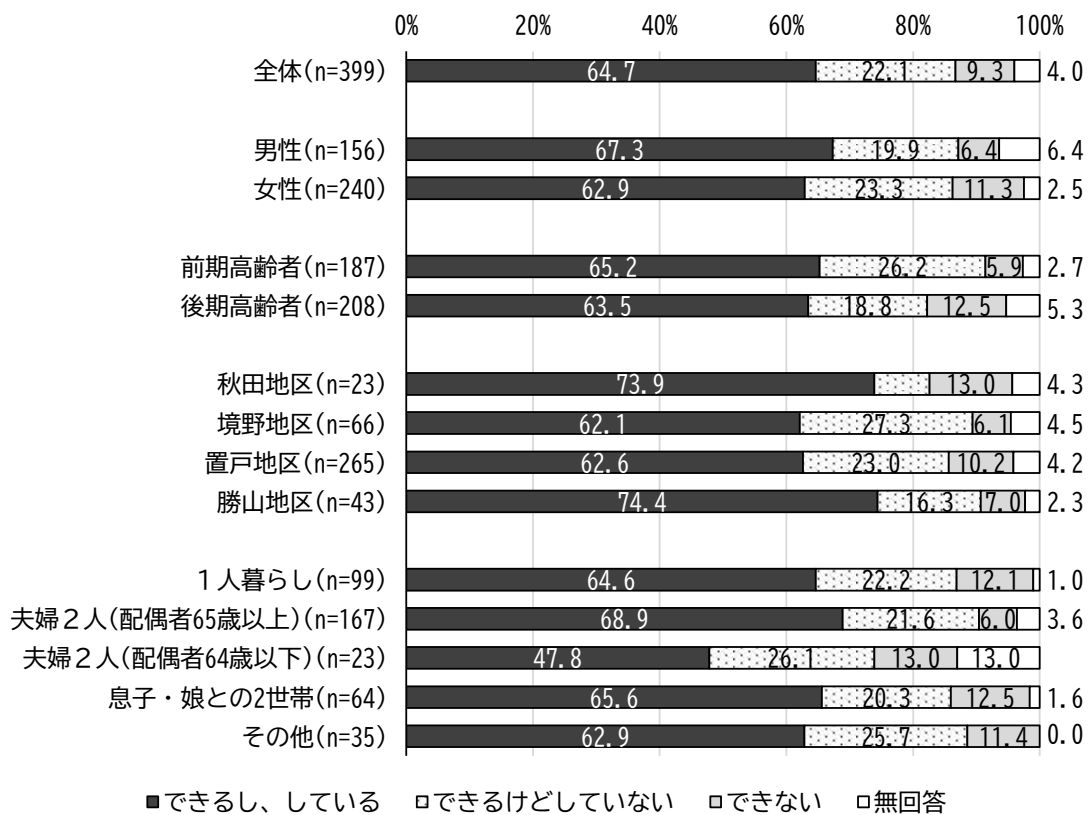
「できるし、している」が64.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.1%、「できない」が9.3%となっています。

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、地区別では秋田地区、置戸地区で全体より高くなっています。



n=399

#### 性別・年齢別・地区別・家族構成別

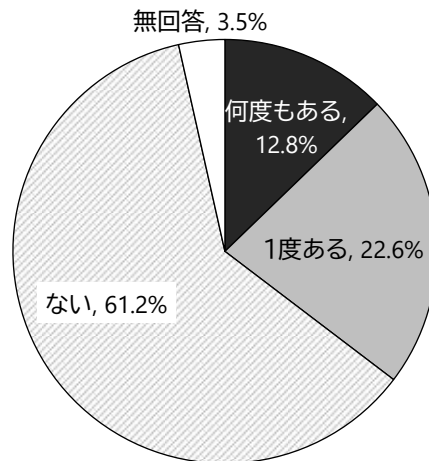


#### (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「ない」が61.2%と最も多く、次いで「1度ある」が22.6%、「何度もある」が12.8%となっています。

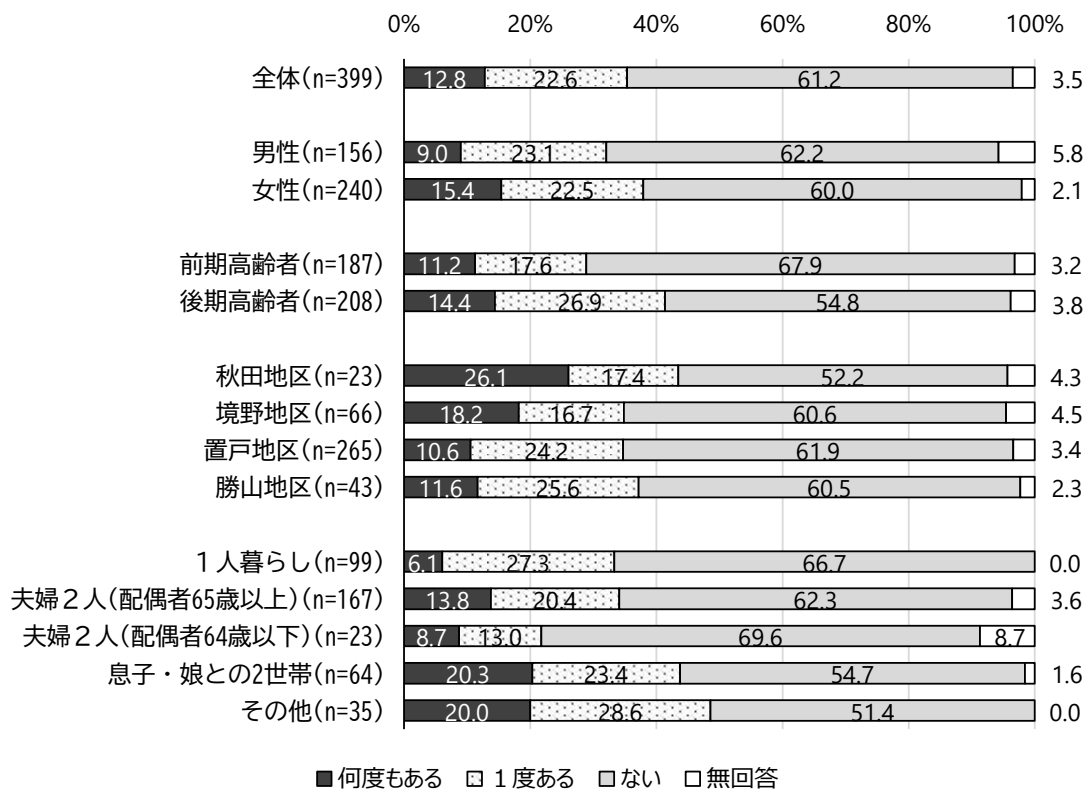
「何度もある」の割合は、性別では女性の方が高く、地区別では秋田地区、境野地区で全体より高くなっています。

また、1人暮らしでの「何度もある」「1度ある」の合計は33.4%となっています。



n=399

#### 性別・年齢別・地区別・家族構成別

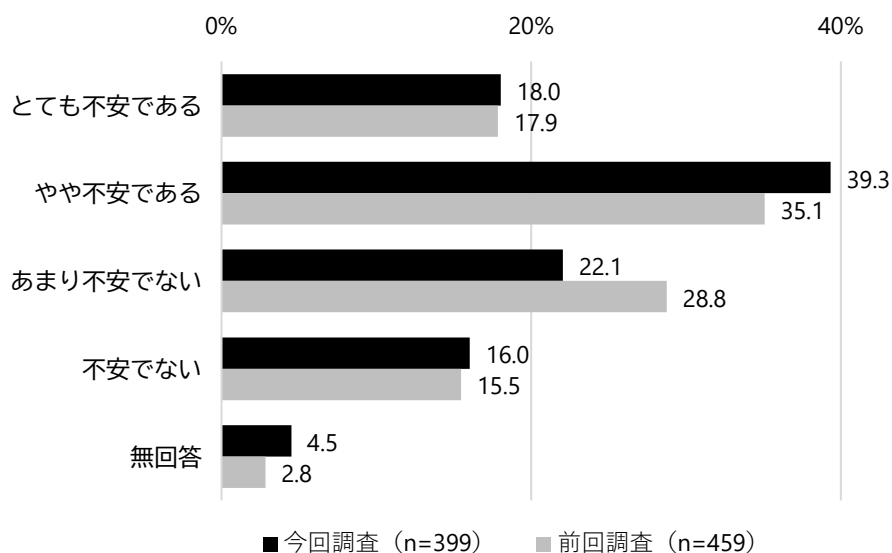


### (5) 転倒に対する不安は大きいですか

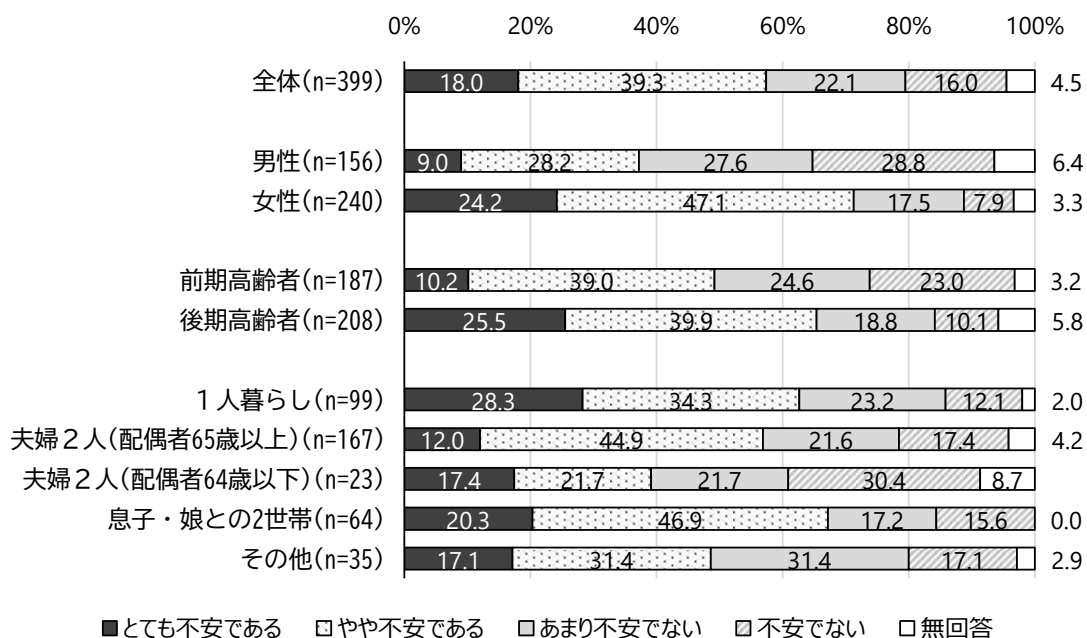
「やや不安である」が39.3%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が22.1%、「とても不安である」が18.0%、「不安でない」が16.0%となっています。

前回調査と比較すると「やや不安である」が4.2ポイント増加しています。

「とても不安である」の割合は、性別では女性の方が高く、家族構成別では1人暮らしで28.3%と高くなっています。



#### 性別・年齢別・家族構成別

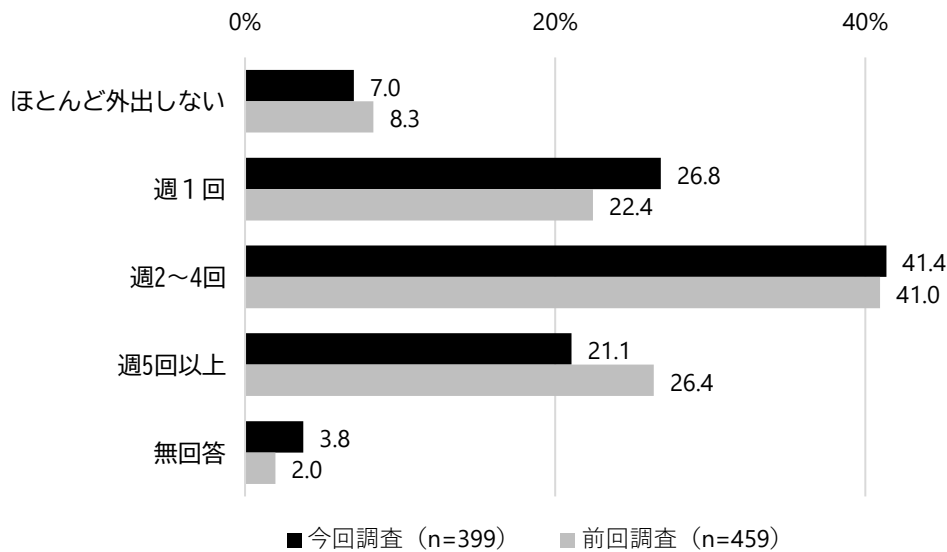


(6) 週に1回以上は外出していますか

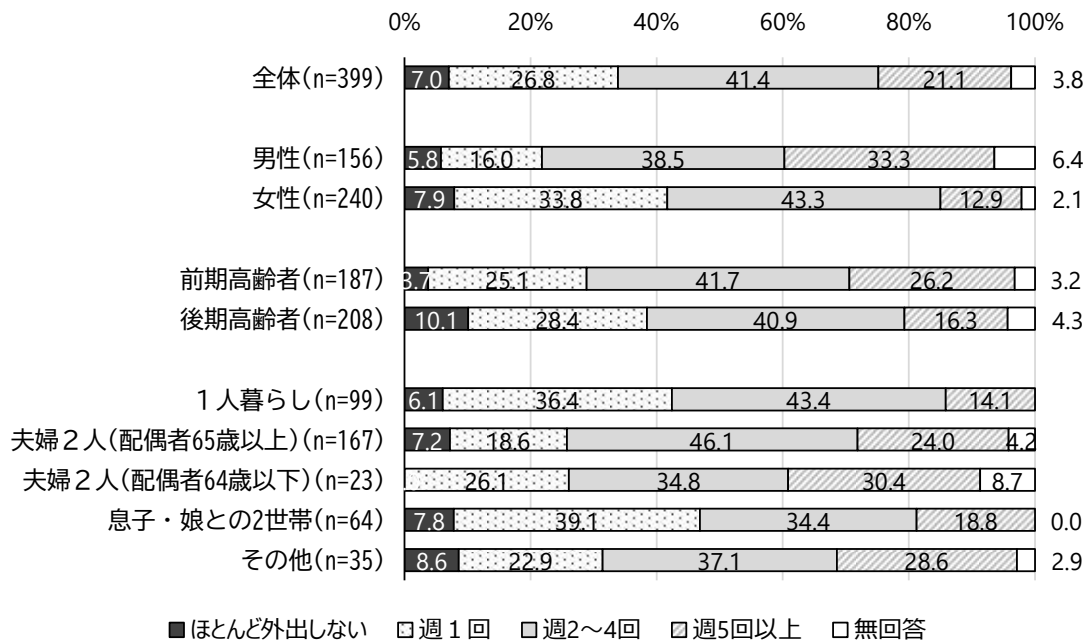
「週2~4回」が41.4%と最も多く、次いで「週1回」が26.8%、「週5回以上」が21.1%、「ほとんど外出しない」が7.0%となっています。

前回調査と比較すると、「週1回」は4.4ポイントの増加、「週5回以上」は5.3ポイントの減少となっています。

「ほとんど外出しない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



性別・年齢別・家族構成別

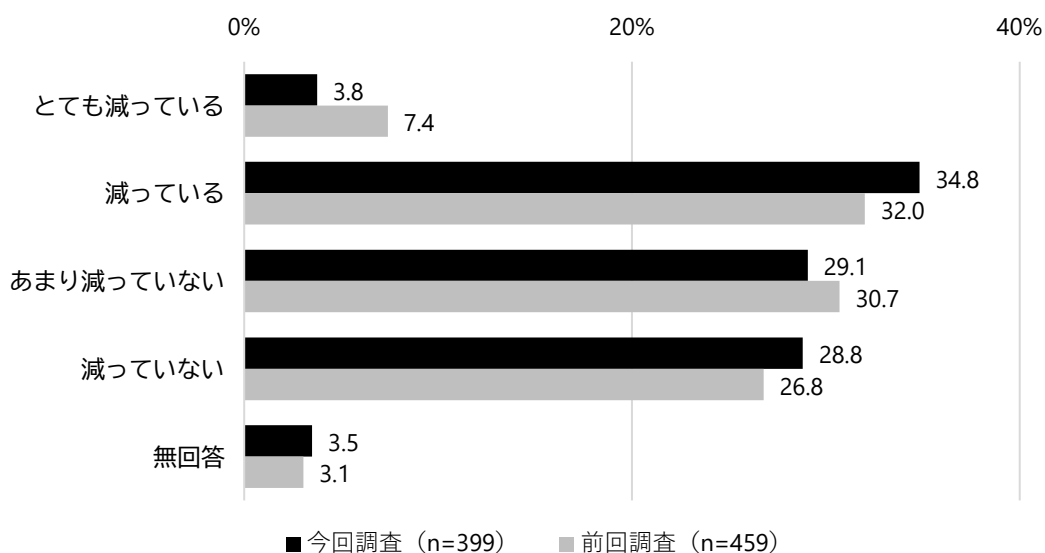


### (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

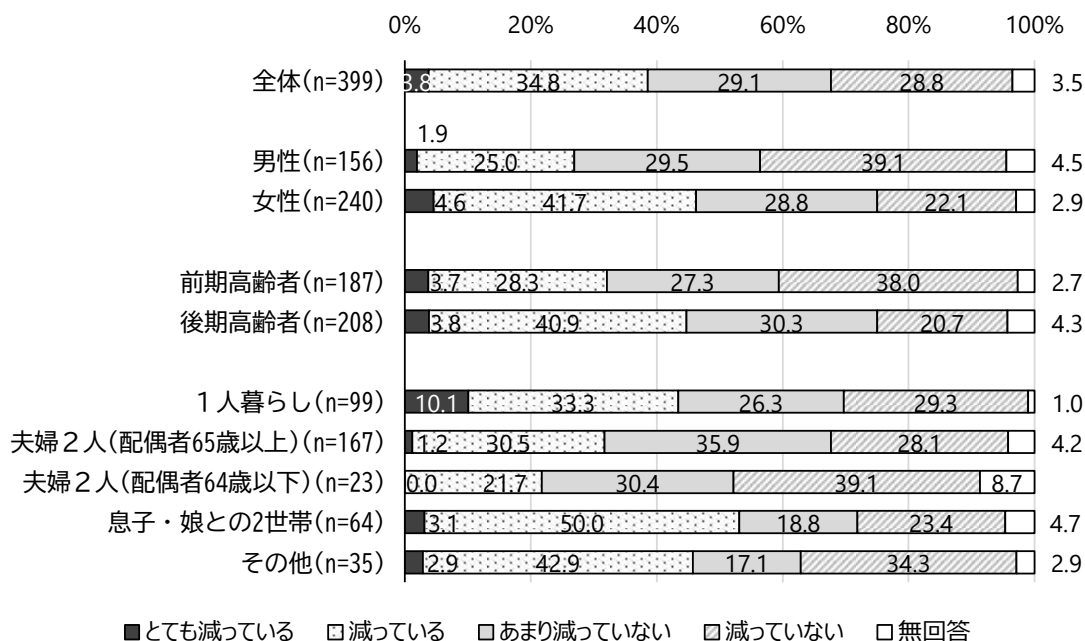
「減っている」が34.8%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が29.1%、「減っていない」が28.8%、「とても減っている」が3.8%となっています。

前回調査と比較すると、「とても減っている」と「あまり減っていない」が減少、「減っている」と「減っていない」が増加となっており、外出頻度に一定の傾向がみられません。

「とても減っている」の割合は、家族構成別では1人暮らしで10.1%と高くなっています。



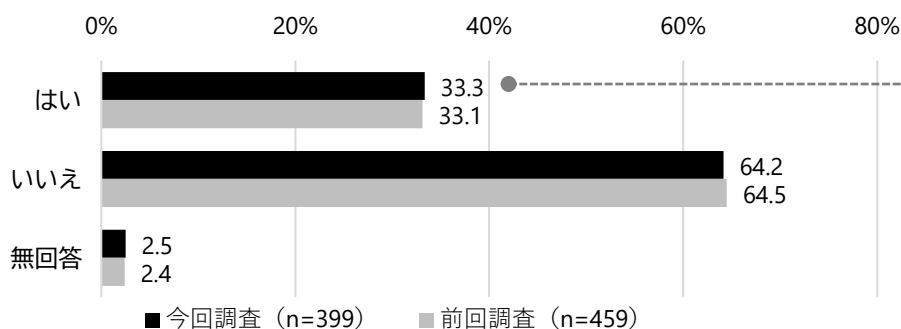
### 性別・年齢別・家族構成別





## (8) 外出を控えていますか

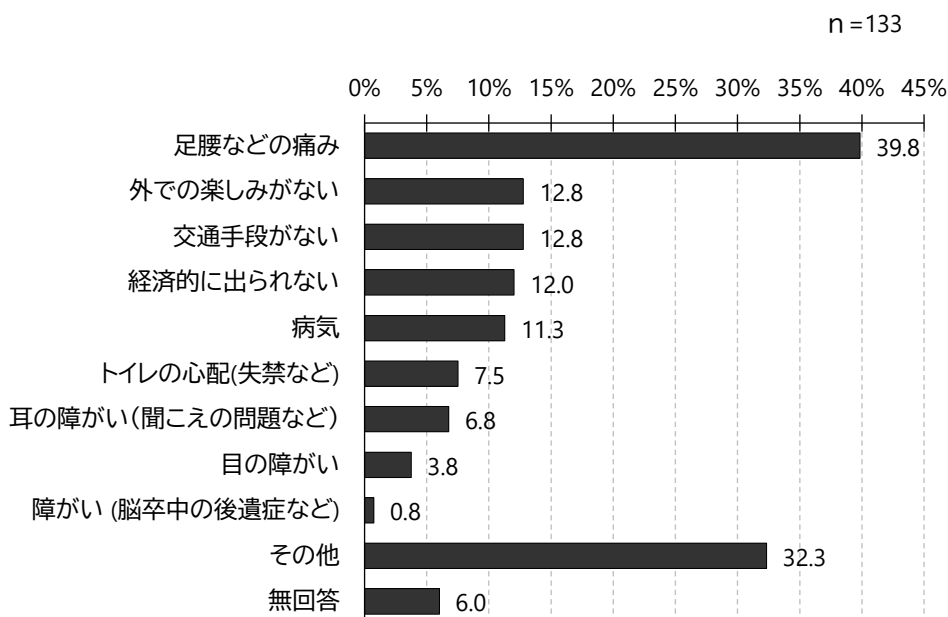
「はい」が33.3%、「いいえ」が64.2%となっています。  
前回調査と比較しても、ほとんど差がありません。



### (8)で「はい」を選択された方(外出を控えている方)

#### (8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか(複数回答)

「足腰などの痛み」が39.8%と最も多く、次いで「その他」が32.3%、「外での楽しみがない」及び「交通手段がない」が12.8%、「経済的に出られない」が12.0%となっています。



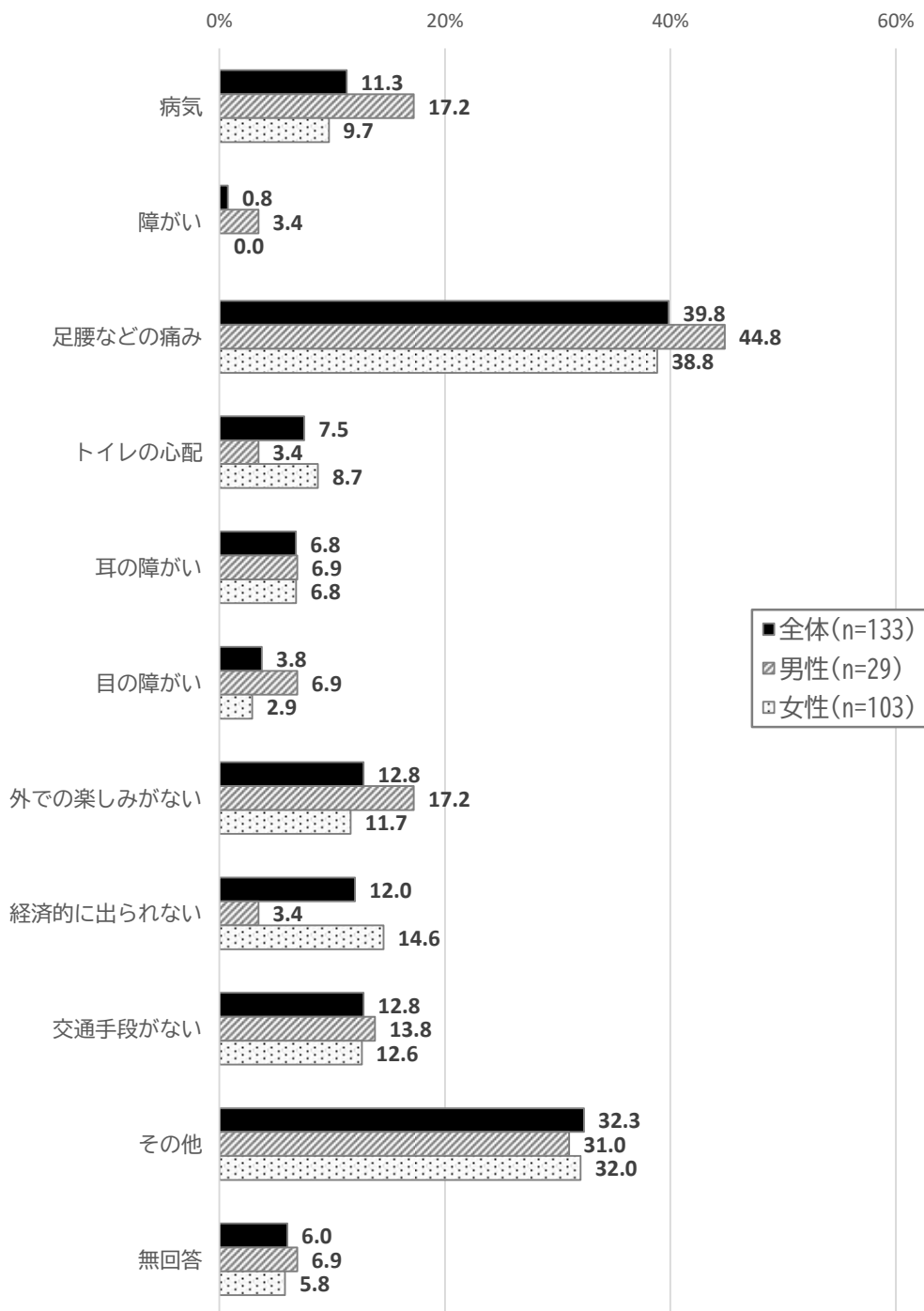
#### 「その他」の主な内容

新型コロナウイルス感染対策で・新型コロナウイルスが心配 (31) /外出したくない・面倒 (3) /人に会いたくない、関わりたくない (2) /インフルエンザが心配 (2) /介護者がいるから /歳相応の衰弱 /夫が要介護認定を受けているから /仕事 (店番) 従事中で暇がない /体力に自信がない /寒い /必要ではない外出を控えている /等

外出を控えている理由について、性別に割合をみると、身体的理由では、「病気」「障がい」「足腰などの痛み」「目の障がい」は男性の方が高く、「トイレの心配」は女性の方が高くなっています。「耳の障がい」は性別による差がほとんどみられません。

身体的理由以外では、「外での楽しみがない」「交通手段がない」は男性の方が割合が高く、「経済的に出られない」は女性の方が割合が高くなっています。

**性別**

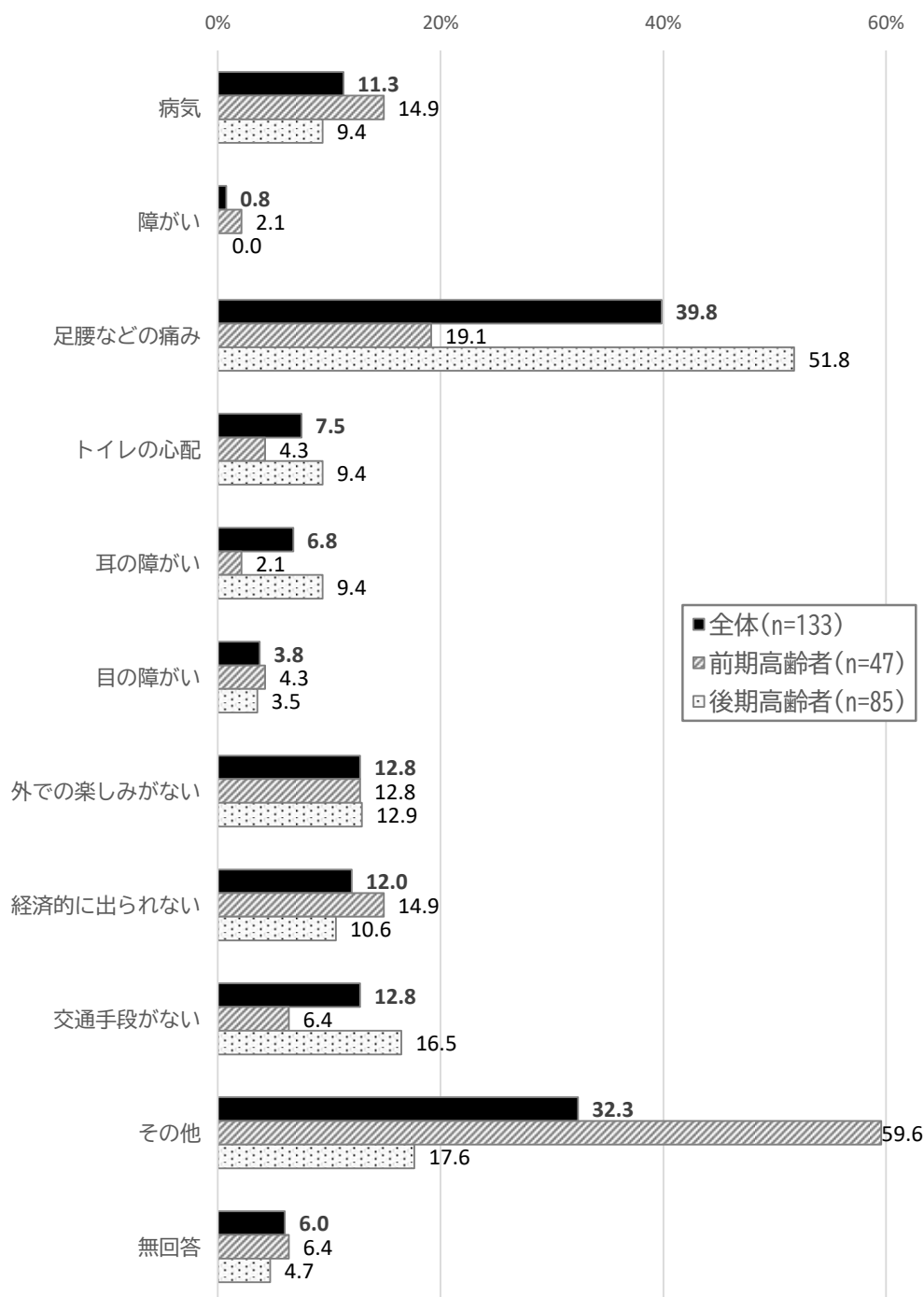


外出を控えている理由について、年齢別に割合をみると、身体的理由では、「病気」「障がい」「目の障がい」は前期高齢者の方が高く、「足腰などの痛み」「トイレの心配」「耳の障がい」は後期高齢者の方が高くなっています。

身体的理由以外では、「経済的に出られない」は前期高齢者の方が高く、「交通手段がない」は後期高齢者の方が高くなっています。

「外での楽しみがない」は年齢による差がほとんどみられません。

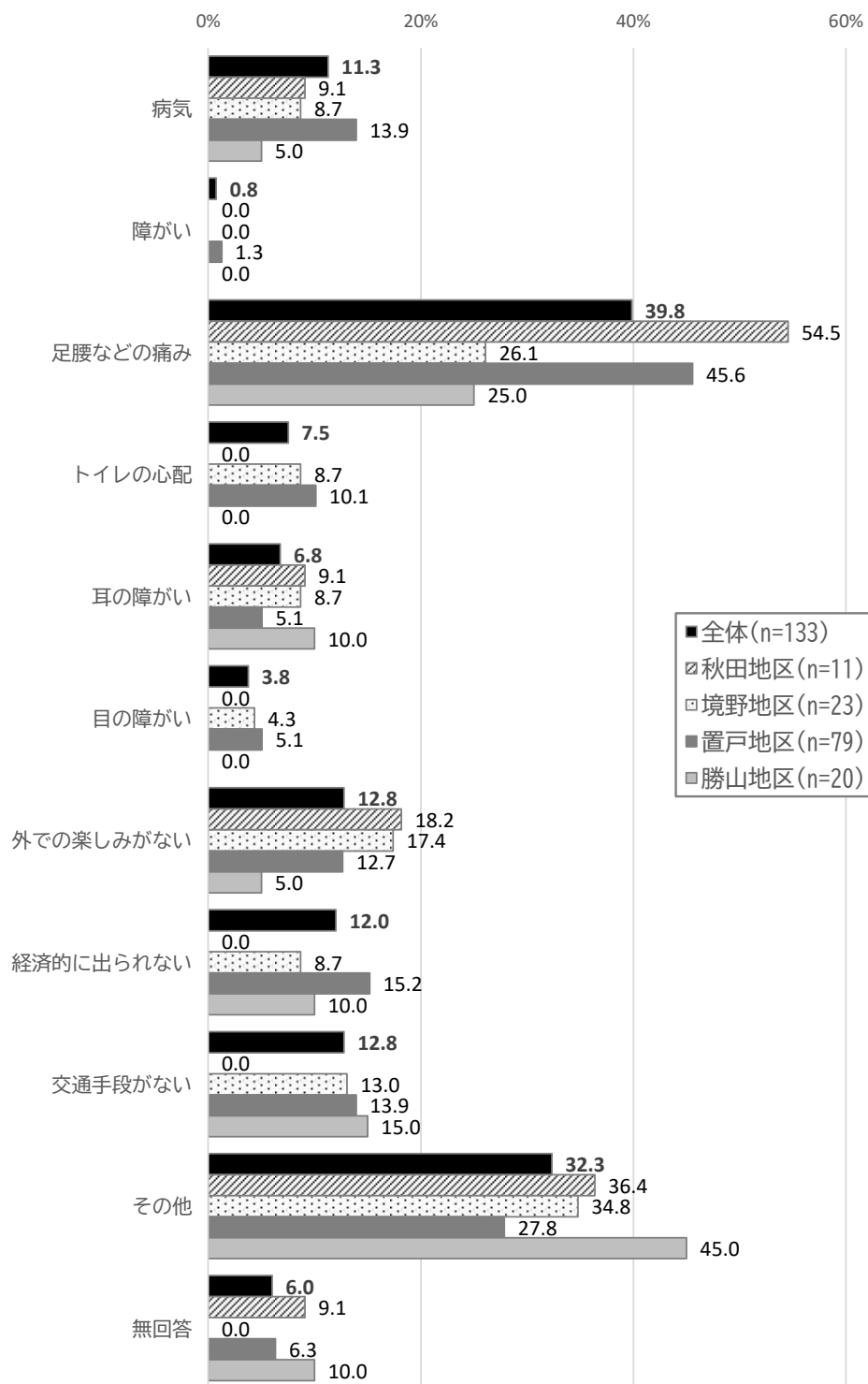
### 年齢別



外出を控えている理由について地区別にみると、全体で最も割合の高い「足腰などの痛み」は、秋田地区で最も高くなっています。

身体的な理由以外では、「外での楽しみがない」は秋田地区、「経済的に出られない」は置戸地区、「交通手段がない」は勝山地区が最も高くなっています。

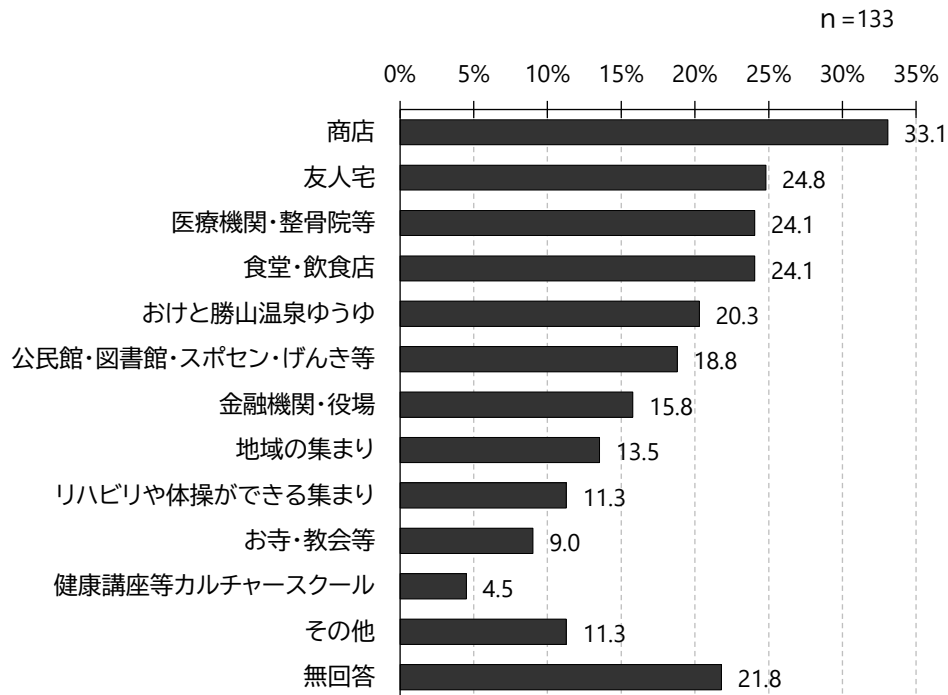
### 地区別



(8)で「はい」を選択された方(外出を控えている方)

(8)-② 外出できるとしたら、どこに行きたいですか(複数回答)

「商店」が 33.1%と最も多く、次いで「友人宅」が 24.8%、「医療機関・整骨院等」及び「食堂・飲食店」が 24.1%、「おけと勝山温泉ゆうゆ」が 20.3%となっています。

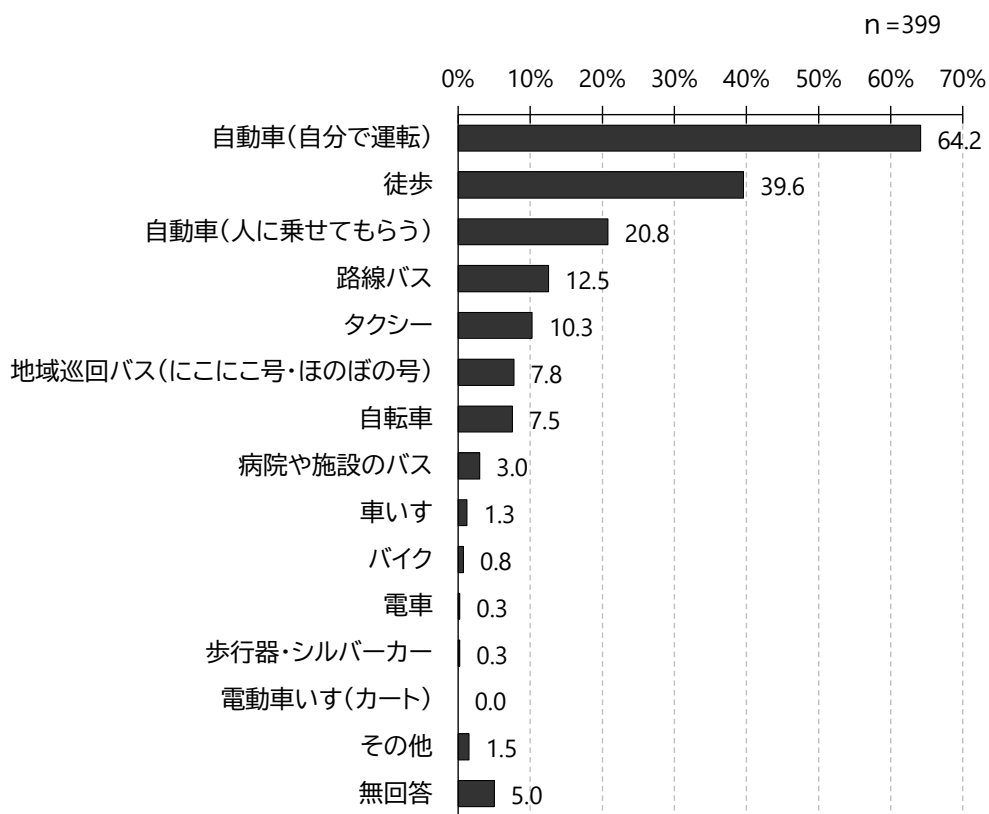


「その他」の主な内容

旅行 (4) / ドライブ (2) / 町外 (2) / 道の駅のスタンプラリー / 老人クラブ / 通所介護事業所 / 子供の家 / 親類宅 / パークゴルフ / 登山 / 人の集まる所は苦手 / あまり出歩きたくない / 等

### (9) 外出する際の移動手段は何ですか(複数回答)

「自動車（自分で運転）」が64.2%と最も多く、次いで「徒歩」が39.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が20.8%、「路線バス」が12.5%、「タクシー」が10.3%となっています。



#### 「その他」の主な内容

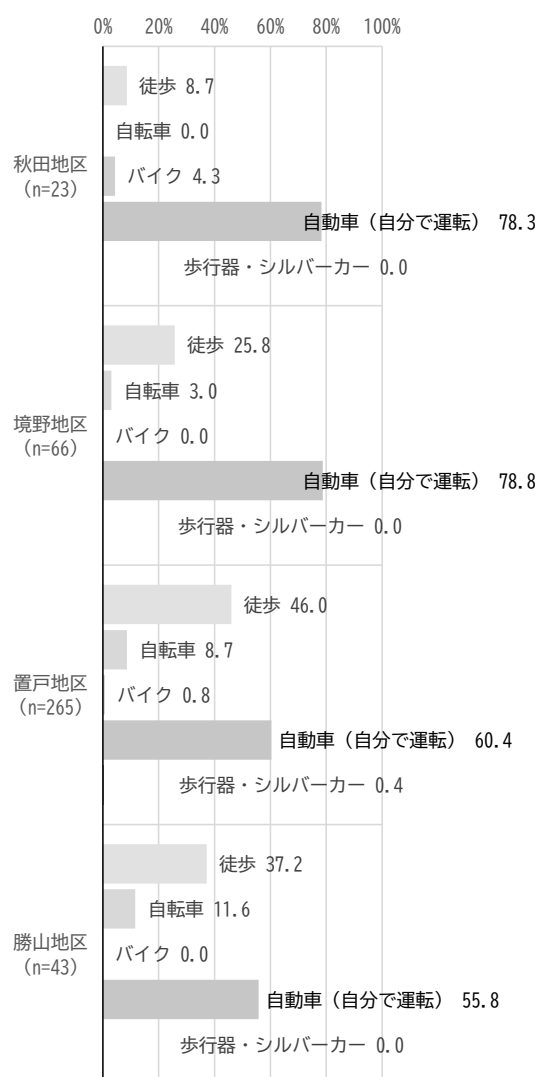
子供（二家族）の車／隣の車／家族の車／等

自力による移動手段（左グラフ）を地区別にみると、「徒歩」は置戸地区、勝山地区、「自動車（自分で運転）」は秋田地区、境野地区、「自転車」は置戸地区、勝山地区で比較的多くなっています。

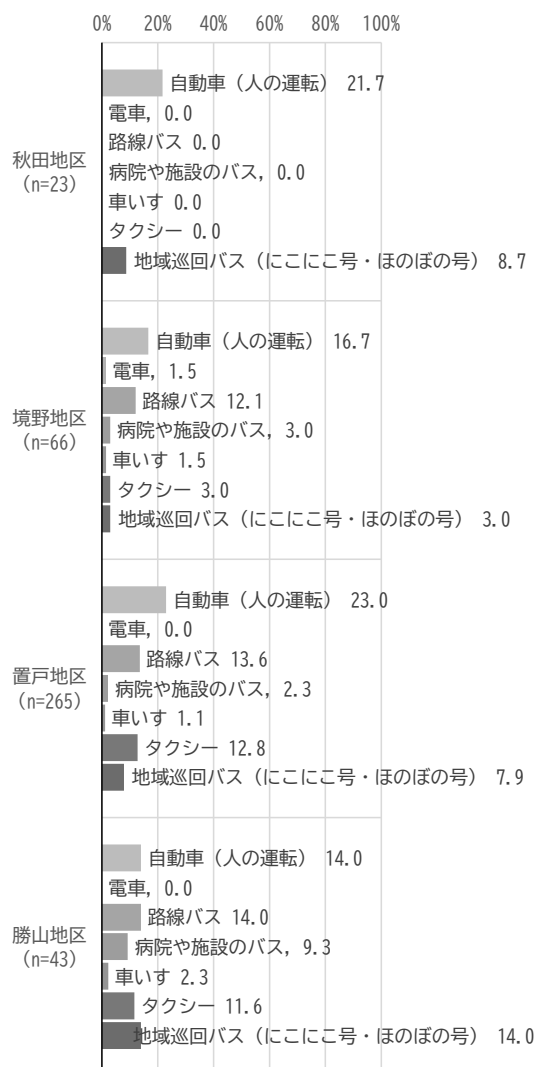
補助によるものや交通機関による移動手段（右グラフ）を地区別にみると、「自動車（人の運転）」は秋田地区、置戸地区で比較的多く、「地域巡回バス」は境野地区で比較的少なくなっています。「病院や施設のバス」は勝山地区で比較的多く、秋田地区では地域巡回バス以外の交通機関の利用がみられません（n=23 と少ないことに留意が必要）。

## 地区別

### 自力での移動



### 補助・交通機関による移動

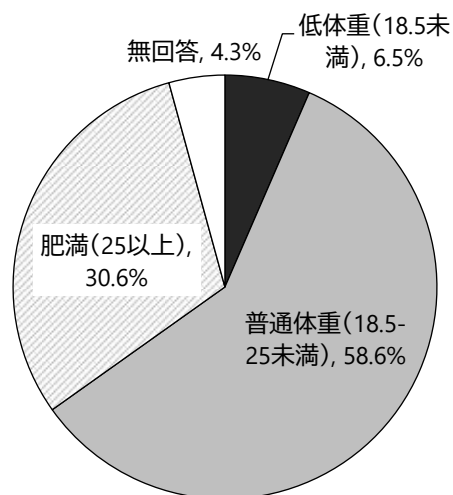


### 問3 食べることについて

#### (1) 身長・体重を教えてください

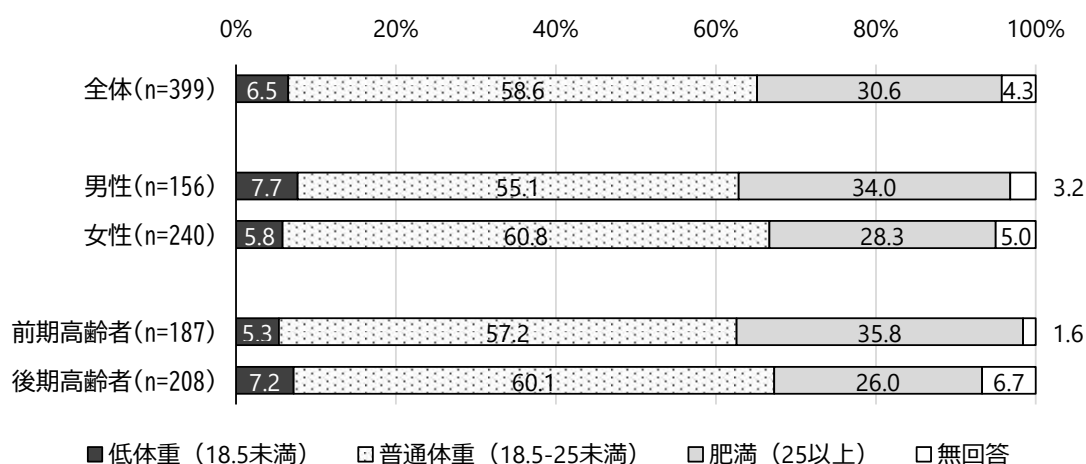
身長・体重から算出した BMI 指数<sup>1</sup>は「普通体重（18.5-25 未満）」が 58.6%と最も多く、次いで「肥満（25 以上）」が 30.6%、「低体重（18.5 未満）」が 6.5%となっています。

「低体重」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

#### 性別・年齢別



<sup>1</sup> BMI 指数: 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))

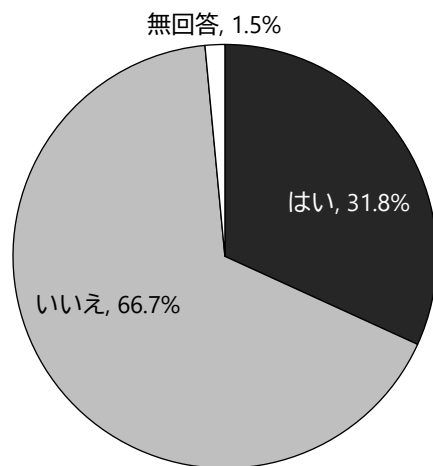
身長と体重に基づいて太り具合を指数化した値。日本肥満学会では、統計的にもっとも病気にかかりにくい BMI 指数 22 を標準体重としてその前後の 18.5 から 25 未満を普通体重、18.5 未満を低体重、25 以上を肥満としています。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

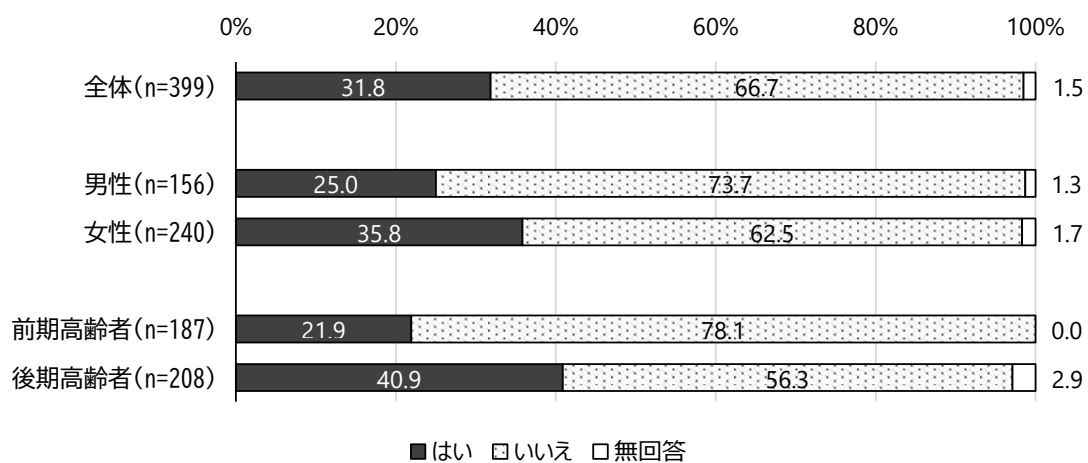
「はい」が31.8%、「いいえ」が66.7%となっています。

「はい」の割合は、性別では女性の方が多く、後期高齢者では40.9%となっています。



n=399

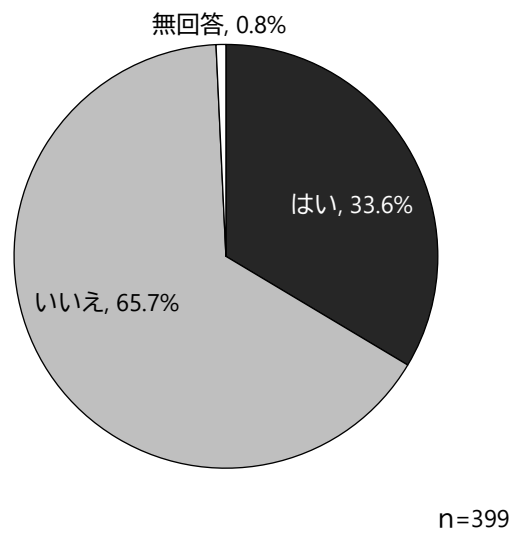
性別・年齢別



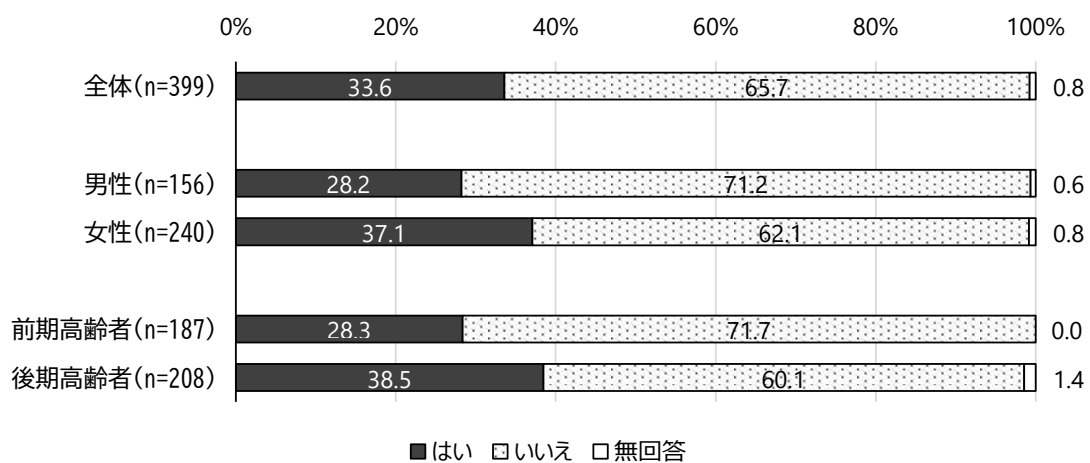
### (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が33.6%、「いいえ」が65.7%となっています。

「はい」の割合は、性別では女性の方が多く、年齢別では後期高齢者の方が多くなっています。



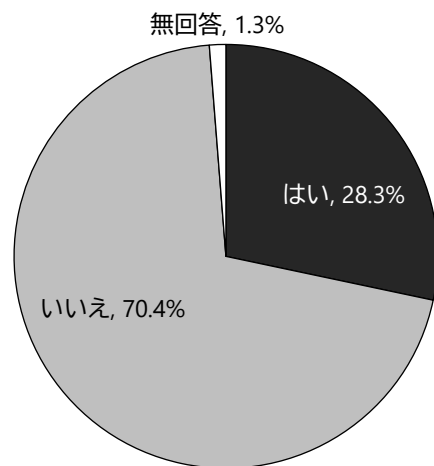
#### 性別・年齢別



#### (4) 口の渇きが気になりますか

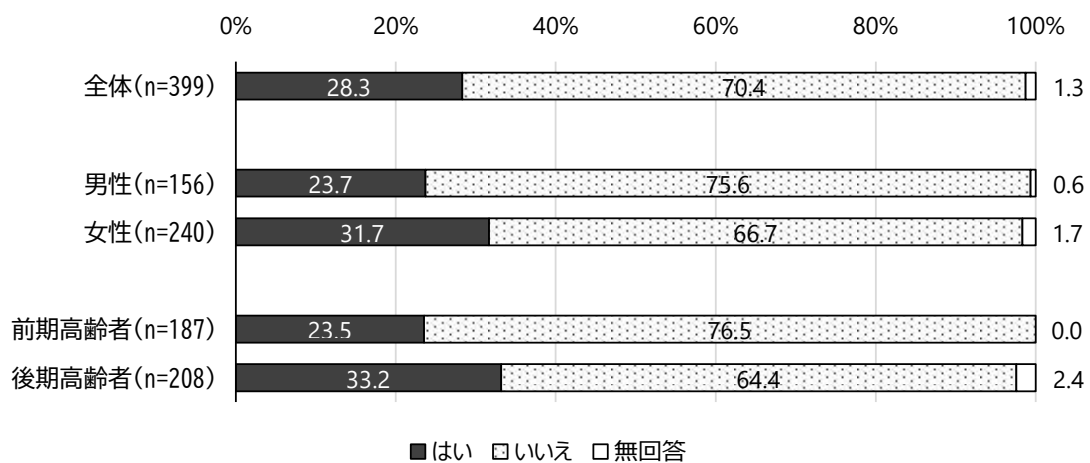
「はい」が28.3%、「いいえ」が70.4%となっています。

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

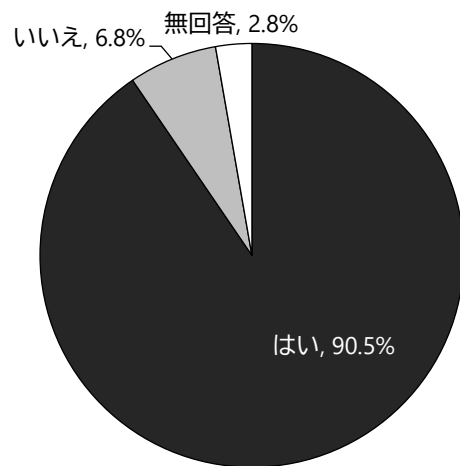
#### 性別・年齢別



(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

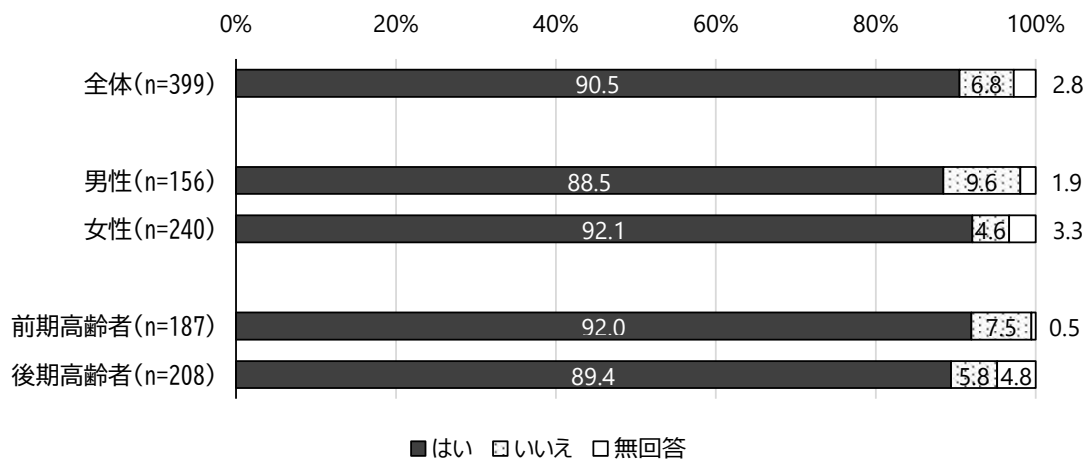
「はい」が90.5%、「いいえ」が6.8%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

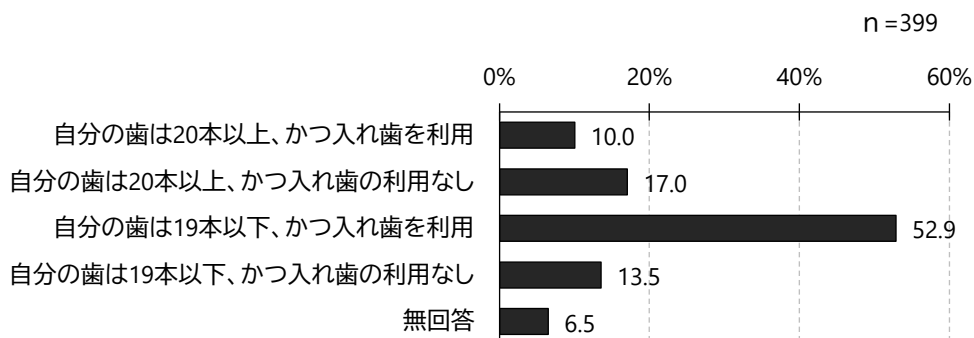
性別・年齢別



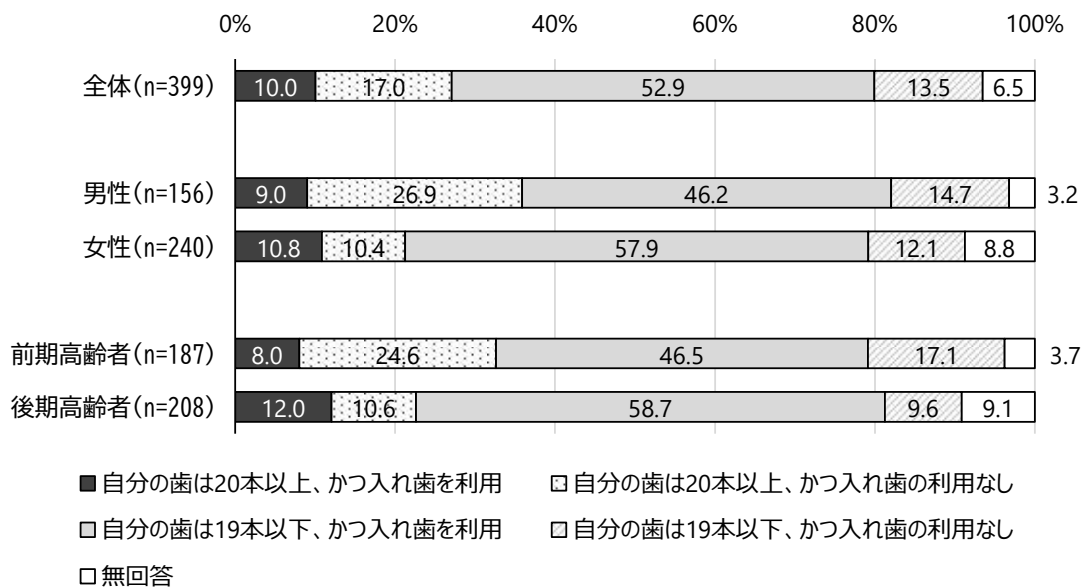
## (6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が52.9%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」が17.0%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯の利用なし」が13.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が10.0%となっています。

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



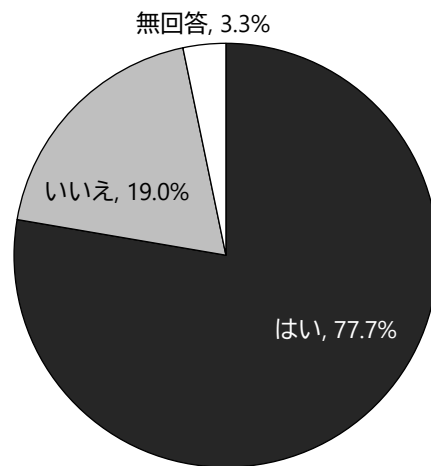
### 性別・年齢別



(6)-① よく噛めますか(噛み合わせは良いですか)

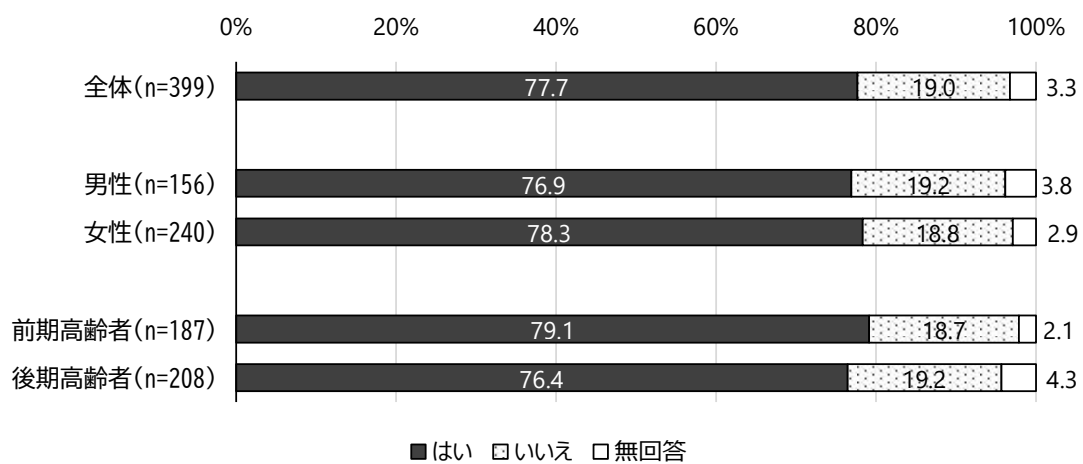
「はい」が77.7%、「いいえ」が19.0%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

性別・年齢別

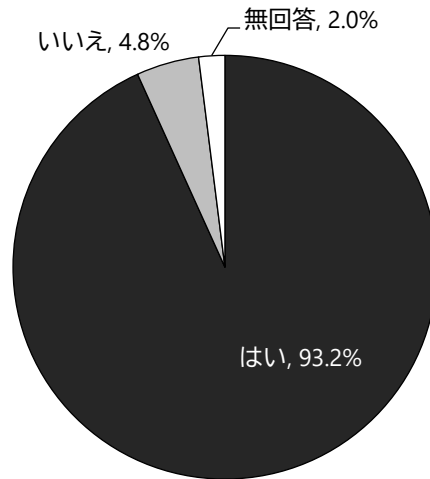


(6)で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を選択された方(入れ歯をご利用の方)

(6)-② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

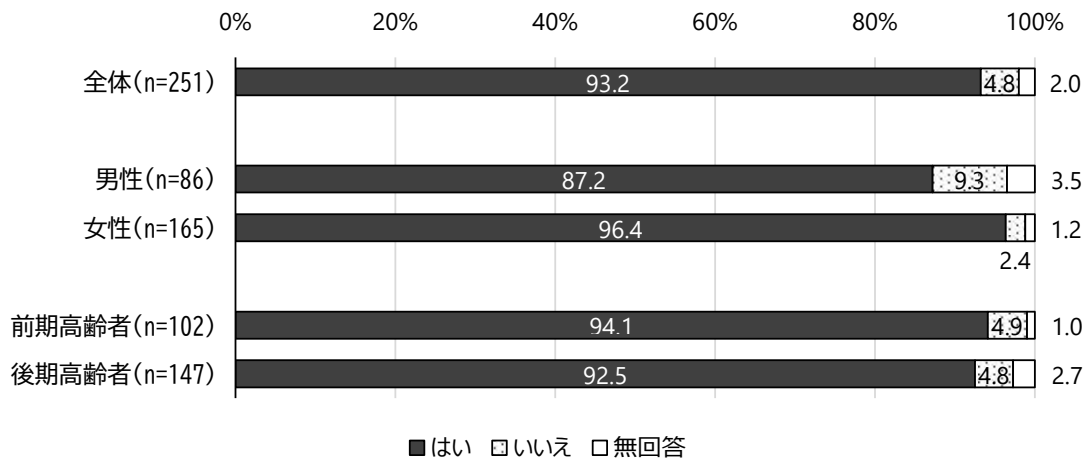
「はい」が 93.2%、「いいえ」が 4.8%となっています。

多くが毎日入れ歯の手入れをしています、「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、9%以上となっています。



n=251

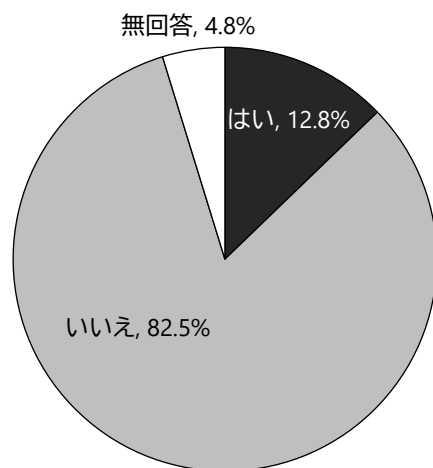
性別・年齢別



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

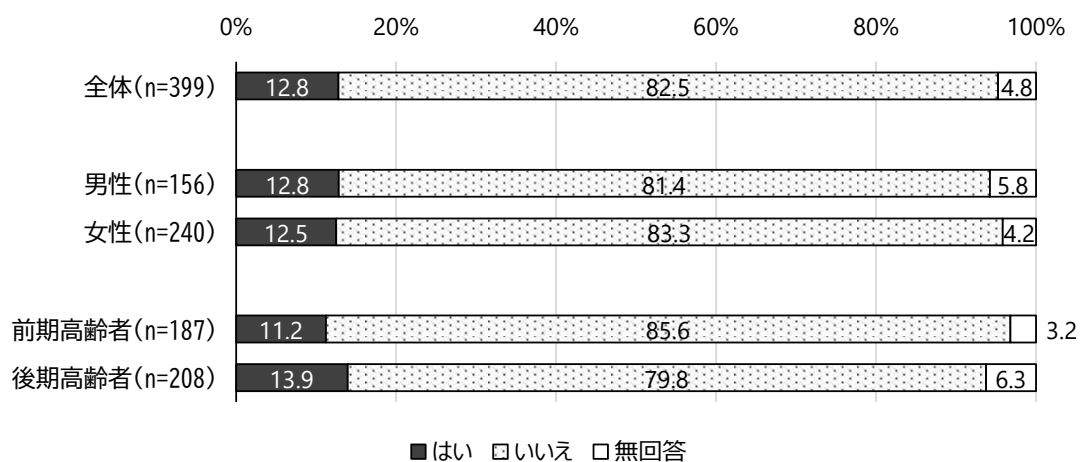
「はい」が12.8%、「いいえ」が82.5%となっています。

「はい」の割合は、性別による差はほとんどみられず、年齢別では後期高齢者の方がわずかに高くなっています。



n=399

性別・年齢別

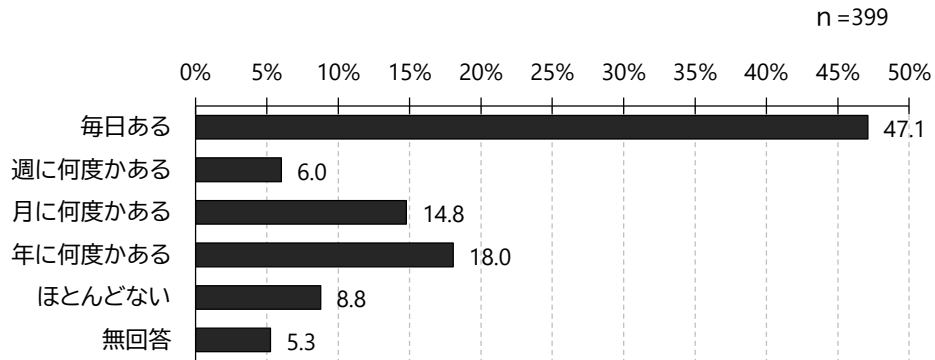




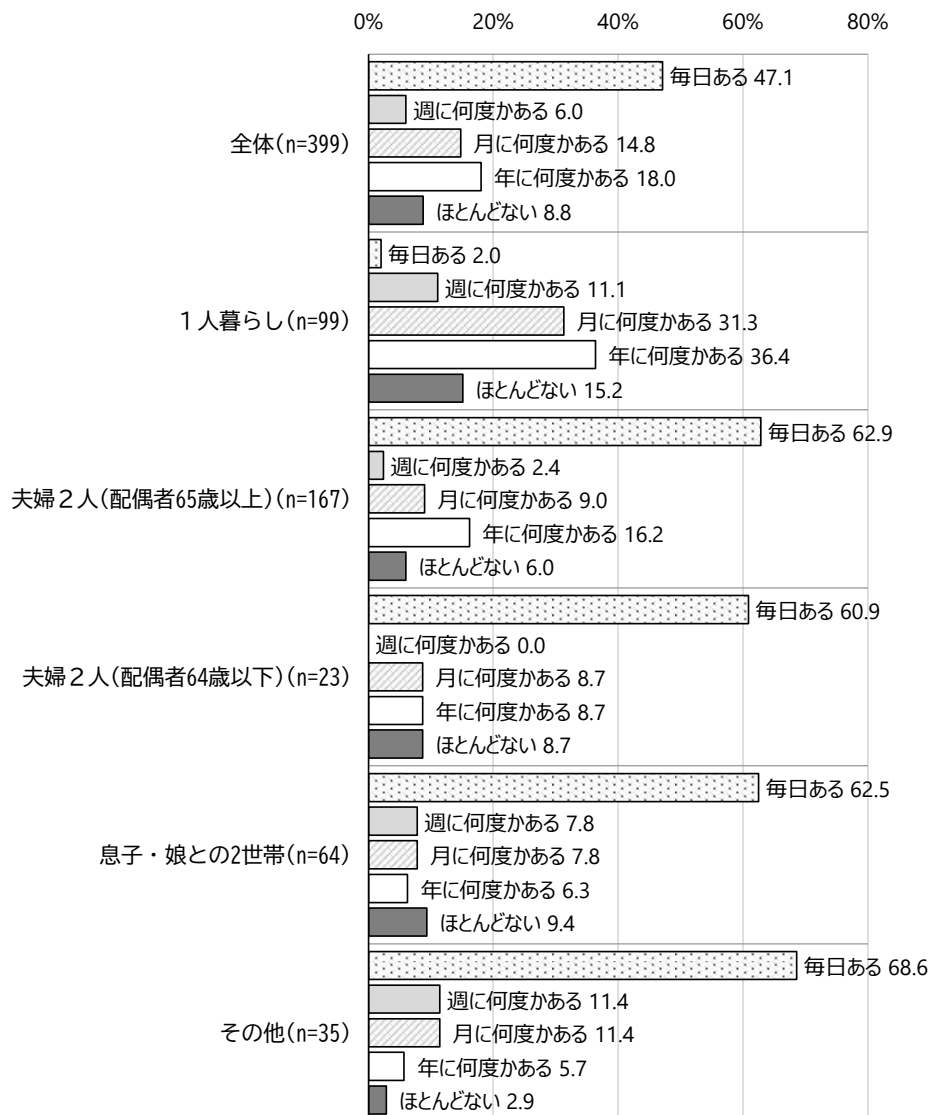
### (8) どなたかと食事をとる機会がありますか

「毎日ある」が47.1%と最も多く、次いで「年に何度かある」が18.0%、「月に何度かある」が14.8%、「ほとんどない」が8.8%、「週に何度かある」が6.0%となっています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「ほとんどない」「年に何度かある」「月に何度かある」のいずれも割合が高く、孤食の状況がうかがえます。



#### 家族構成別

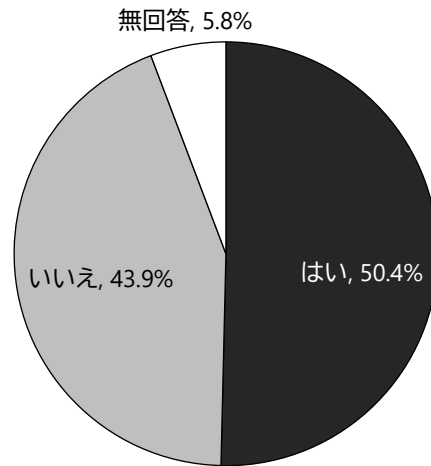


## 問4 毎日の生活について

### (1) もの忘れが多いと感じますか

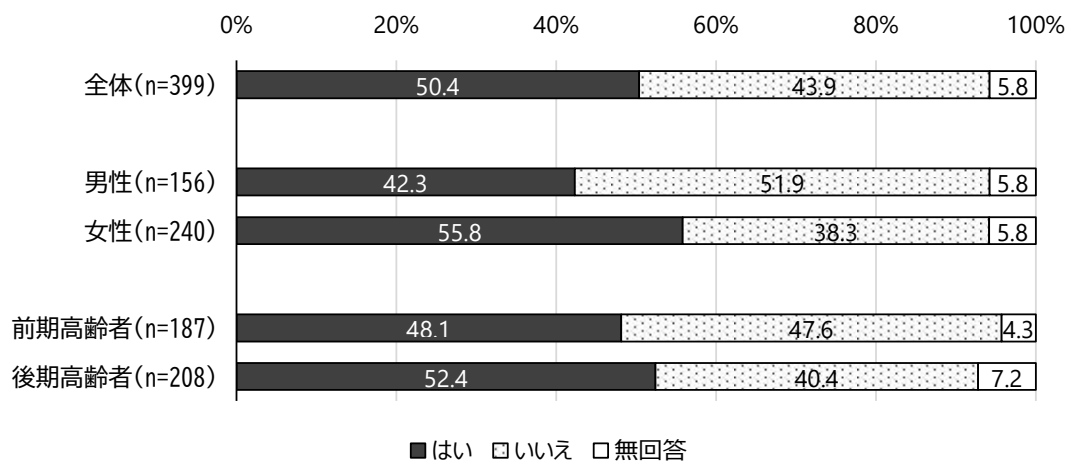
「はい」が50.4%、「いいえ」が43.9%となっています。

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

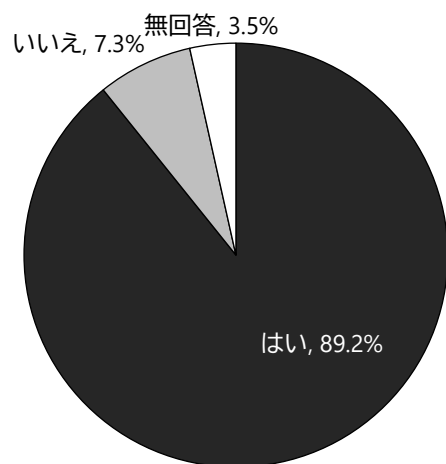
### 性別・年齢別



## (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

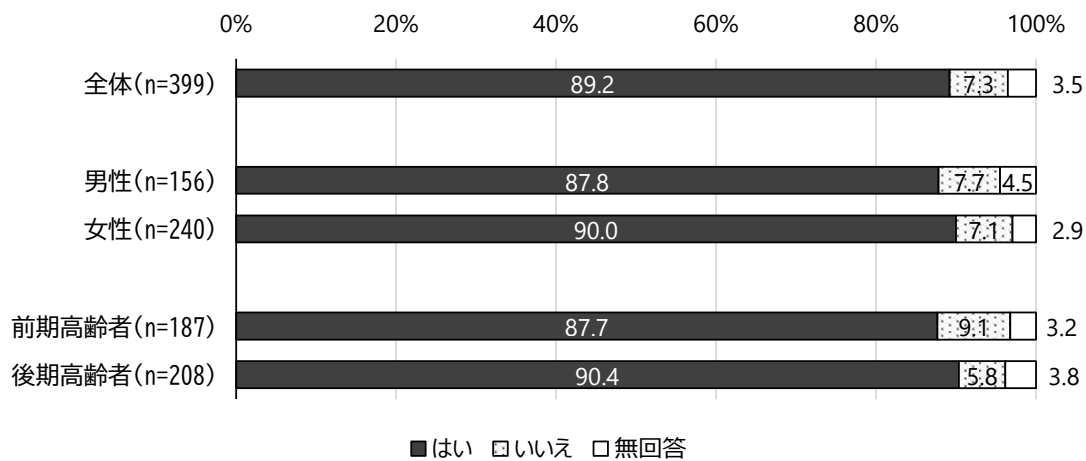
「はい」が89.2%、「いいえ」が7.3%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では男性の方がわずかに高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

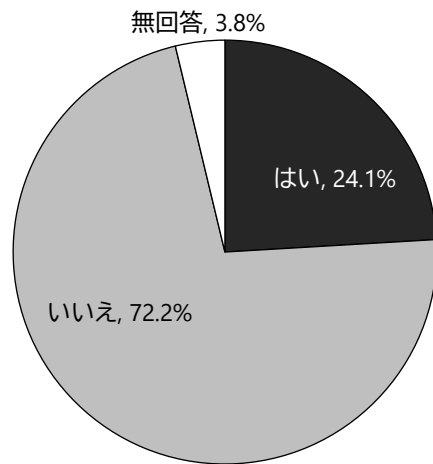
### 性別・年齢別



### (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

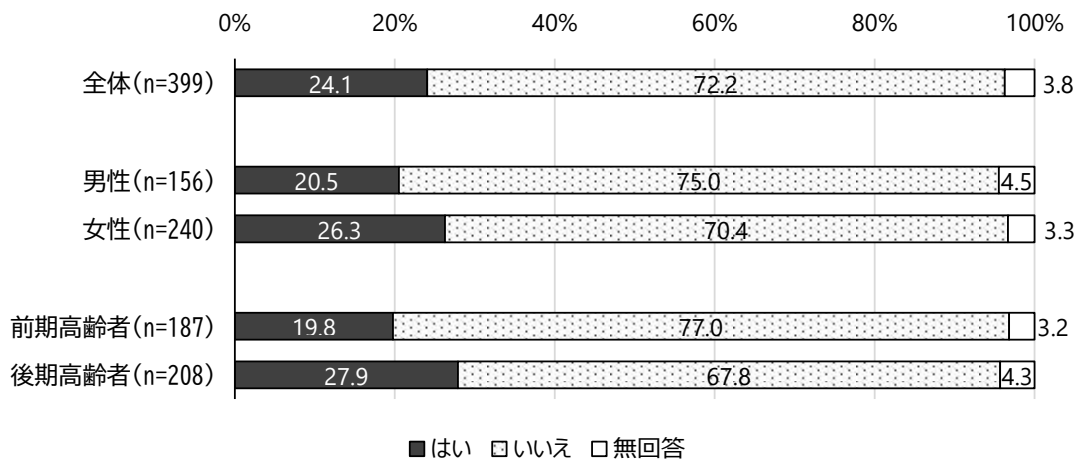
「はい」が24.1%、「いいえ」が72.2%となっています。

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

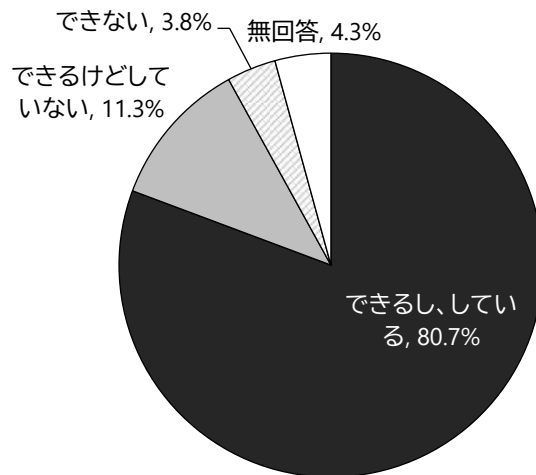
#### 性別・年齢別



(4) バスやハイヤーを使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

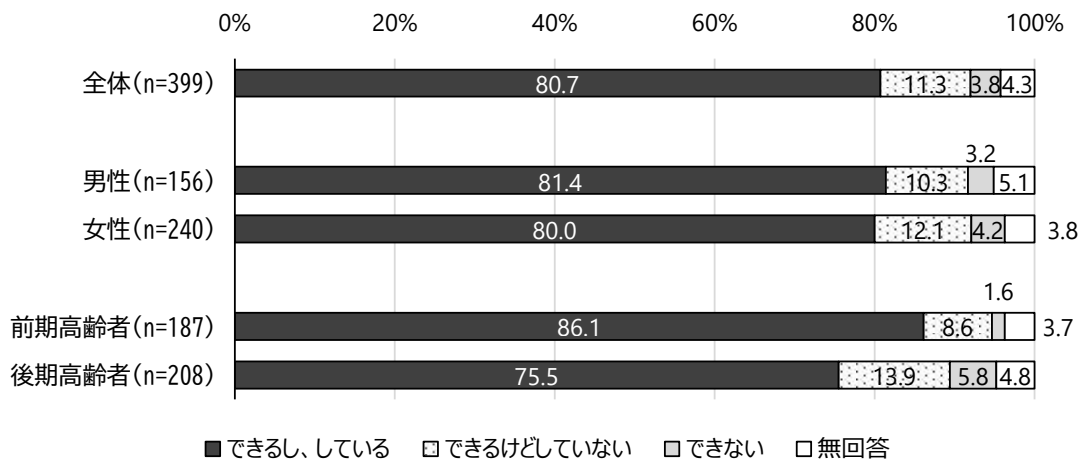
「できるし、している」が80.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.8%となっています。

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

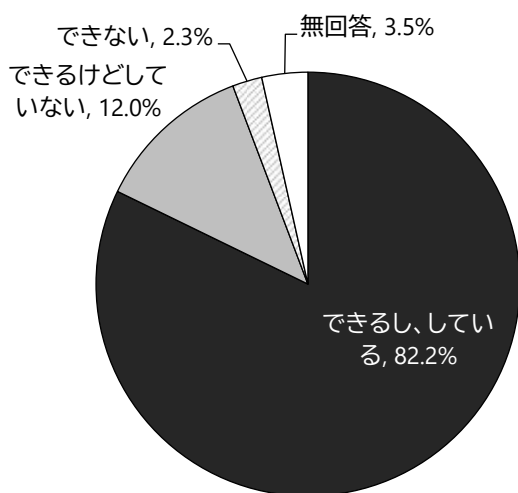
性別・年齢別



### (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

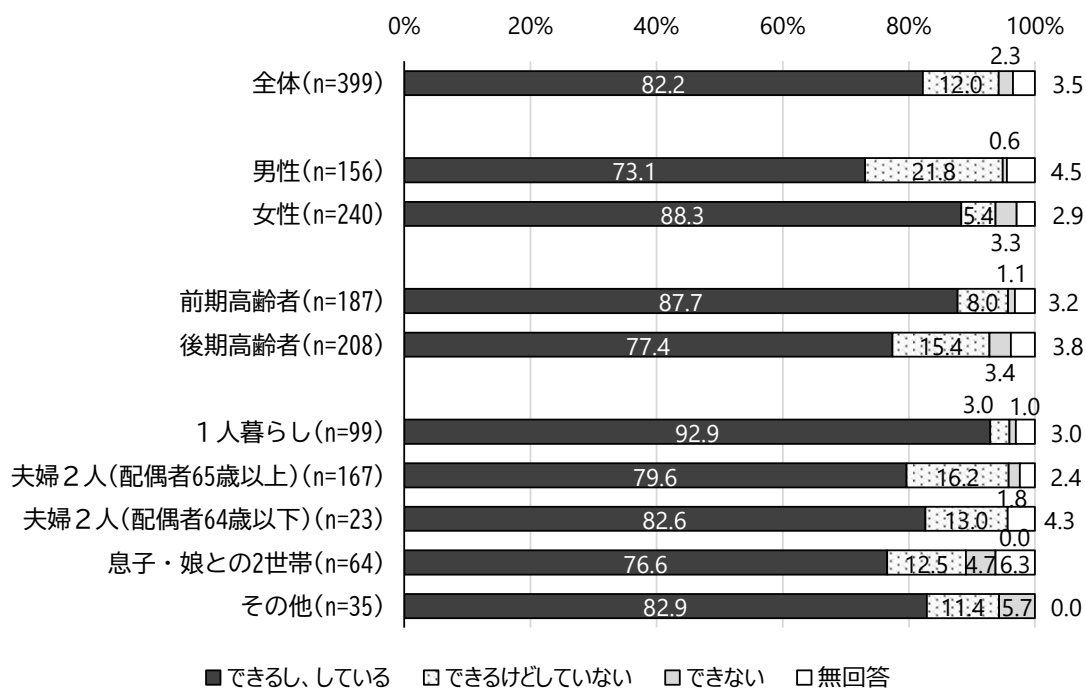
「できるし、している」が82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が2.3%となっています。

性別では、男性の方が「できるけどしていない」の割合が高くなっています。家族構成別にみると、配偶者や同居家族がいる場合「できるけどしていない」が10%を超えており、1人暮らしでは「できるし、している」が92.9%と高いのですが「できない」が1.0%みられます。



n=399

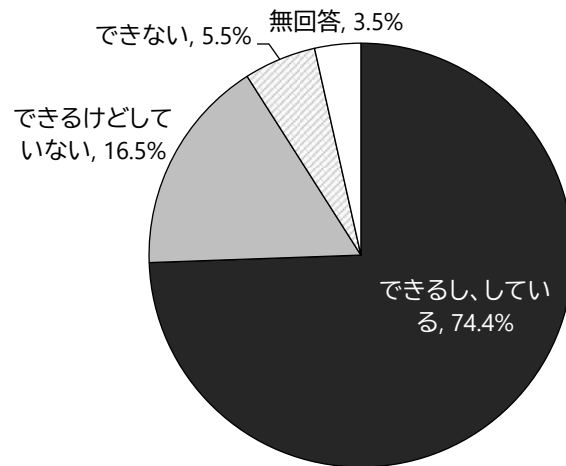
#### 性別・年齢別・家族構成別



## (6) 自分で食事の用意をしていますか

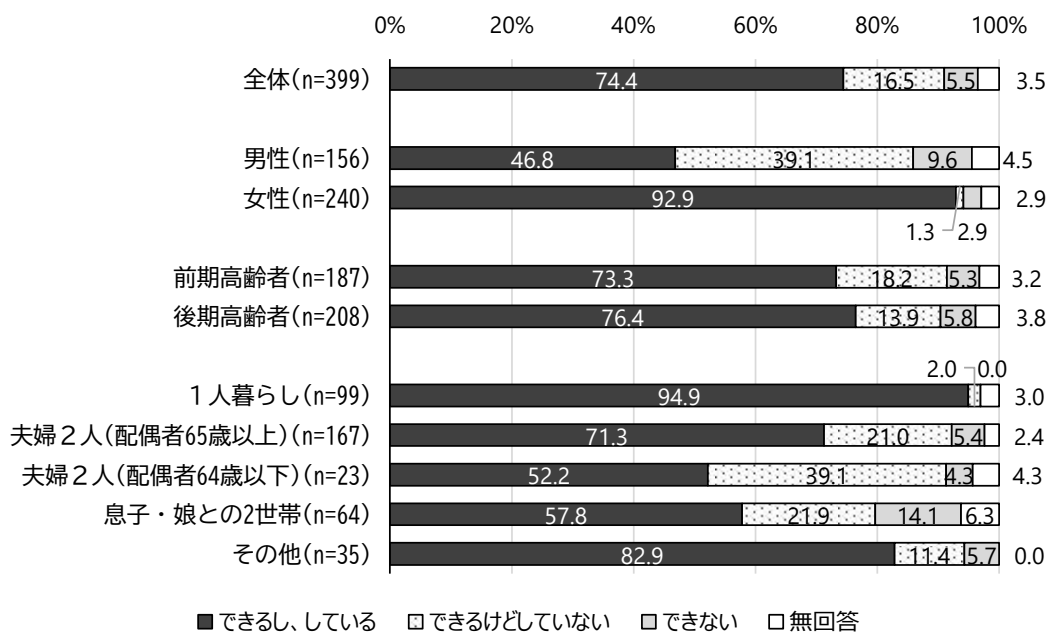
「できるし、している」が74.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.5%、「できない」が5.5%となっています。

性別では、男性で「できるけどしていない」の割合が39.1%を占めています。家族構成別に見ると、配偶者や同居家族がいる場合「できるけどしていない」が20%を超えており、1人暮らしでは「できるし、している」が94.9%となっています。



n=399

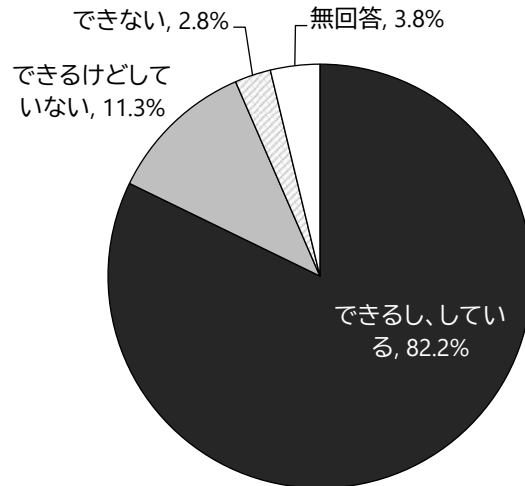
### 性別・年齢別・家族構成別



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

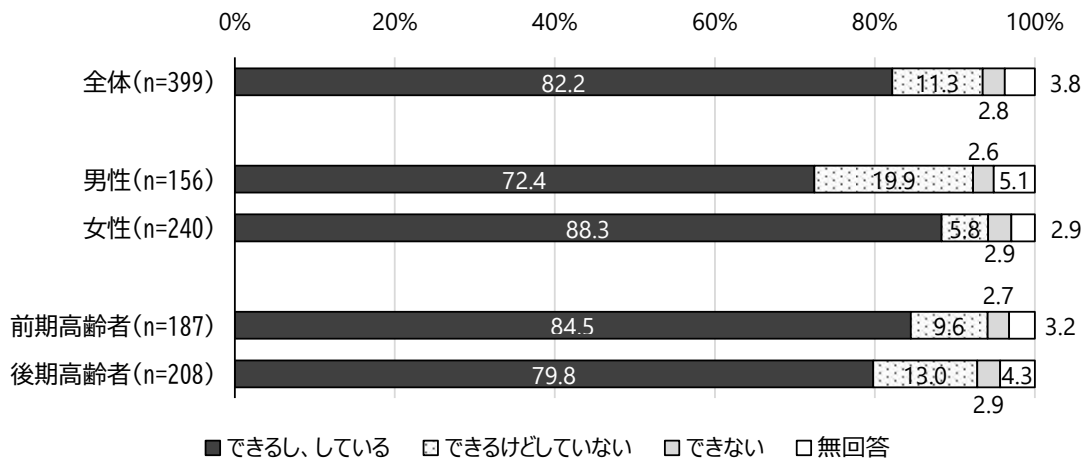
「できるし、している」が82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が2.8%となっています。

「できない」の割合は、性別、年齢別ともに大きな差がみられませんが、「できるけどしていない」は男性で19.9%と高くなっています。



n=399

性別・年齢別

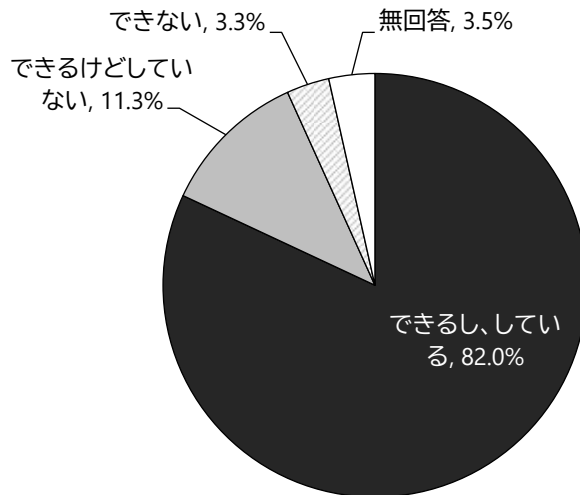




### (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

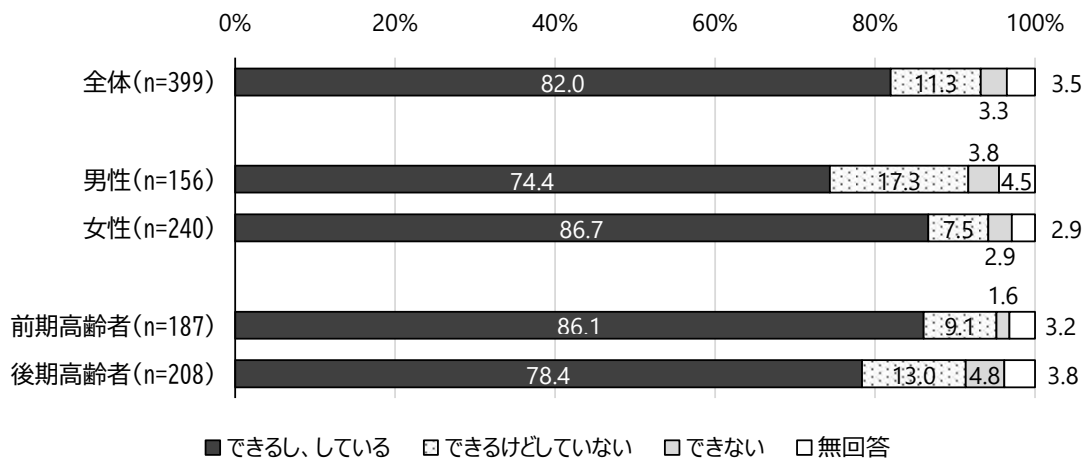
「できるし、している」が82.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.3%となっています。

「できない」の割合は、性別ではわずかに男性の方が、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。「できるけどしていない」は、男性で17.3%と高くなっています。



n=399

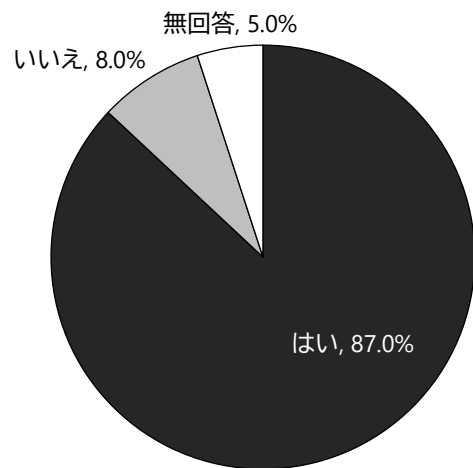
#### 性別・年齢別



(9) 年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか

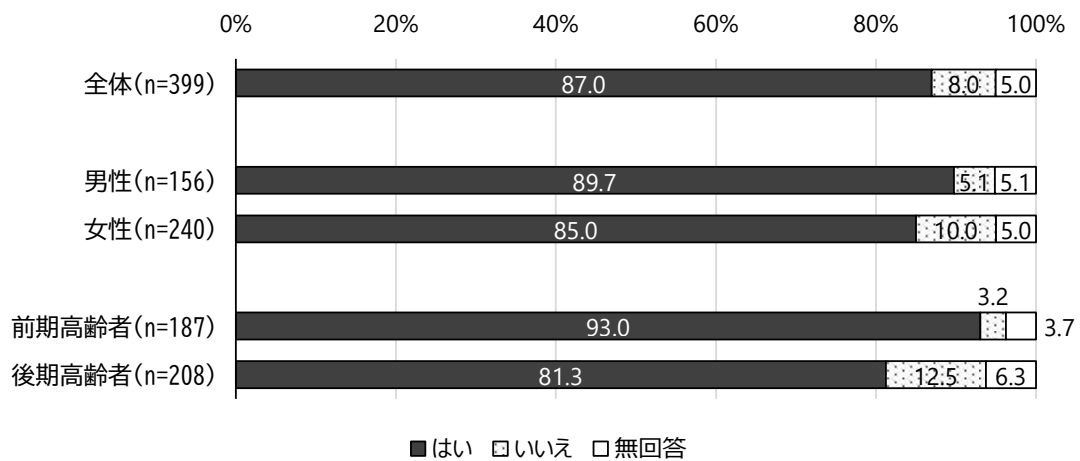
「はい」が87.0%、「いいえ」が8.0%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

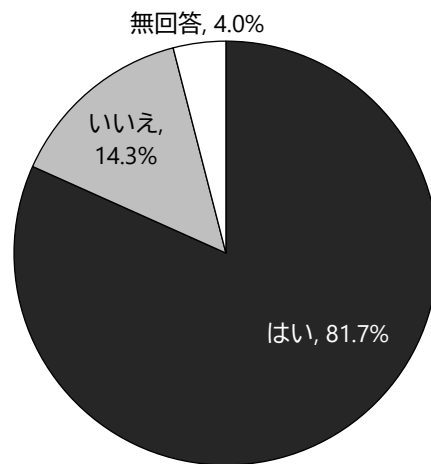
性別・年齢別



## (10) 新聞を読んでいますか

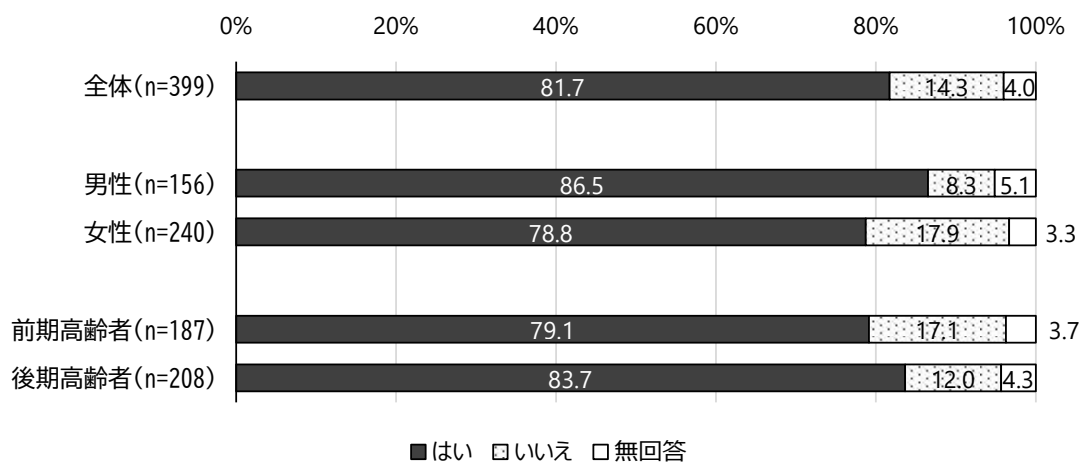
「はい」が81.7%、「いいえ」が14.3%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

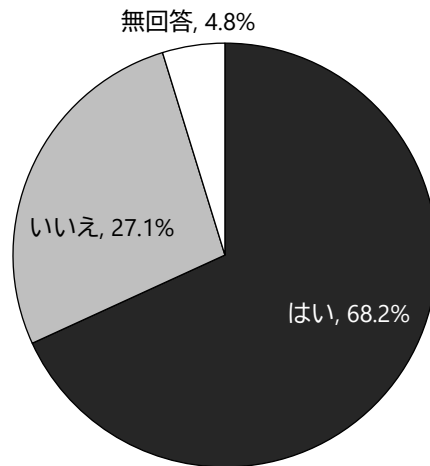
### 性別・年齢別



(11) 本や雑誌を読んでいますか

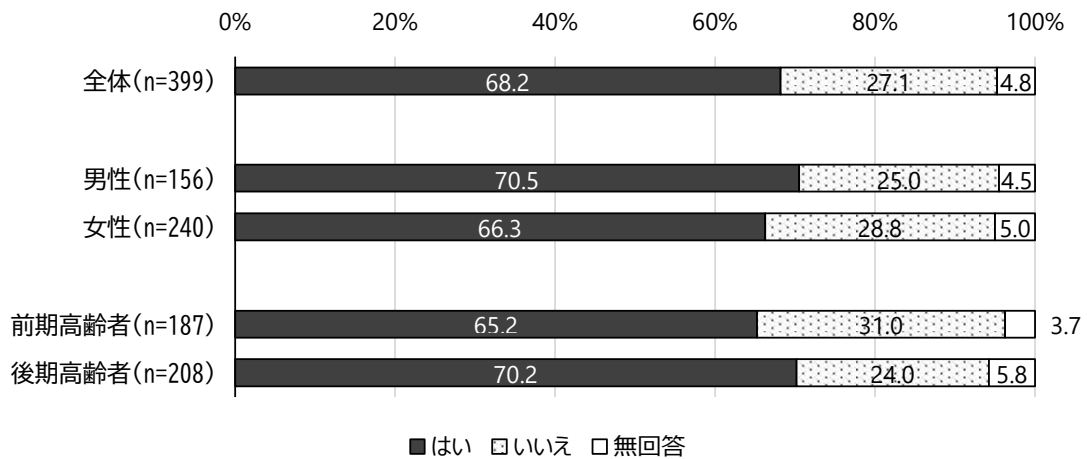
「はい」が68.2%、「いいえ」が27.1%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

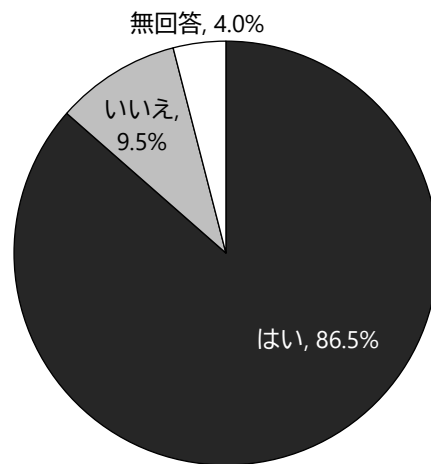
性別・年齢別



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

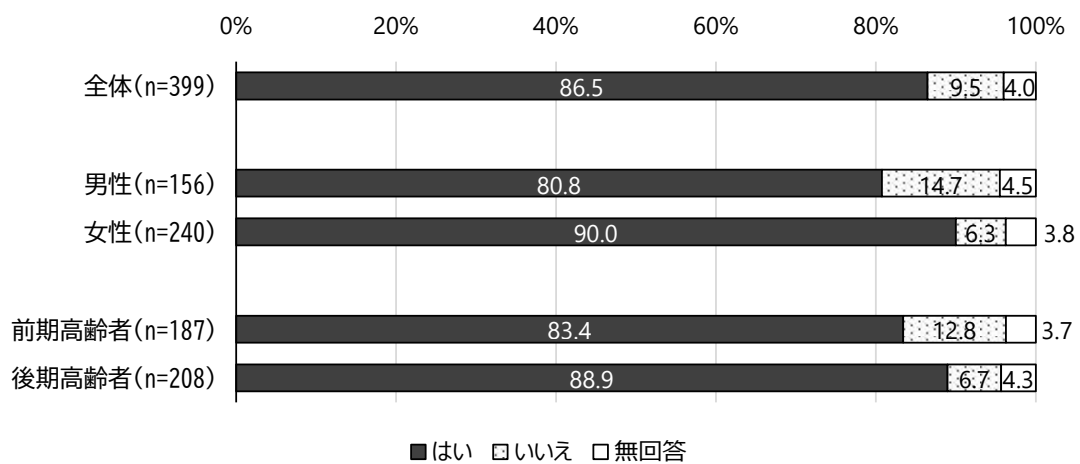
「はい」が86.5%、「いいえ」が9.5%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

性別・年齢別

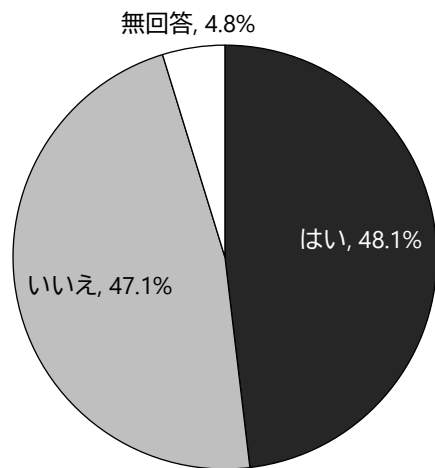


### (13) 友人の家を訪ねていますか

「はい」が48.1%、「いいえ」が47.1%となっています。

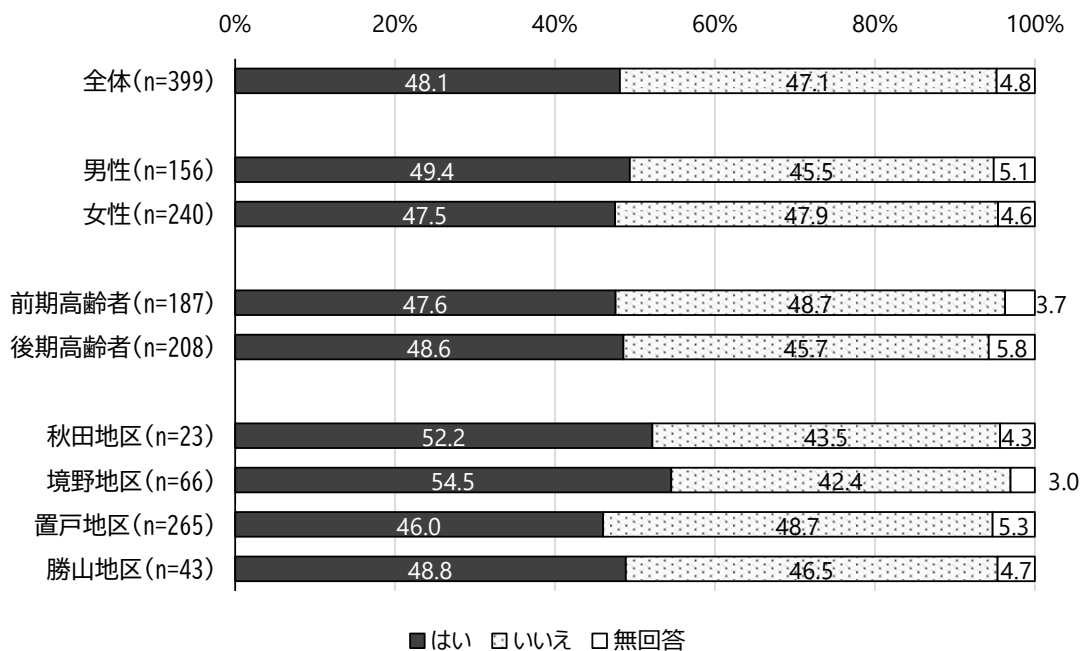
性別・年齢別の大きな差はみられません。

地区別にみると、「はい」の割合は、秋田地区、境野地区で50%を超え、高くなっています。



n=399

#### 性別・年齢別・地区別

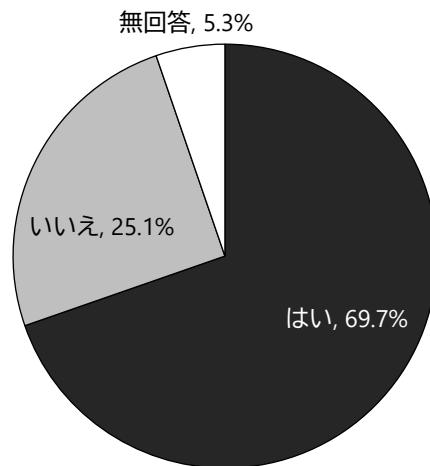


(14) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が69.7%、「いいえ」が25.1%となっています。

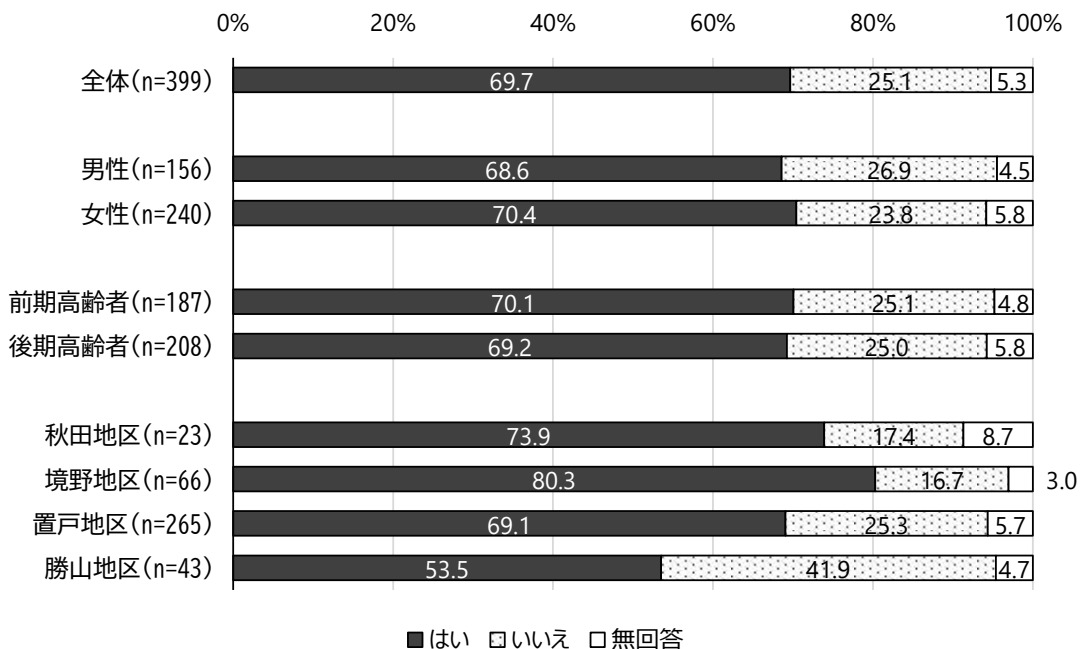
「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高くなっています。年齢別では大きな差はみられません。

地区別にみると、「はい」の割合は、秋田地区、境野地区で70%を超え、高くなっています。



n=399

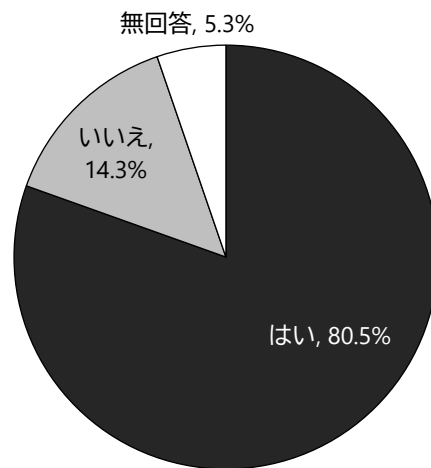
性別・年齢別・地区別



### (15) 病人を見舞うことができますか

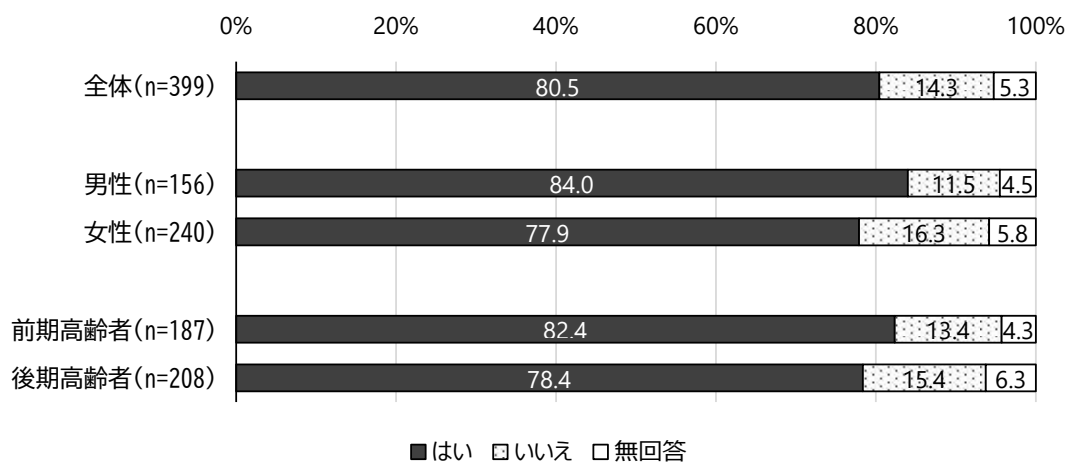
「はい」が80.5%、「いいえ」が14.3%となっています。

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

#### 性別・年齢別



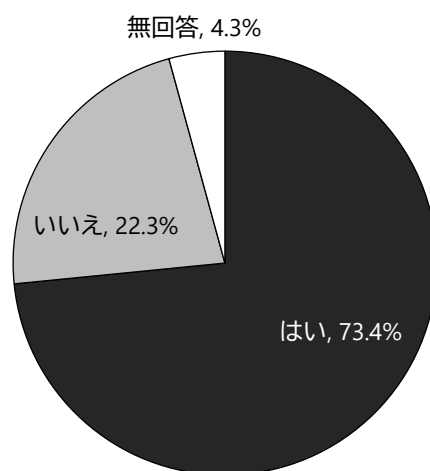


## (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が73.4%、「いいえ」が22.3%となっています。

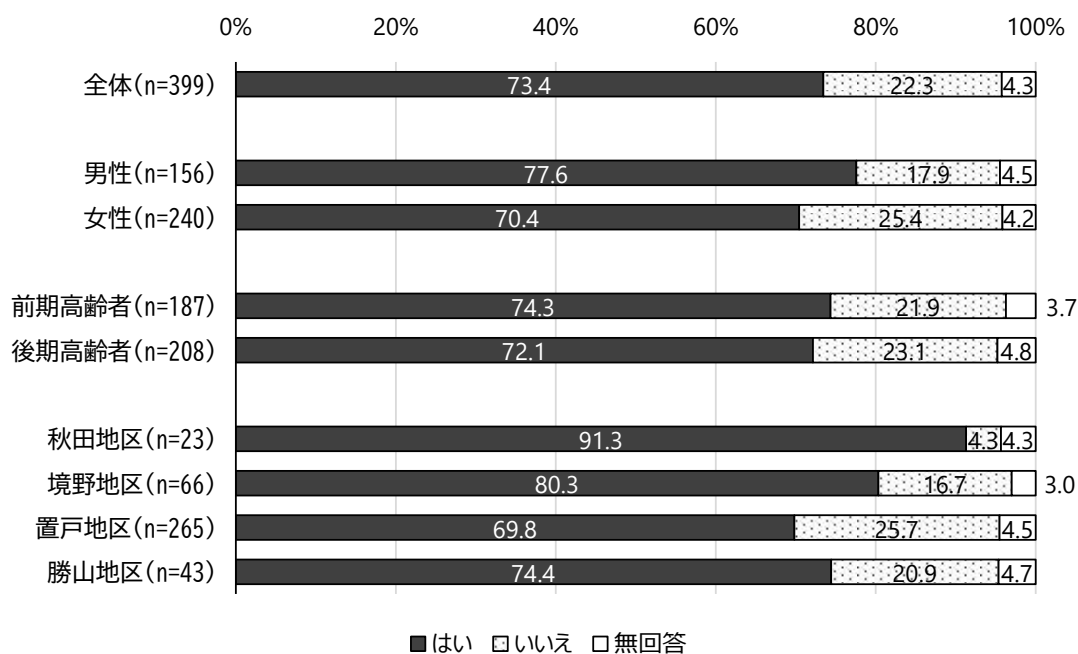
「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方がわずかに高くなっています。

地区別にみると、「はい」の割合は、秋田地区、境野地区が全体よりも高くなっています。



n=399

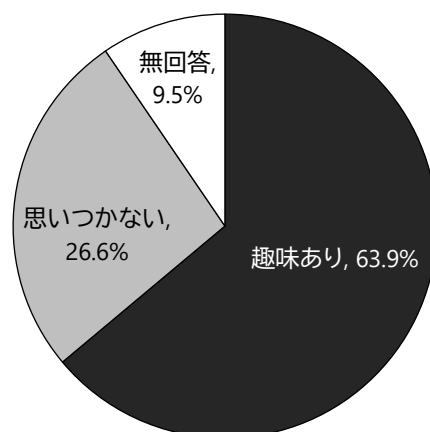
### 性別・年齢別・地区別



## (17) 趣味はありますか

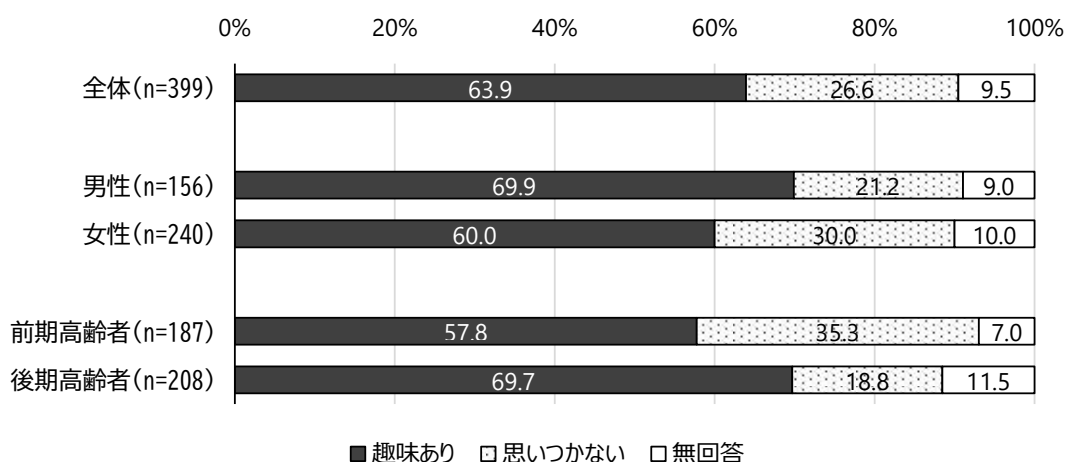
「趣味あり」が63.9%、「思いつかない」が26.6%となっています。

「思いつかない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

### 性別・年齢別



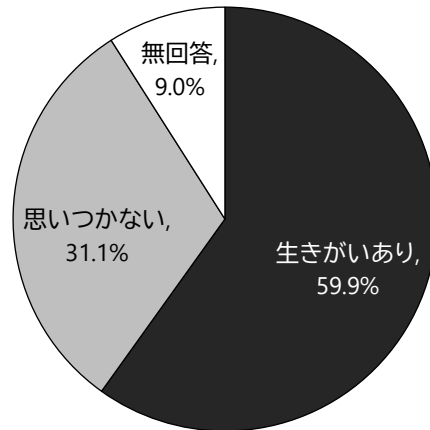
### 趣味の主な内容

読書 (37) / 編み物 (21) / 釣り (17) / パークゴルフ (17) / 家庭菜園 (15) / 園芸 (15) / 手芸 (14) / パズル (11) / 音楽鑑賞 (10) / ゲートボール (9) / 料理 (9) / 映画鑑賞 (9) / 旅行 (9) / ウォーキング (8) / 麻雀 (7) / ゴルフ (7) / 花作り (7) / パッチワーク (6) / テレビ鑑賞 (6) / カラオケ (6) / ドライブ (6) / スキー (5) / スポーツ (5) / 温泉 (5) / ゲーム (4) / 社交ダンス (4) / 登山 (4) / 手芸 (3) / ショッピング (3) / バイク (3) / 散歩 (3) / 囲碁・将棋 (3) / スポーツ観戦 (2) / テニス (2) / ピアノ (2) / 狩猟 (2) / カメラ (2) / 卓球 (2) / バードウォッチング (2) / パチンコ (2) / オーディオ / キャンプ / キルトサークル / 陶芸 / 保存食を作ること / 山菜採り / 山林の見守り / 社交ダンスを教えている / パソコン / 水泳 / 折り紙 / 他人の短歌を読む / サイクリング / ジャム作り / 百歳体操 / 絵手紙 / 等

## (18) 生きがいがありますか

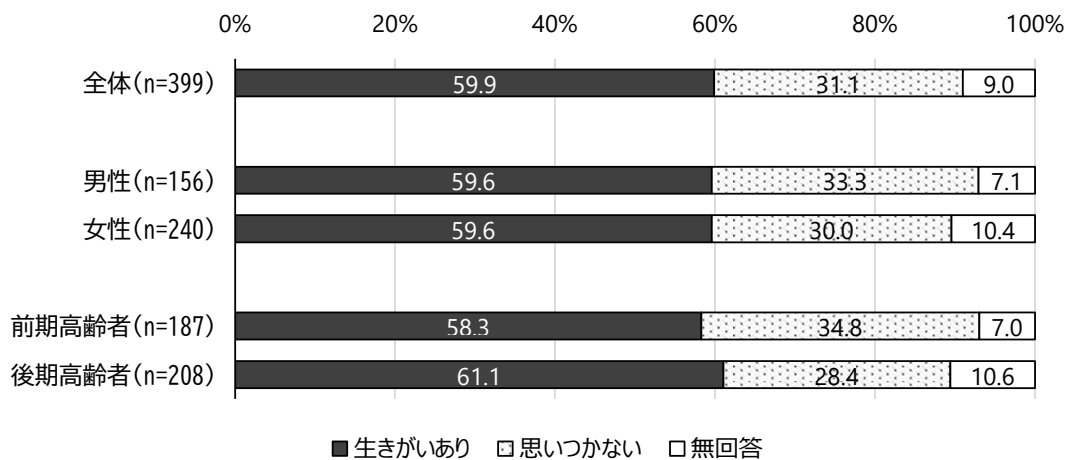
「生きがいあり」が59.9%、「思いつかない」が31.1%となっています。

「思いつかない」の割合は、性別では男性の方がわずかに高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。



n=399

### 性別・年齢別

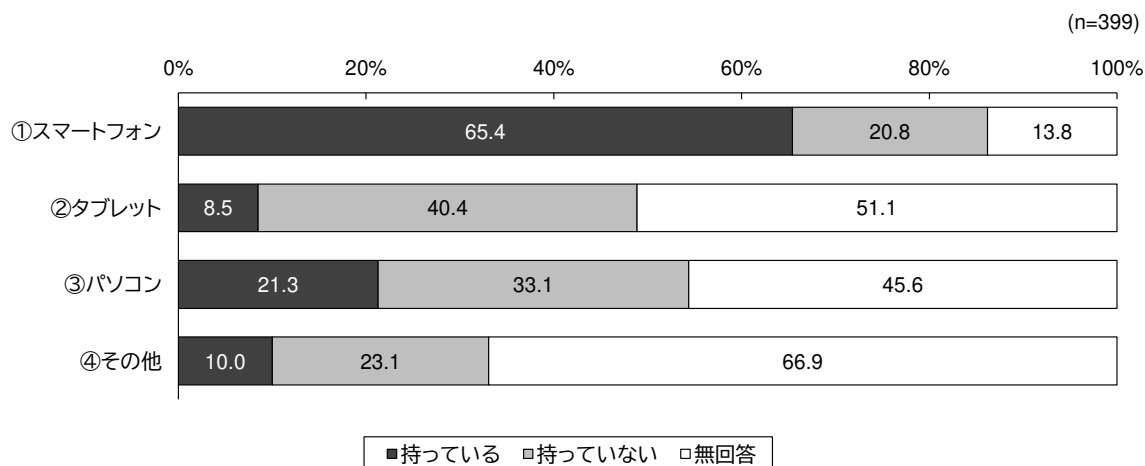


### 生きがいの主要内容

趣味・やりたいことをやる (68) / 孫の成長・孫と遊ぶ・孫に会う (38) / 仕事(35) / 人に会う・人との交流(14) / 子どもの成長・子どもに会う (9) / 毎日が楽しい (7) / 家族との暮らし (6) / ひ孫たちの成長 (5) / 健康であること(3) / ボランティア (3) / ペットとの暮らし (3) / 遠くにいる孫が毎月写真を送ってくれる / 親戚に編み物を編んであげるととても喜んでくれる / 夫の介助をし、元気な生活を少しでも長く続けられること / 80歳まで仕事をして、85歳まで元気で生活したい / いつまでも健康寿命で趣味ができる / 老人クラブの参加 / 等

### (19) 次の情報通信機器を持っていますか

- ①スマートフォンは「持っている」が65.4%、「持っていない」が20.8%となっています。
- ②タブレットは「持っている」が8.5%、「持っていない」が40.4%となっています。
- ③パソコンは「持っている」が21.3%、「持っていない」が33.1%となっています。
- ④その他は「持っている」が10.0%、「持っていない」が23.1%となっています。



#### 「その他」の主な内容

「ガラケー」(携帯電話) が 19 件、他に「固定電話」「カーナビ」の記入あり

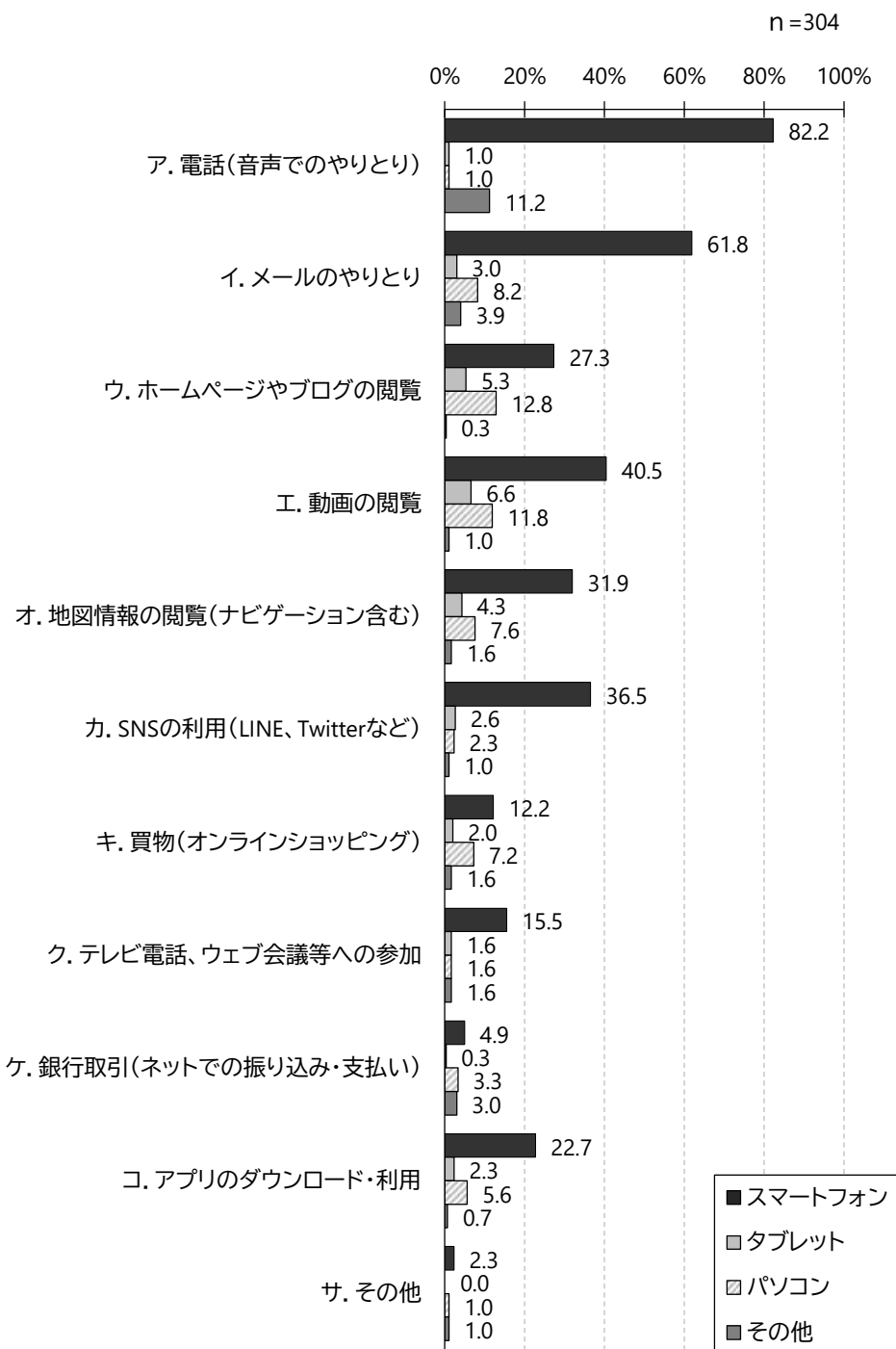
#### (次頁)利用した機能・サービス「その他」の主な内容

事務／写真／ゲーム(2)／ムービー電話／パソコンで資料作り／送信されてきた動画を見たり自分で写真を撮る／ネットゲーム等／カーナビ／スマートフォンは使いこなせないので携帯(ガラケー)／等

(19)でいずれか一つでも「持っている」を選択した方

(19)-① この1年の間に、情報通信機器で次のような機能・サービスを利用しましたか  
(複数回答)

利用した機能・サービスについて、①スマートフォンでは「ア. 電話 (音声でのやりとり)」が82.2%、②タブレットでは「エ. 動画の閲覧」が6.6%、③パソコンでは「ウ. ホームページやブログの閲覧」が12.8%、④その他では「ア. 電話 (音声でのやりとり)」が11.2%と、それぞれ最も多くなっています。メールのやりとりだけでなく、ホームページや動画・地図情報などのコンテンツ利用でも①スマートフォンを中心に行われていることがわかります。

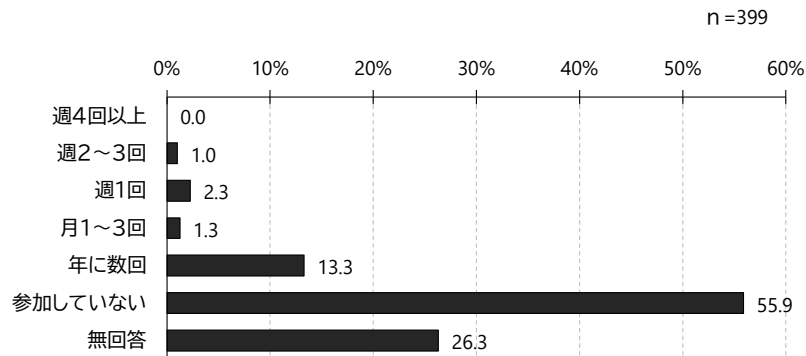


## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

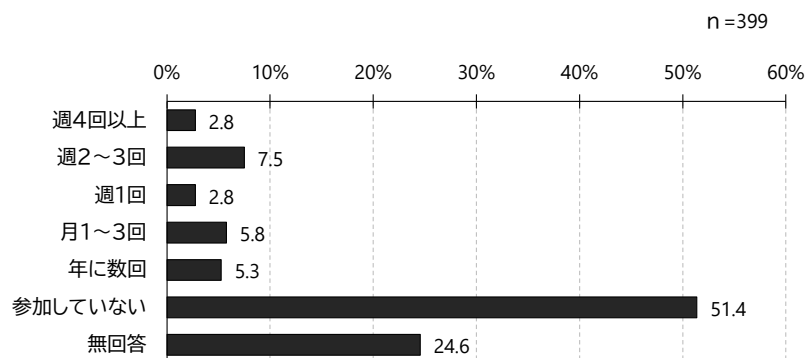
### ①ボランティアのグループ

「参加していない」が55.9%と最も多く、次いで「年に数回」が13.3%、「週1回」が2.3%、「月1～3回」が1.3%、「週2～3回」が1.0%となっています。



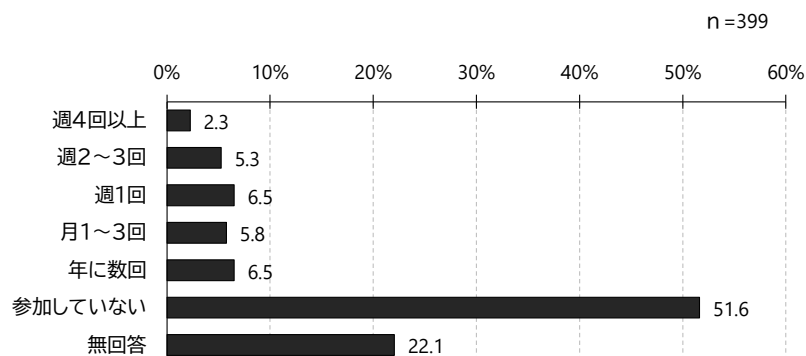
### ②スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」が51.4%と最も多く、次いで「週2～3回」が7.5%、「月1～3回」が5.8%、「年に数回」が5.3%、「週4回以上」及び「週1回」が2.8%となっています。



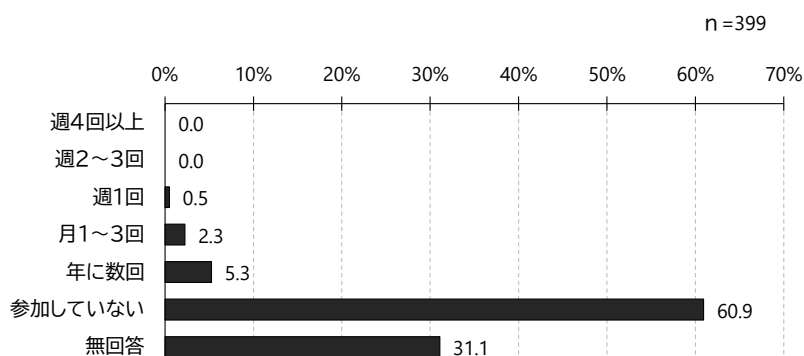
### ③趣味関係のグループ

「参加していない」が51.6%と最も多く、次いで「週1回」及び「年に数回」が6.5%、「月1～3回」が5.8%、「週2～3回」が5.3%となっています。



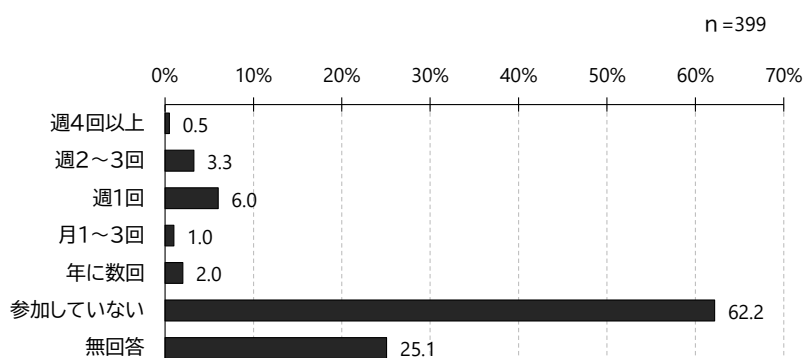
#### ④学習・教養サークル

「参加していない」が60.9%と最も多く、次いで「年に数回」が5.3%、「月1～3回」が2.3%、「週1回」が0.5%となっています。



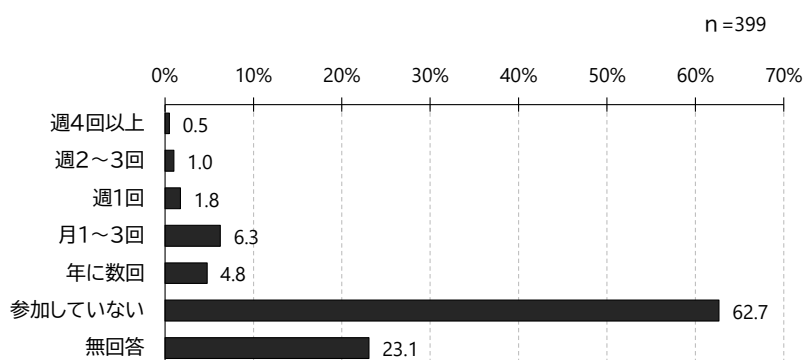
#### ⑤(いきいき運動クラブ、いきいき百歳体操など)介護予防のための通いの場

「参加していない」が62.2%と最も多く、次いで「週1回」が6.0%、「週2～3回」が3.3%、「年に数回」が2.0%、「月1～3回」が1.0%となっています。



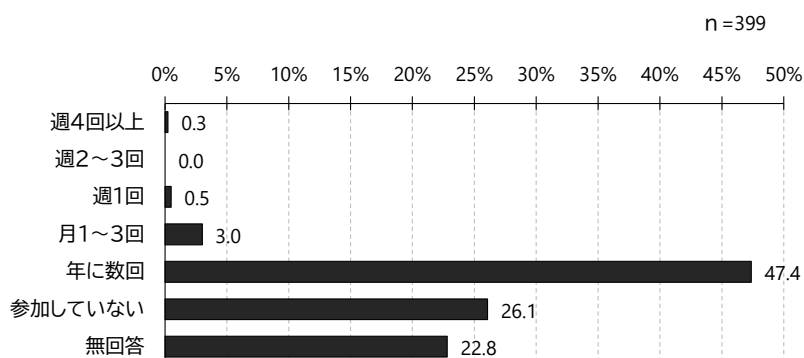
#### ⑥老人クラブ

「参加していない」が62.7%と最も多く、次いで「月1～3回」が6.3%、「年に数回」が4.8%、「週1回」が1.8%、「週2～3回」が1.0%となっています。



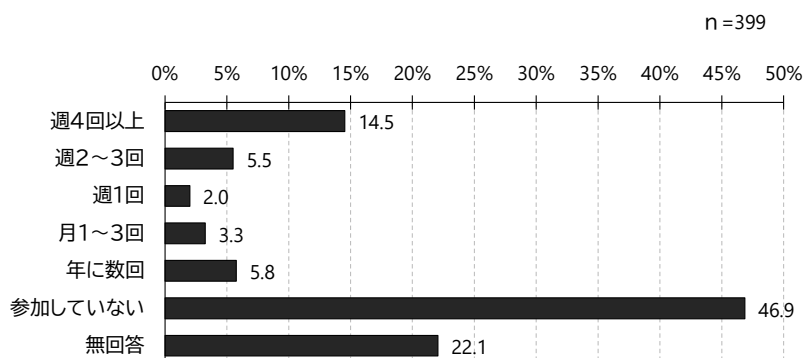
### ⑦町内会・自治会

「年に数回」が47.4%と最も多く、次いで「参加していない」が26.1%、「月1～3回」が3.0%、「週1回」が0.5%、「週4回以上」が0.3%となっています。



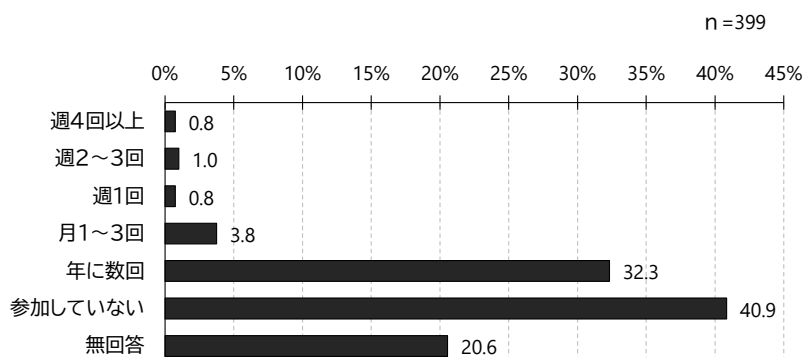
### ⑧収入のある仕事

「参加していない」が46.9%と最も多く、次いで「週4回以上」が14.5%、「年に数回」が5.8%、「週2～3回」が5.5%、「月1～3回」が3.3%となっています。



### ⑨その他の団体や会(お寺・教会等宗教関係も含む)

「参加していない」が40.9%と最も多く、次いで「年に数回」が32.3%、「月1～3回」が3.8%、「週2～3回」が1.0%、「週4回以上」及び「週1回」が0.8%となっています。





会・グループへの参加頻度を、「週1回以上」（週4回以上、週2～3回、週1回の計）、「月1回～年数回」（月1～3回、年に数回の計）、「参加していない」の3段階に分類し、性別・年齢別・地区別にみてみます。

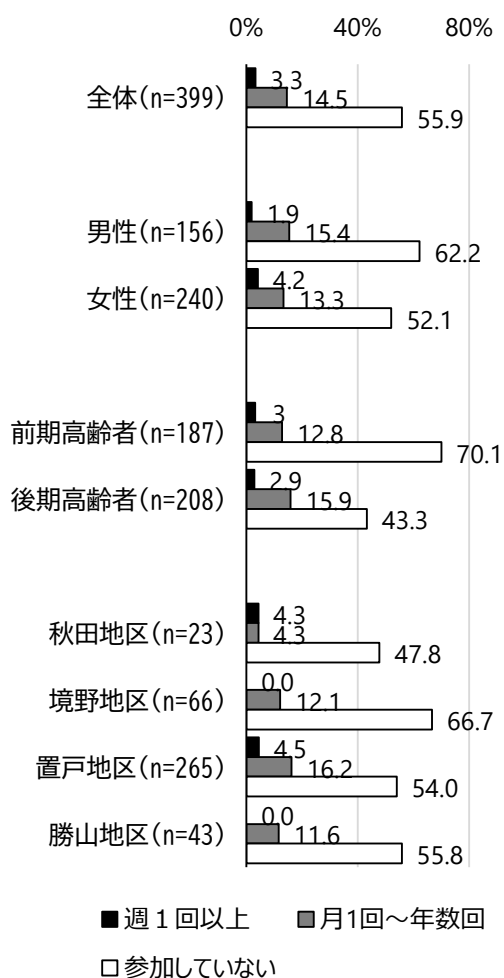
①ボランティアのグループでは、男性、前期高齢者の方が「参加していない」の割合が高く、置戸地区で、「週1回以上」「月1回～年数回」の割合が全体よりわずかに高くなっています。

②スポーツ関係のグループやクラブでは、総じて男性の方が参加頻度が高く、置戸地区で、「週1回以上」の割合が全体より高くなっています。

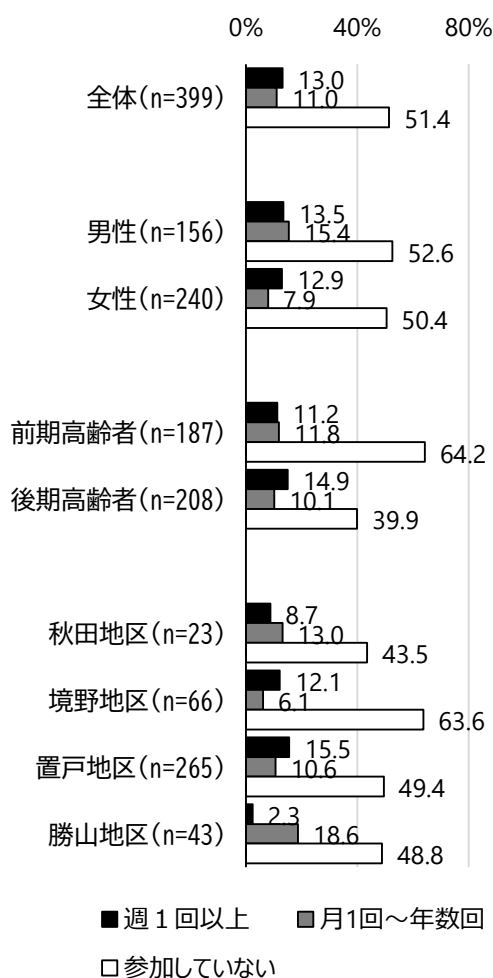
※無回答は省略

**性別・年齢別・地区別**

①ボランティアのグループ



②スポーツ関係のグループやクラブ



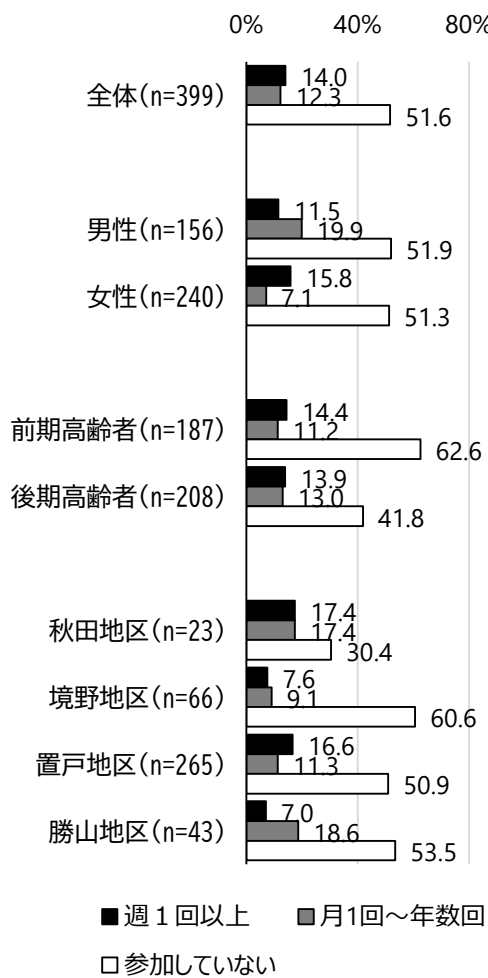
③趣味関係のグループでは、「週1回以上」の割合は、女性、「月1回～年数回」の割合は男性の方が高くなっています。地区別では、「週1回以上」の割合は秋田地区と置戸地区で、「月1回～年数回」の割合は秋田地区で全体より高くなっています。

④学習・教養サークルでは、性別、年齢によらず「週1回以上」の回答がなく、地区別では、置戸地区で、「月1回～年数回」の割合が全体より高くなっています。

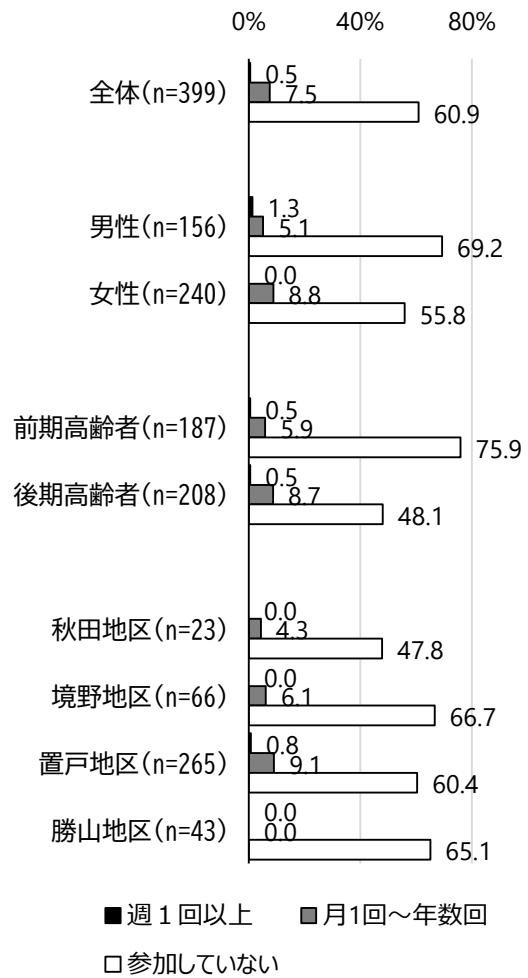
※無回答は省略

性別・年齢別・地区別

③趣味関係のグループ



④学習・教養サークル



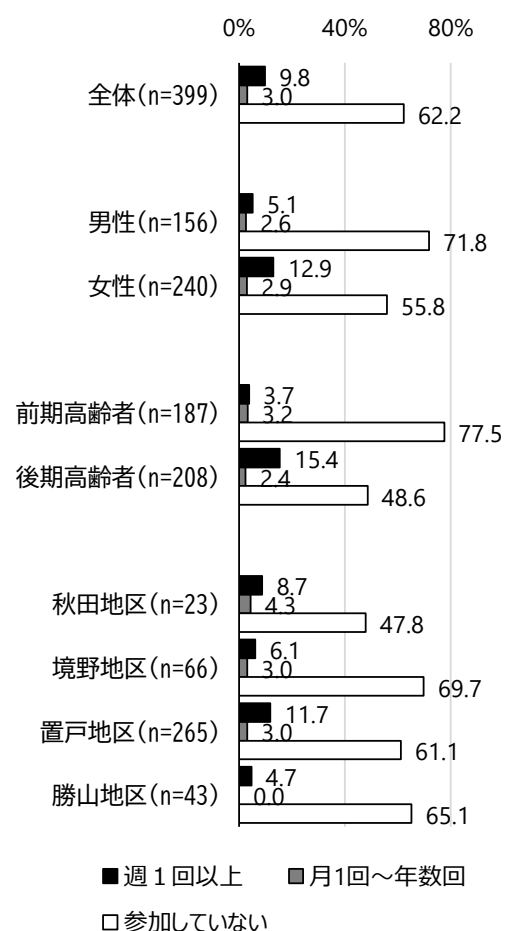
⑤介護予防のための通いの場では、「週1回以上」の割合は女性、後期高齢者の方が高くなっています。地区別では、置戸地区で、「週1回以上」の割合が全体より高くなっています。

⑥老人クラブでは、「週1回以上」の割合は男性、後期高齢者の方が高くなっています。地区別では、秋田地区で、「週1回以上」の割合が他地区と比べて非常に高くなっています。勝山地区では、「月1回～年数回」の割合が他地区と比べて非常に高くなっています。

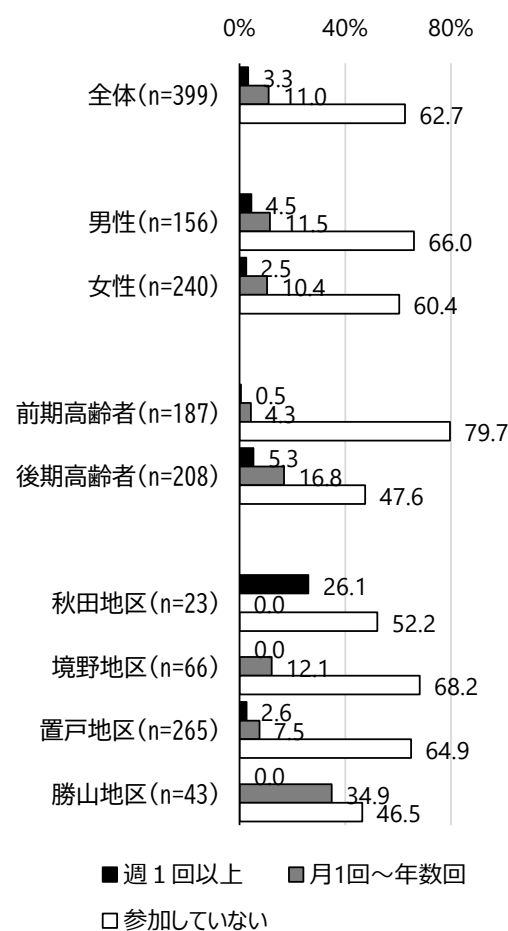
※無回答は省略

**性別・年齢別・地区別**

⑤介護予防のための通いの場



⑥老人クラブ



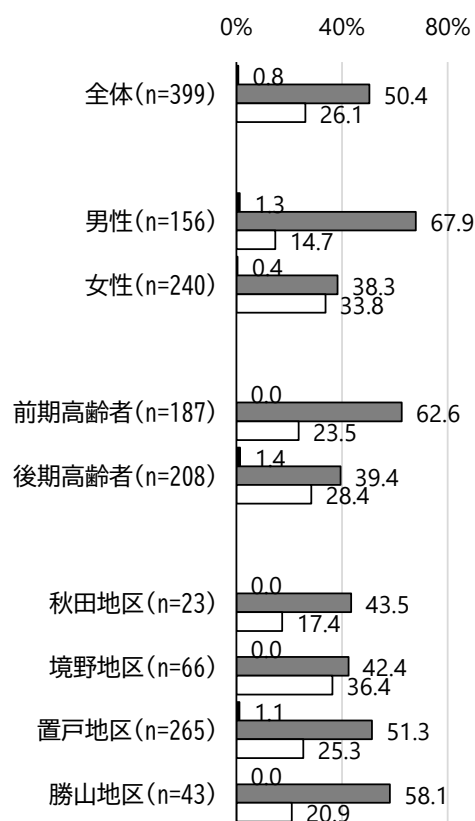
⑦町内会・自治会では、「週1回以上」の回答がありませんが、会自体の実施頻度によるものとも考えられます。「月1回～年数回」の割合でみると、男性、前期高齢者の方が高く、地区別では置戸地区、勝山地区で全体より高くなっています。

⑧収入のある仕事では、いずれの属性においても「月1回～年数回」より「週1回以上」の割合が高くなっています。「週1回以上」の割合は、男性、前期高齢者の方が高く、地区別では秋田地区、置戸地区で全体より高くなっています。

※無回答は省略

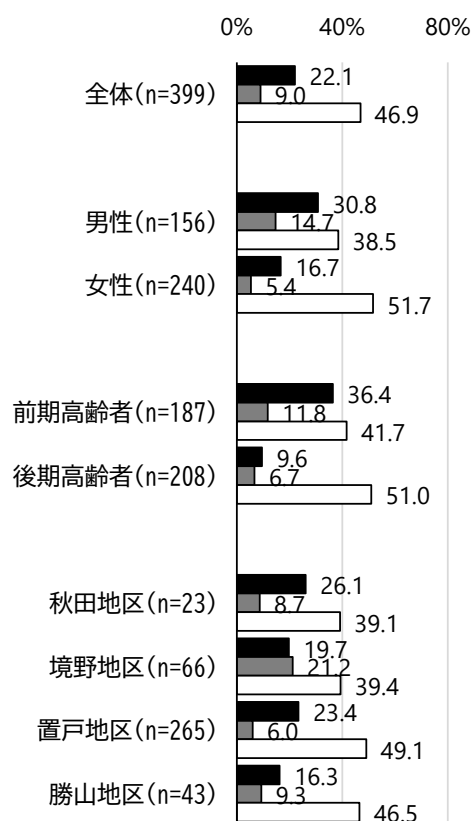
**性別・年齢別・地区別**

⑦町内会・自治会



■ 週1回以上    ■ 月1回～年数回  
□ 参加していない

⑧収入のある仕事



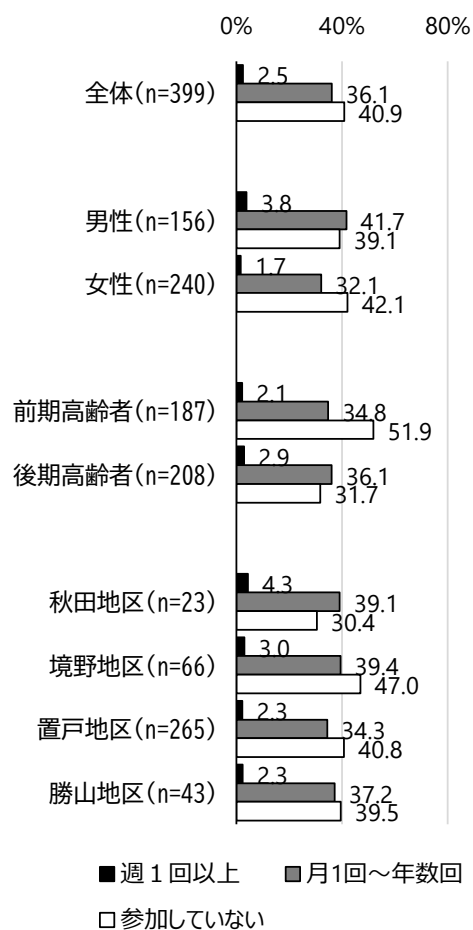
■ 週1回以上    ■ 月1回～年数回  
□ 参加していない

⑨その他の団体や会では、いずれの属性においても「週1回以上」より「月1回～年数回」の割合が高くなっています。「月1回～年数回」の割合は、男性、前期高齢者の方が高く、地区別では秋田地区、境野地区、勝山地区で全体より高くなっています。

※無回答は省略

**性別・年齢別・地区別**

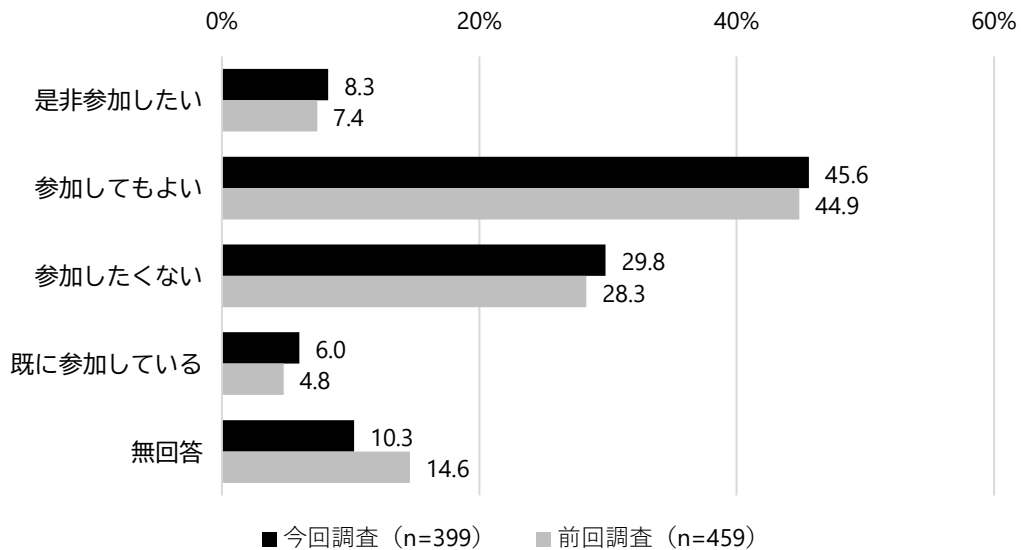
⑨その他の団体や会



(2)地域住民の有志により、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が45.6%と最も多く、次いで「参加したくない」が29.8%、「是非参加したい」が8.3%、「既に参加している」が6.0%となっています。

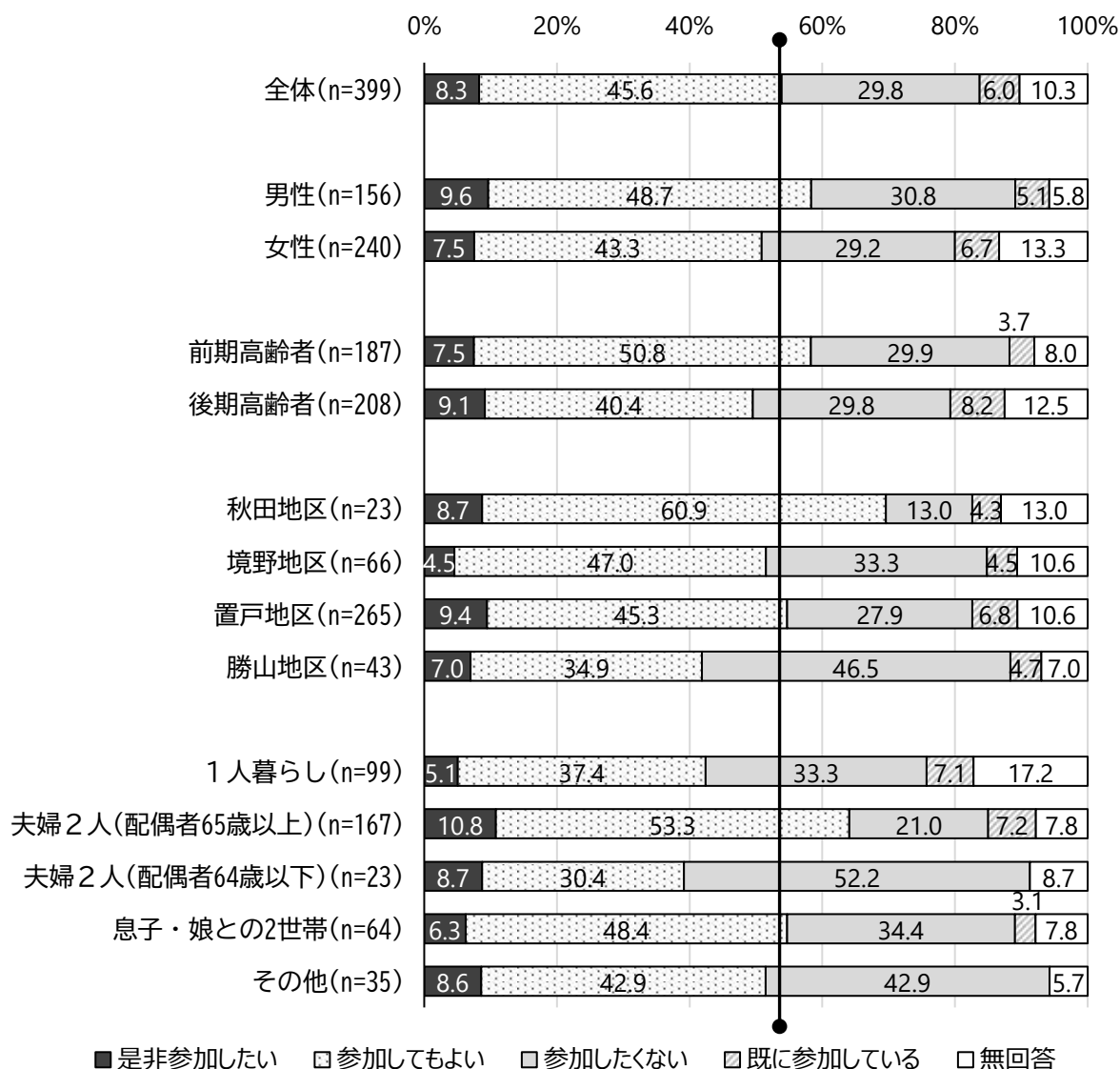
前回調査と比較すると、「既に参加している」が1.2ポイント増加していますが、「参加したくない」も1.5ポイント増加しています。「是非参加したい」「参加してもよい」が1ポイントに満たないものの増加しており、全体的には参加の意向がわずかに増加していると考えられます。



「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計を「参加意向あり」と捉え、「参加したくない」との境界に着目してみます。

「参加意向あり」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。地区別では秋田地区で高く、家族構成別では夫婦2人(配偶者65歳以上)で高くなっています。

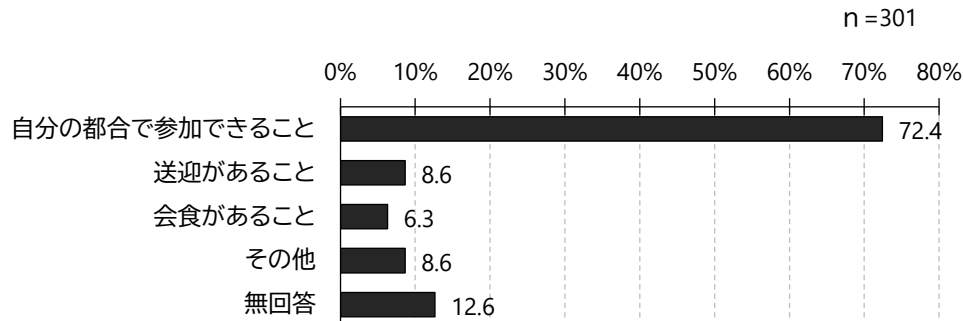
**性別・年齢別・地区別・家族構成別**



## (2)で「参加してもよい」「参加したくない」を選択された方

### (2)-① どのようなことがあれば、参加できますか(参加しやすいですか)(複数回答)

「自分の都合で参加できること」が72.4%と最も多く、次いで「送迎があること」及び「その他」が8.6%、「会食があること」が6.3%となっています。



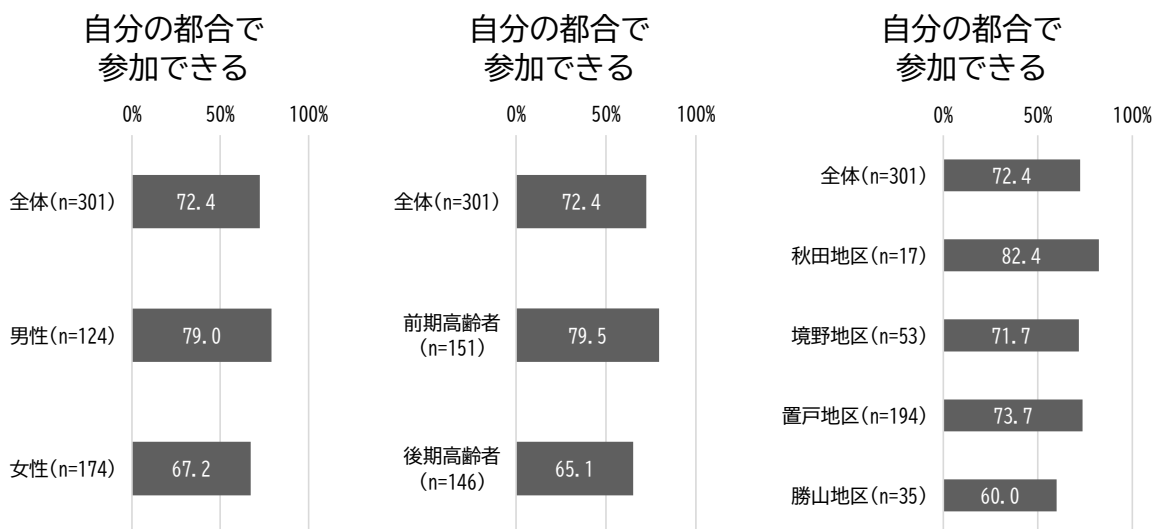
### 「その他」の主な内容

人と接するのは苦手(2) / 身体の都合で外出できない / 自分の興味に合うこと / 夫の介護、介助との兼ね合いで / 他人に対する批判とか聞いたりするのが嫌なので、参加したくない / 自分の趣味で忙しい / 集団活動が苦手 / 既にあるグループに参加しづらい / 身体の状態による / 十分に自立できている / 等

参加しやすい条件で、「その他」以外の「自分の都合で参加できること」「送迎があること」「会食があること」について、性別・年齢別・地区別に集計してみます。

「自分の都合で参加できること」の割合は、性別では男性、年齢では前期高齢者の方が高く、地区別では秋田地区が最も高くなっています。

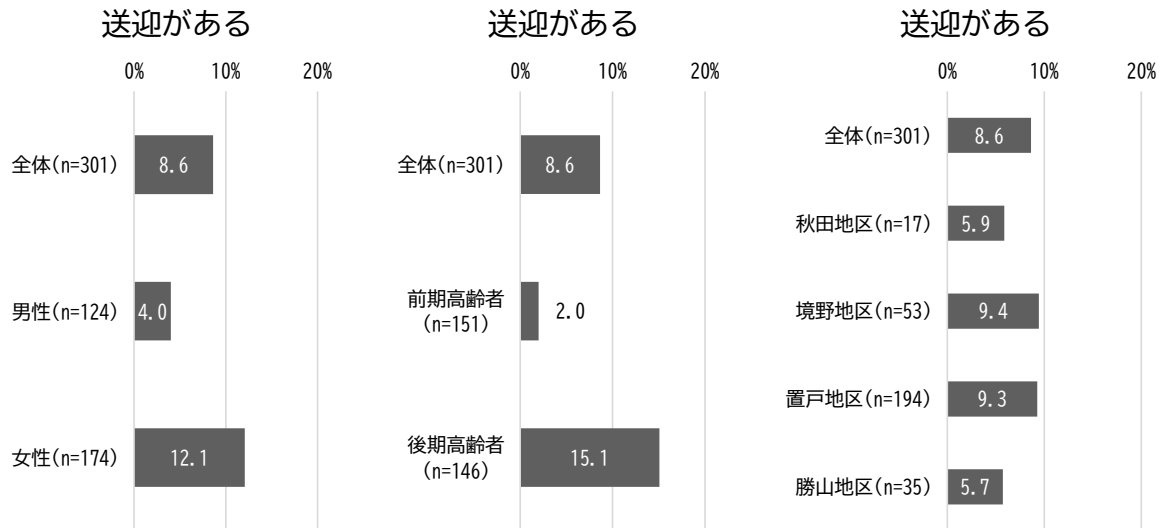
### 「自分の都合で参加できる」性別・年齢別・地区別





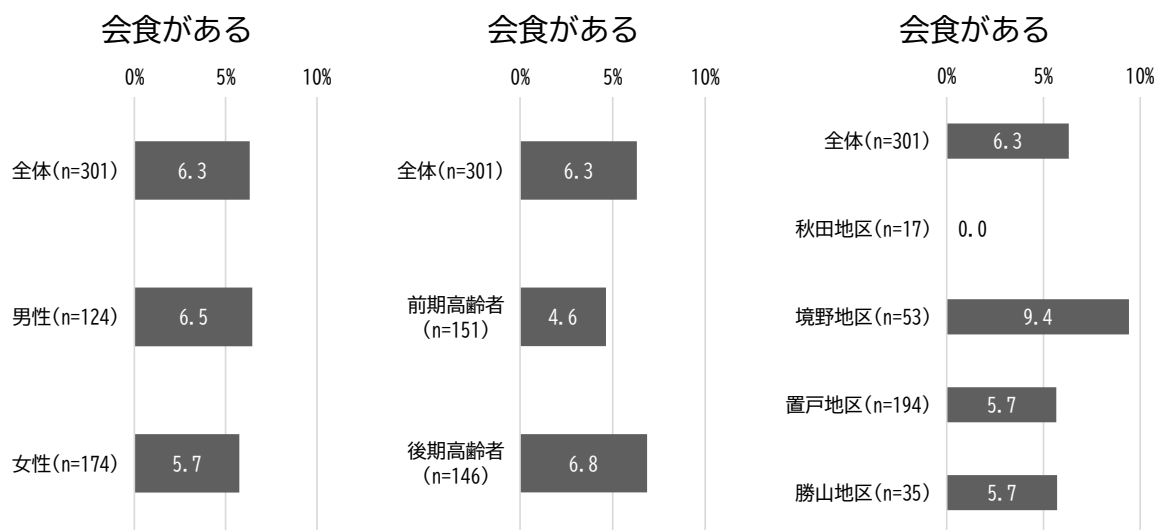
「送迎があること」の割合は、性別では女性、年齢では後期高齢者の方が高く、地区別では境野地区と置戸地区で高くなっています。

「送迎がある」性別・年齢別・地区別



「会食があること」の割合は、性別では男性、年齢では後期高齢者の方が高く、地区別では境野地区が最も高くなっています。

「会食がある」性別・年齢別・地区別

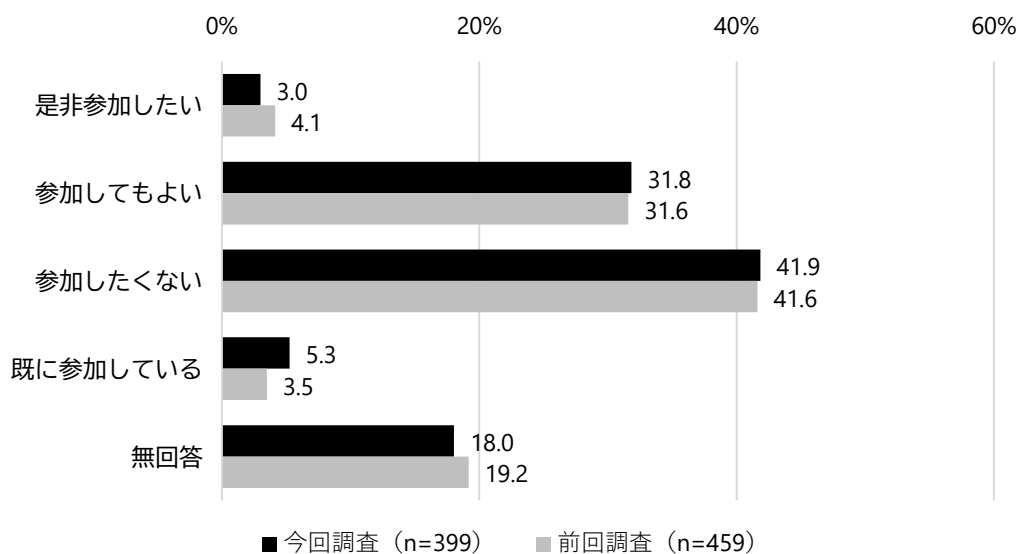


(3) 地域住民の有志により、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が41.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が31.8%、「既に参加している」が5.3%、「是非参加したい」が3.0%となっています。

前回調査と比較すると、「是非参加したい」は1.1ポイント減少していますが、「既に参加している」が1.8ポイント増加しています。

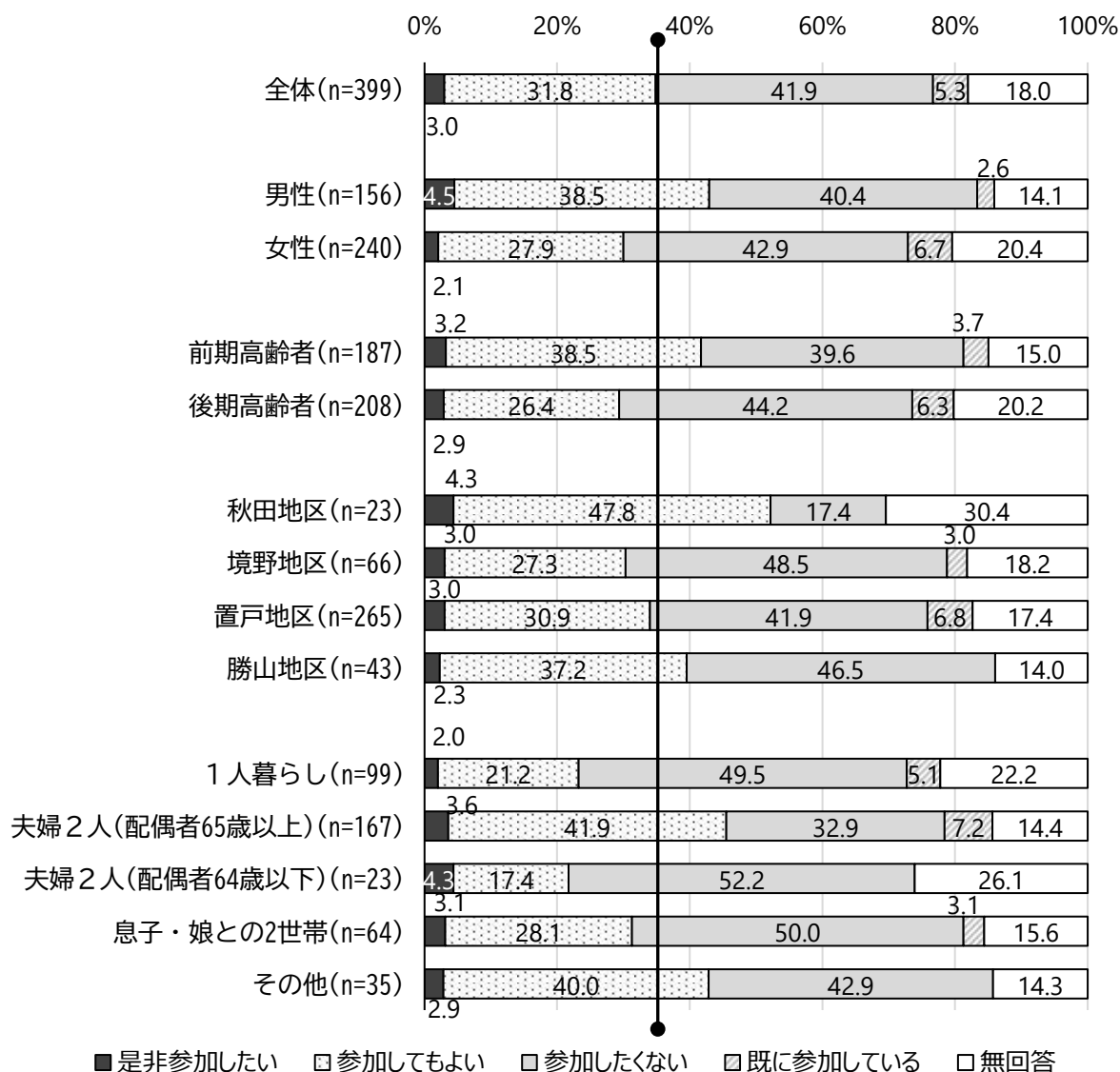
(2)の、参加者としての参加意向と比較すると、「参加してもよい」と「参加したくない」の割合が逆転し、企画・運営(お世話役)としての参加意向では「参加したくない」の割合の方が高くなっています。



(2) の、参加者としての参加意向と同様に、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計を「参加意向あり」と捉え、「参加したくない」との境界に着目してみます。

「参加意向あり」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。地区別では秋田地区と勝山地区で全体より高く、家族構成別では夫婦2人(配偶者65歳以上)で高くなっています。

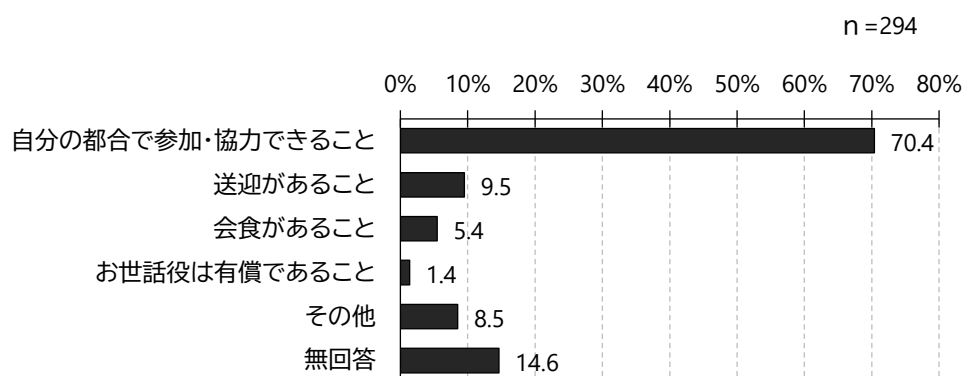
**性別・年齢別・地区別・家族構成別**



(3)で「参加してもよい」「参加したくない」を選択された方

(3)-① どのようなことがあれば、参加できますか(参加しやすいですか)(複数回答)

「自分の都合で参加・協力できること」が70.4%と最も多く、次いで「送迎があること」が9.5%、「その他」が8.5%、「会食があること」が5.4%、「お世話役は有償であること」が1.4%となっています。



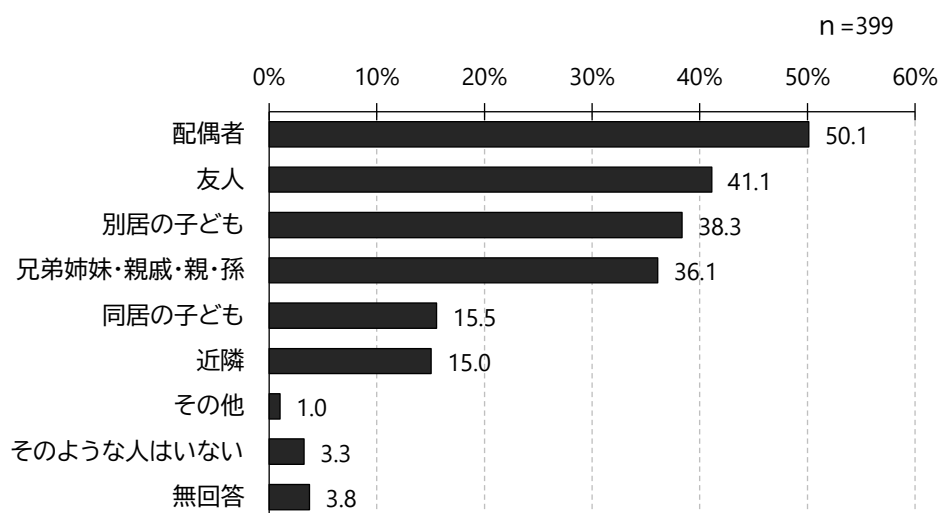
「その他」の主な内容

自身の身体のことので精一杯／人と接しない片付けやゴミ拾いの手伝いなら／気がのらない／転居して半年なのでもう少しのんびりしたい／自分の趣味で忙しい／集団活動が苦手／新たに始めるなら参加してみたい／普段仕事をしているから疲れて行けない。休みはゆっくりしたい／土・日・祝日仕事している。日帰りのバス旅行ならが休みをもらい参加できるかと思う／身体の状態による／足が痛いので考えつかない／コロナのため参加しない／等

## 問6 たすけあいについて

### (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はだれですか(複数回答)

「配偶者」が50.1%と最も多く、次いで「友人」が41.1%、「別居の子ども」が38.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.1%、「同居の子ども」が15.5%となっています。



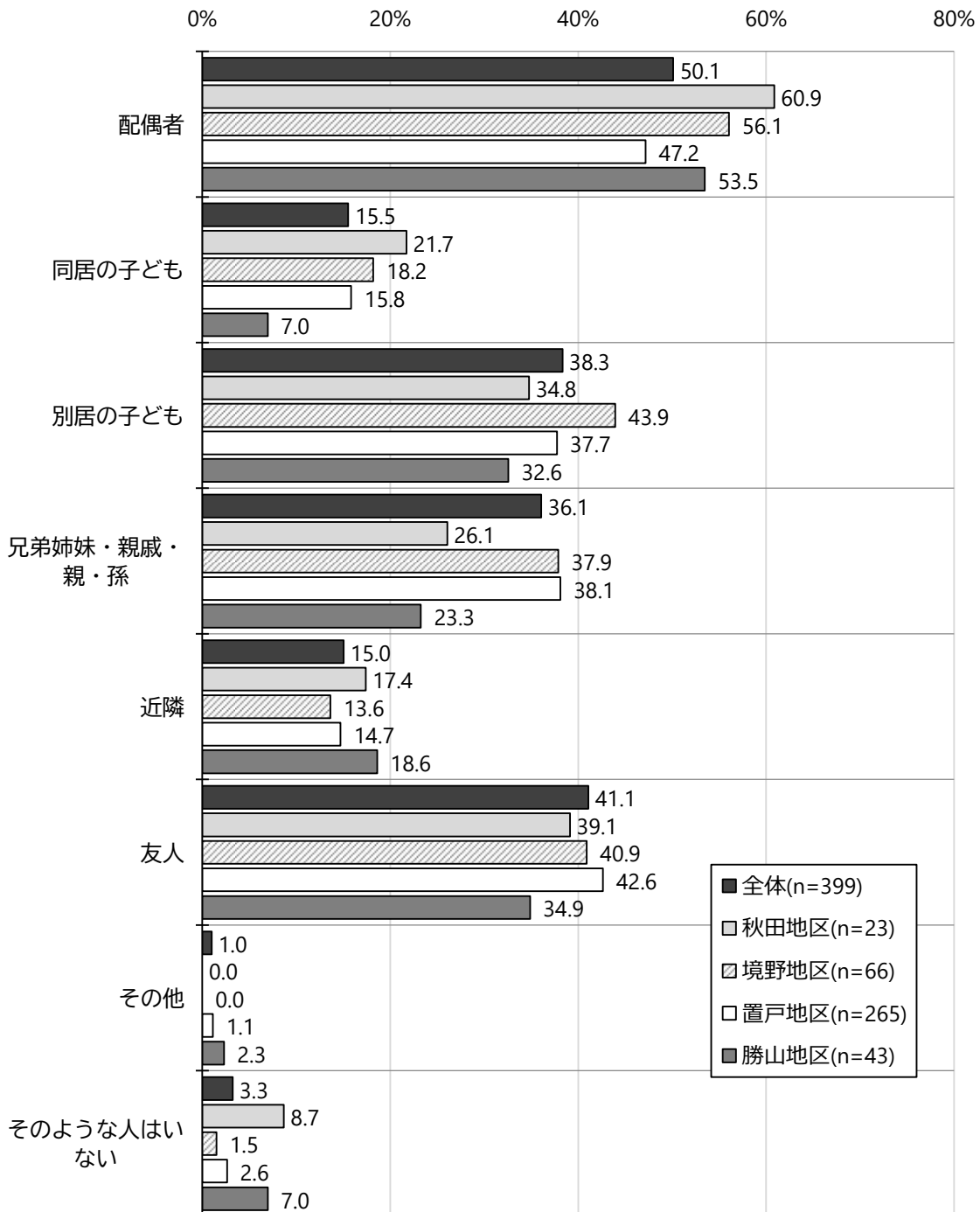
#### 「その他」の主な内容

仕事の同僚

家族・親族以外の回答に着目し、割合を地区別にみると、「近隣」では勝山地区、秋田地区が全体より高くなっています。「友人」では置戸地区が全体よりわずかに高くなっています。

「そのような人はいない」は、秋田地区が最も高くなっています。

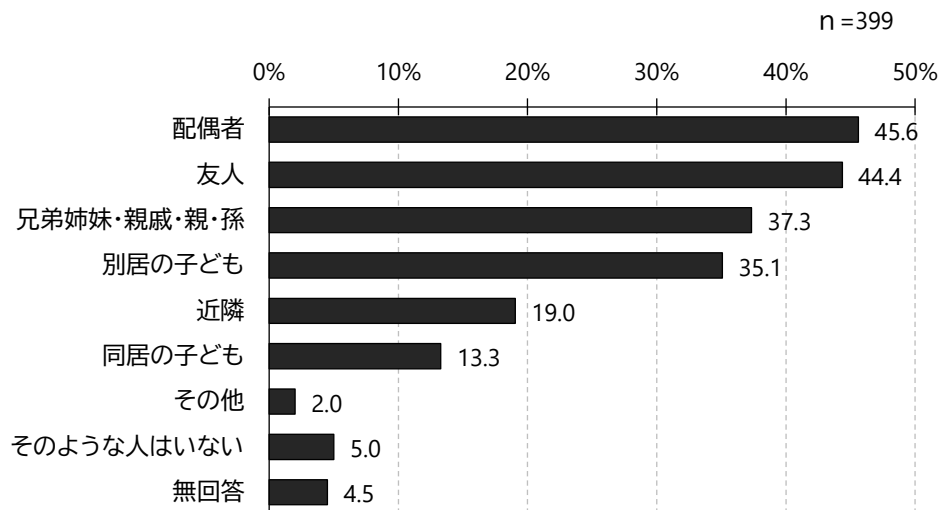
**地区別**



※無回答を除く(以下同)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はだれですか(複数回答)

「配偶者」が45.6%と最も多く、次いで「友人」が44.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が37.3%、「別居の子ども」が35.1%、「近隣」が19.0%となっています。



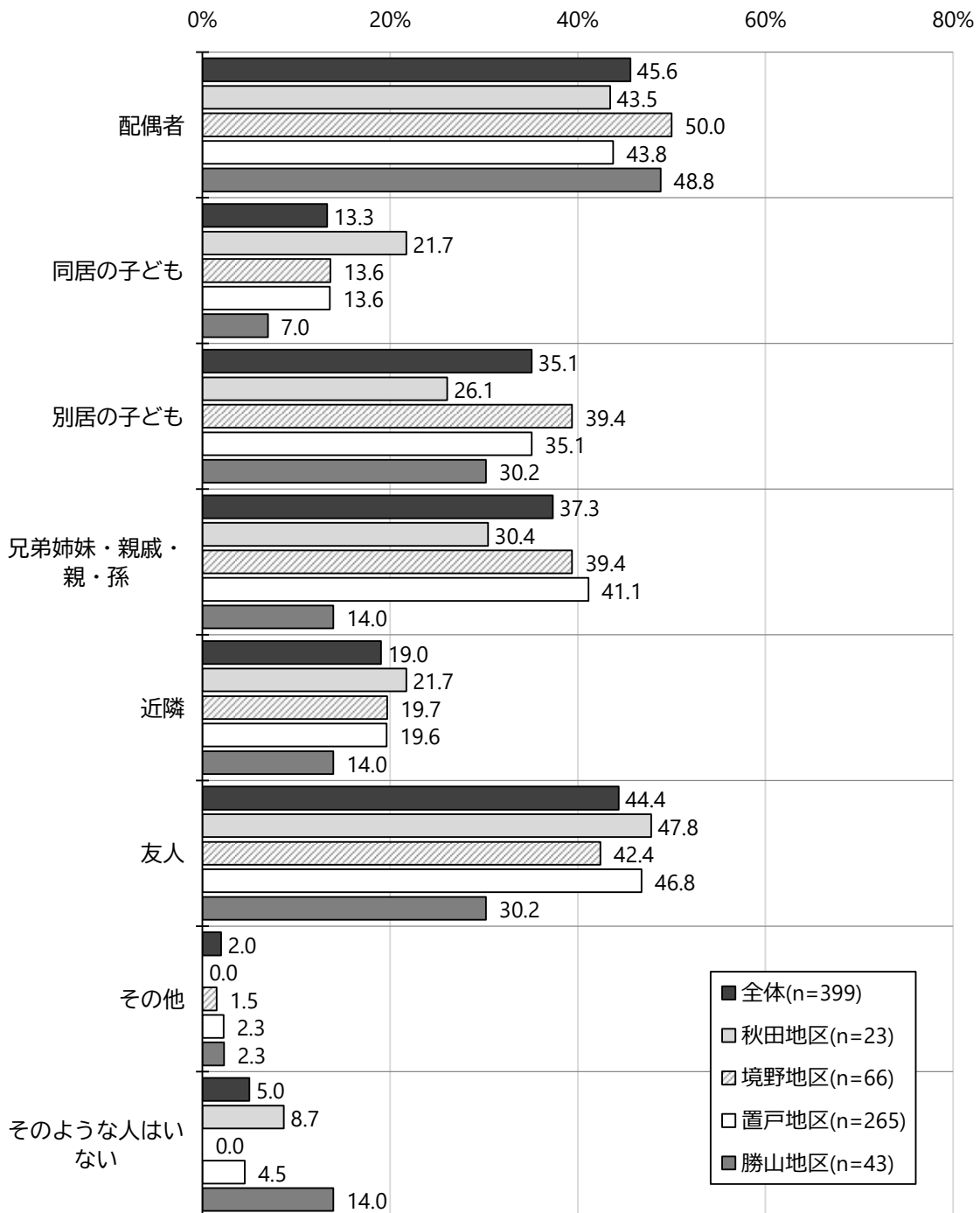
「その他」の主な内容

店に来るお客さん／職員／仕事の同僚／不特定多数

家族・親族以外の回答に着目し、割合を地区別にみると、「近隣」では秋田地区が最も高く、境野地区、置戸地区も全体よりわずかに高くなっています。「友人」では秋田地区、置戸地区が全体より高くなっています。

「そのような人はいない」は、勝山地区が最も高くなっており、境野地区にはみられません。

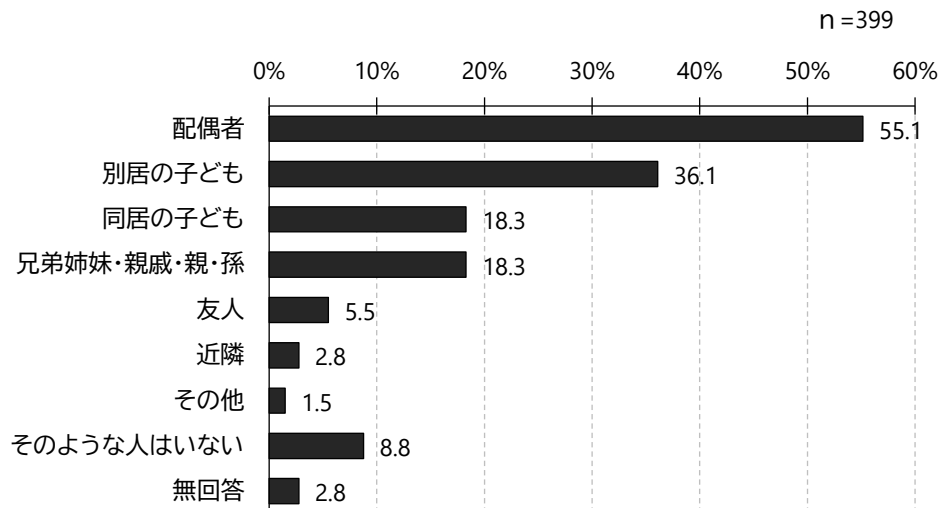
**地区別**





(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか  
(複数回答)

「配偶者」が55.1%と最も多く、次いで「別居の子ども」が36.1%、「同居の子ども」及び「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.3%、「そのような人はいない」が8.8%となっています。



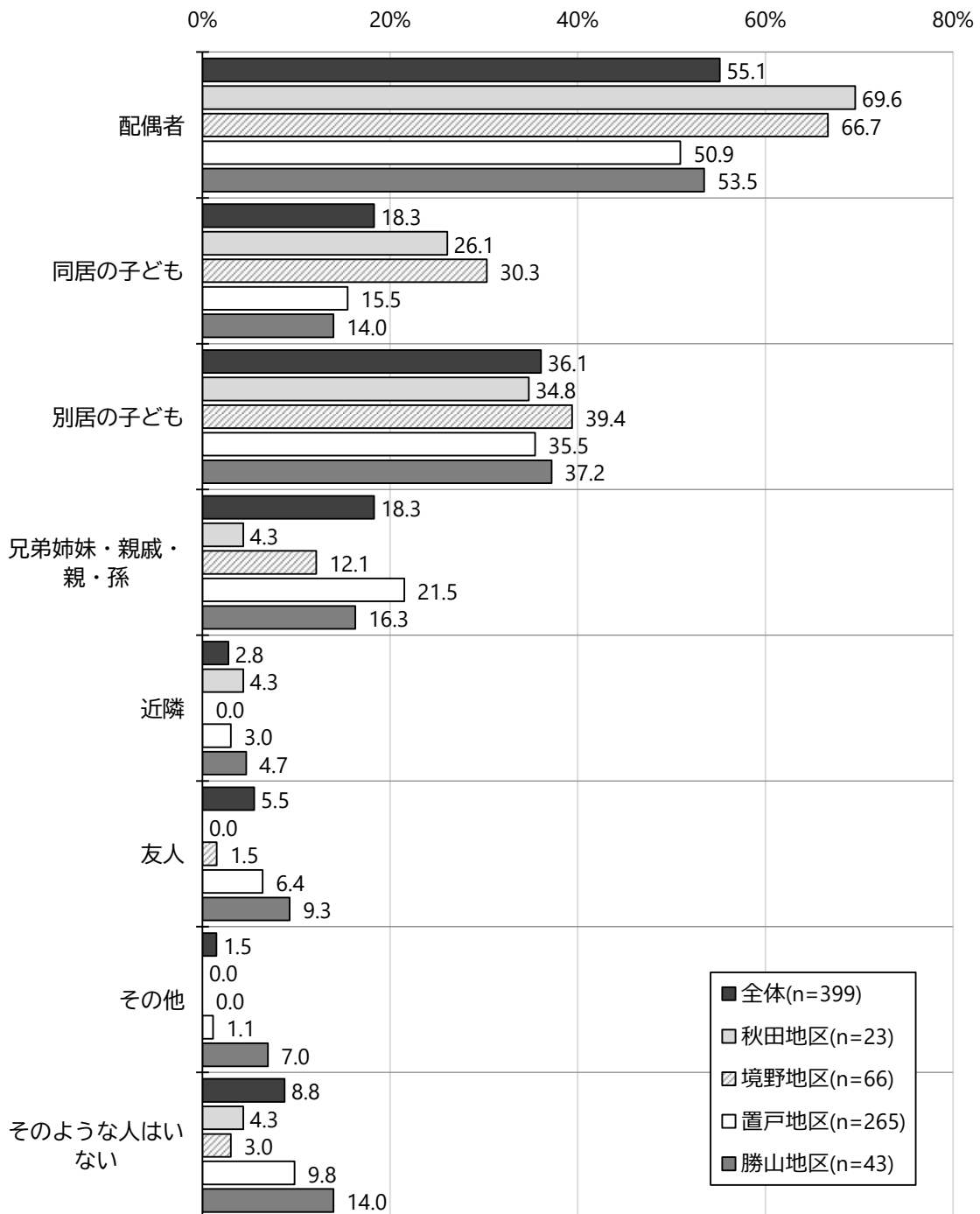
「その他」の主な内容

娘

家族・親族以外の回答に着目し、割合を地区別にみると、「近隣」では勝山地区、秋田地区が全体より高くなっており、境野地区ではみられません。「友人」では勝山地区が最も高く、置戸地区も全体より高くなっています。

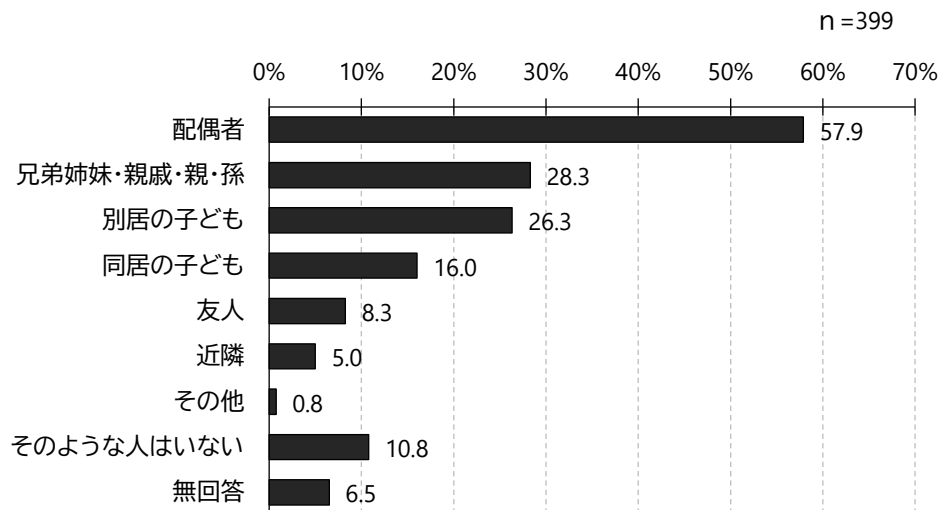
「そのような人はいない」は、勝山地区が最も高くなっています。

**地区別**



#### (4) 反対に、看病や世話をしあける人はだれですか(複数回答)

「配偶者」が57.9%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.3%、「別居の子ども」が26.3%、「同居の子ども」が16.0%、「そのような人はいない」が10.8%となっています。



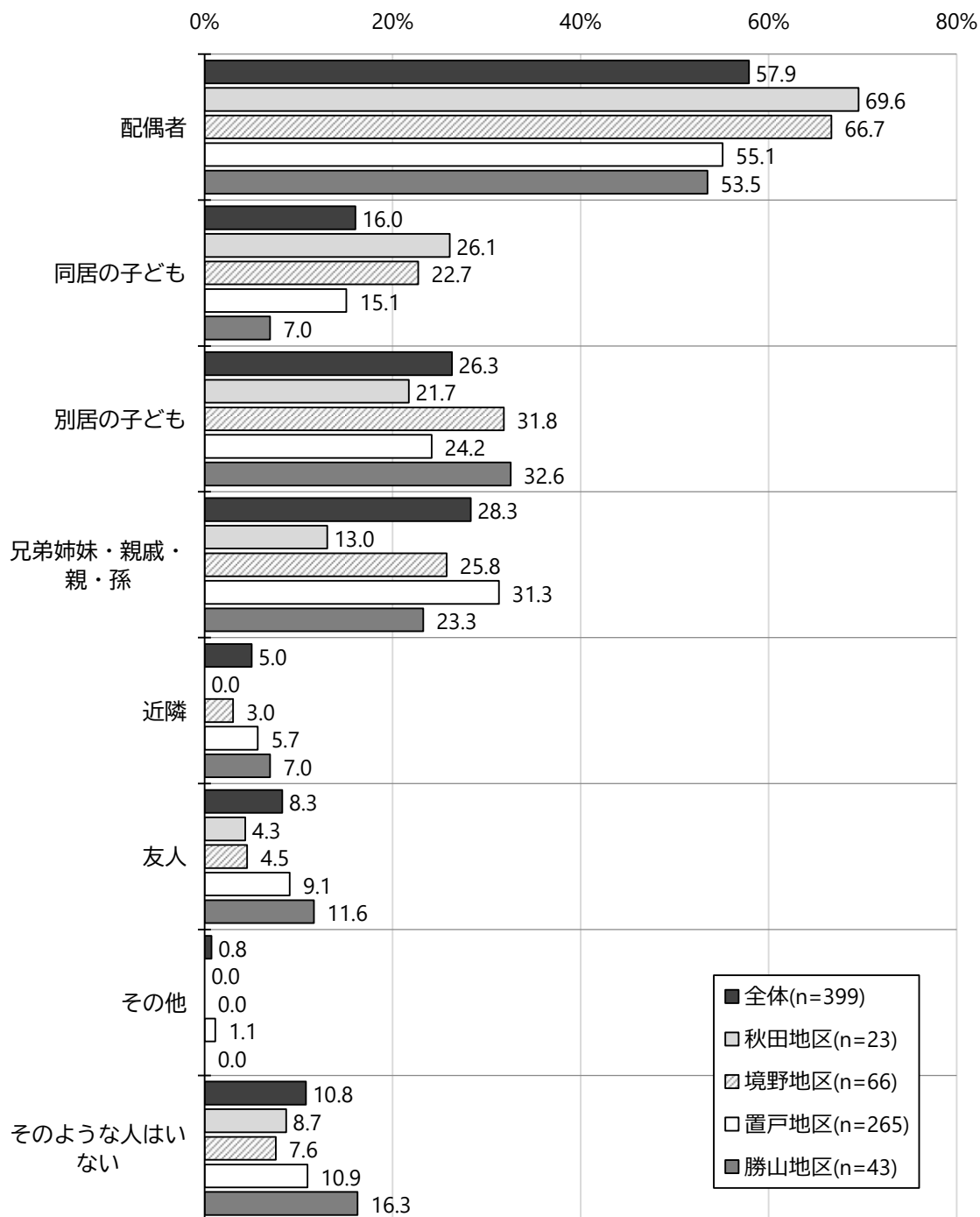
#### 「その他」の主な内容

同居の孫／人の世話までできない

家族・親族以外の回答に着目し、割合を地区別にみると、「近隣」では勝山地区が最も高く、置戸地区も全体よりわずかに高くなっています。「友人」では勝山地区が最も高く、置戸地区も全体より高くなっています。

「そのような人はいない」は、勝山地区が最も高くなっています。

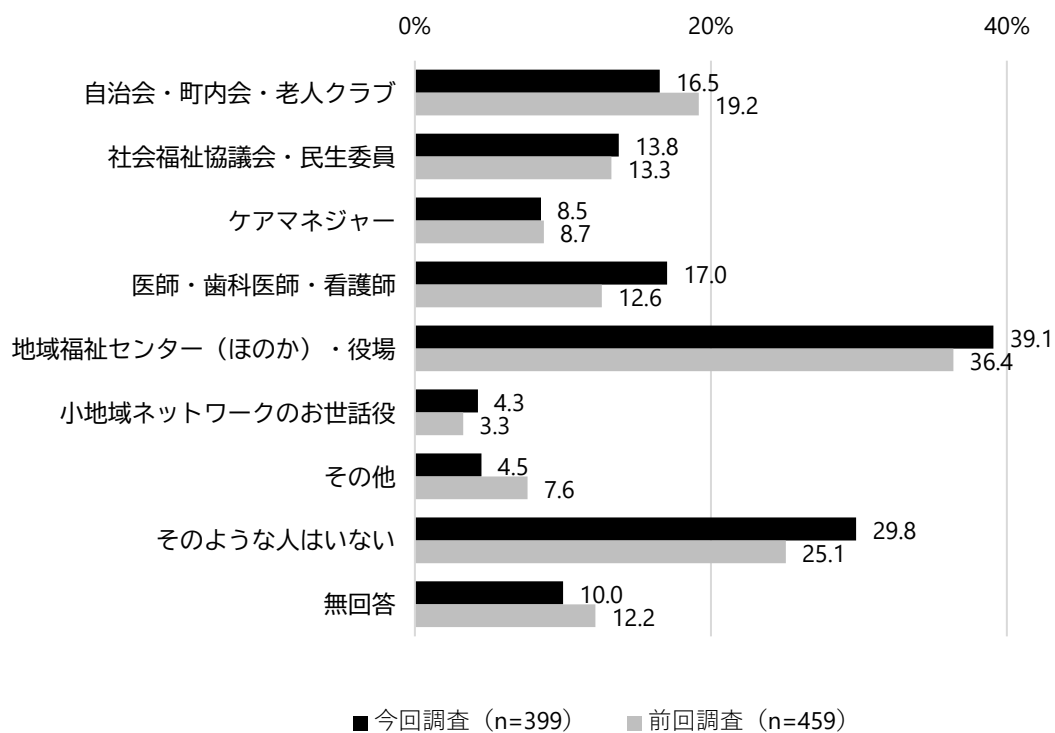
**地区別**



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人・お手伝いしてくれる人はだれですか(複数回答)

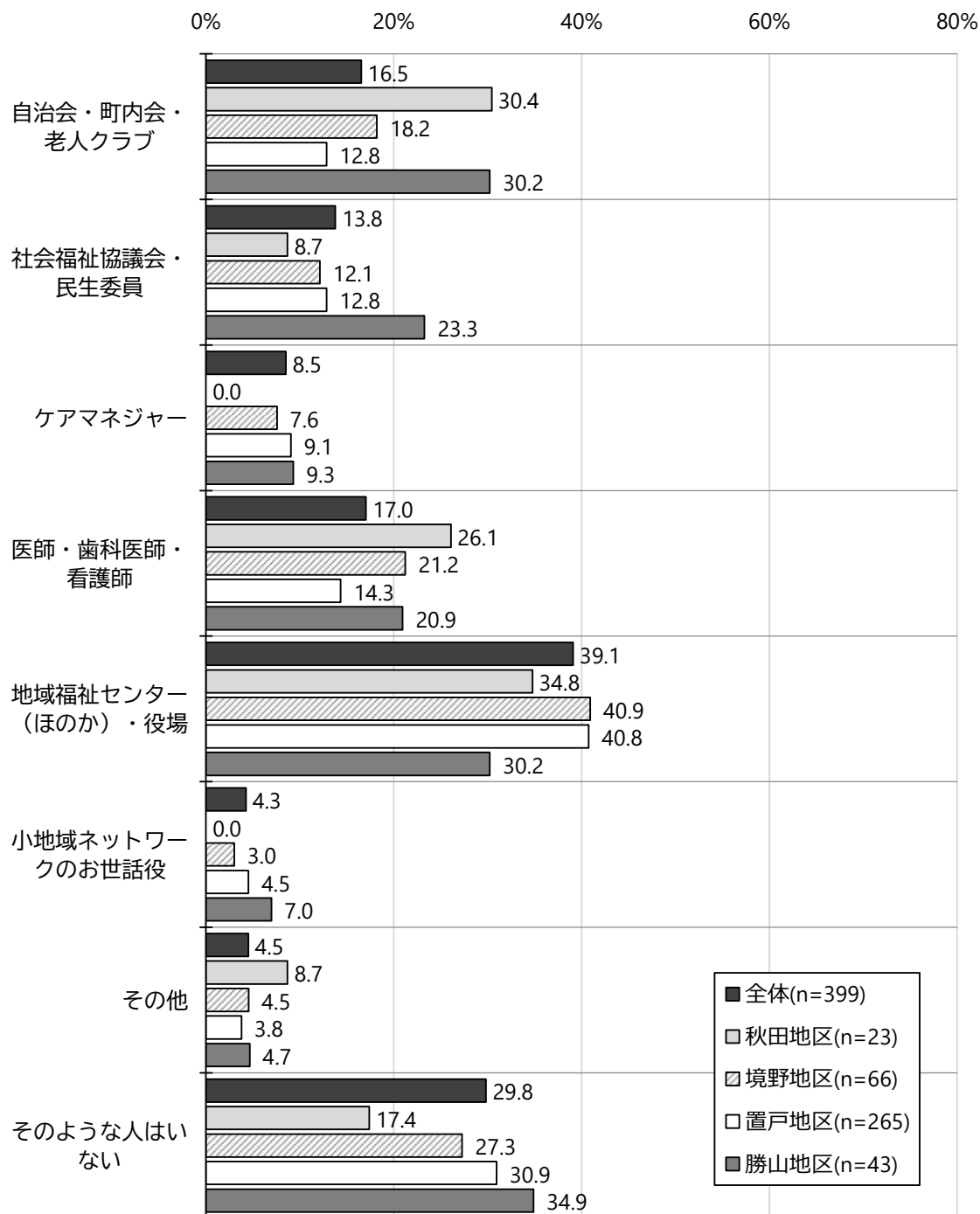
「地域福祉センター(ほのか)・役場」が39.1%と最も多く、「医師・歯科医師・看護師」が17.0%、「自治会・町内会・老人クラブ」が16.5%、「社会福祉協議会・民生委員」が13.8%となっています。また、「そのような人はいない」が29.8%となっています。

前回調査と比較すると、「医師・歯科医師・看護師」が4.4ポイント増加しているほか、「地域福祉センター(ほのか)・役場」が2.7ポイント、「小地域ネットワークのお世話役」が1ポイントの増加となっていますが、「そのような人はいない」も4.8ポイント増加しています。



地区別に割合をみると、「地域福祉センター（ほのか）・役場」は勝山地区で低くなっています。「医師・歯科医師・看護師」は秋田地区、「自治会・町内会・老人クラブ」は秋田地区、勝山地区、「社会福祉協議会・民生委員」は勝山地区で高くなっています。「そのような人はいない」は勝山地区で高くなっています。

地区別

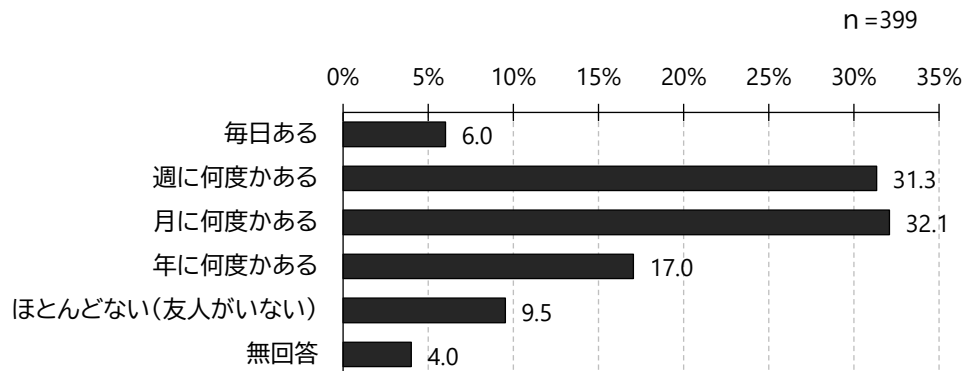


## (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

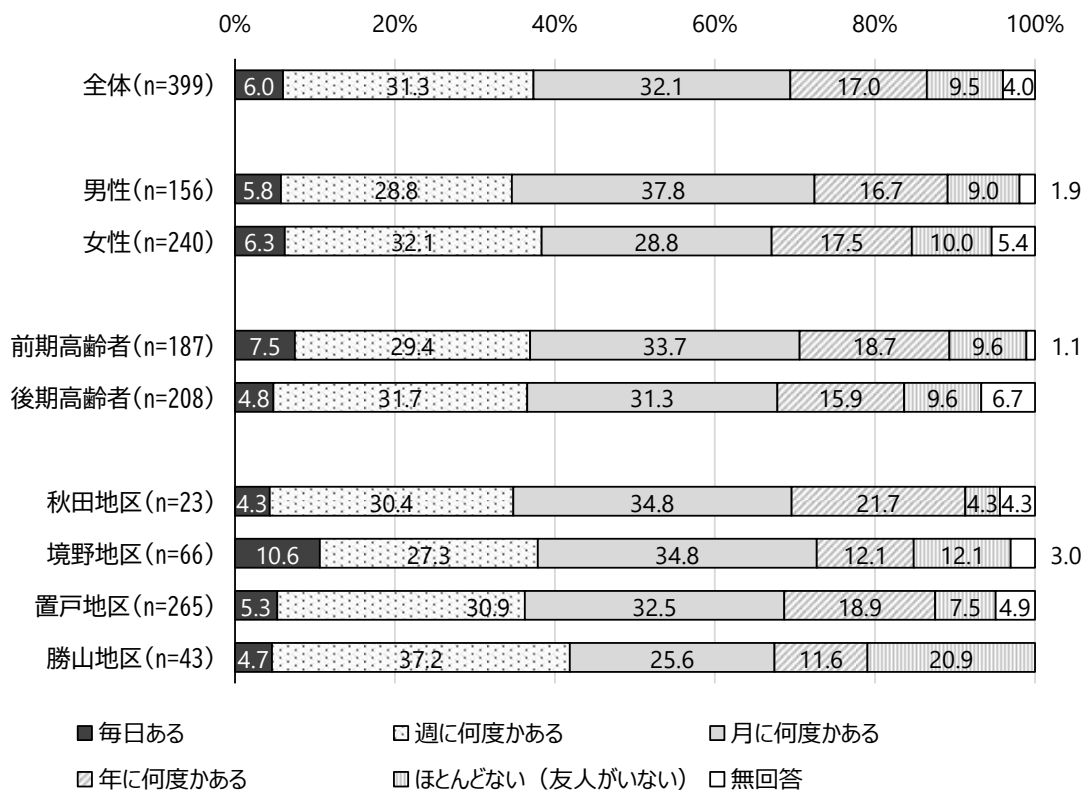
「月に何度かある」が32.1%と最も多く、次いで「週に何度かある」が31.3%、「年に何度かある」が17.0%、「ほとんどない(友人がいない)」が9.5%、「毎日ある」が6.0%となっています。

「ほとんどない(友人がいない)」の割合は、性別では女性の方がわずかに高く、地区別では勝山地区が高くなっています。年齢別では差がみられません。

「毎日ある」の割合は、地区別では境野地区が高くなっています。



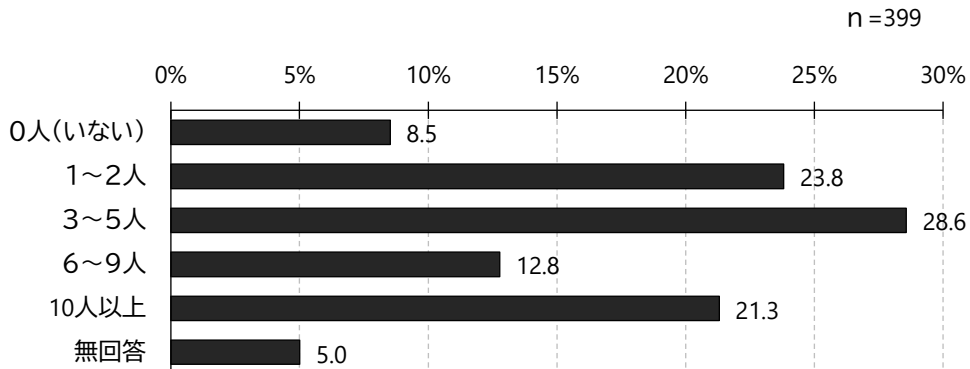
### 性別・年齢別・地区別



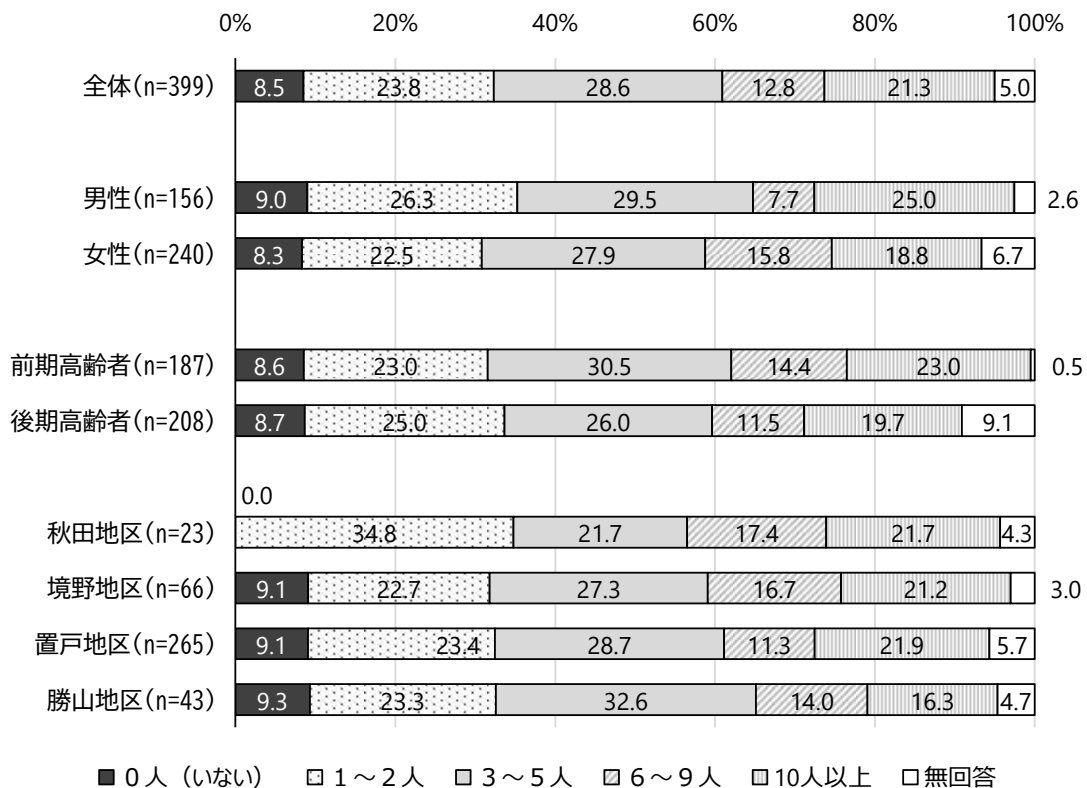
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします

「3～5人」が28.6%と最も多く、次いで「1～2人」が23.8%、「10人以上」が21.3%、「6～9人」が12.8%、「0人（いない）」が8.5%となっています。

「いない」の割合は、性別では男性の方が高くなっており、地区別では秋田地区で0.0%となっています。年齢別では差がみられません。



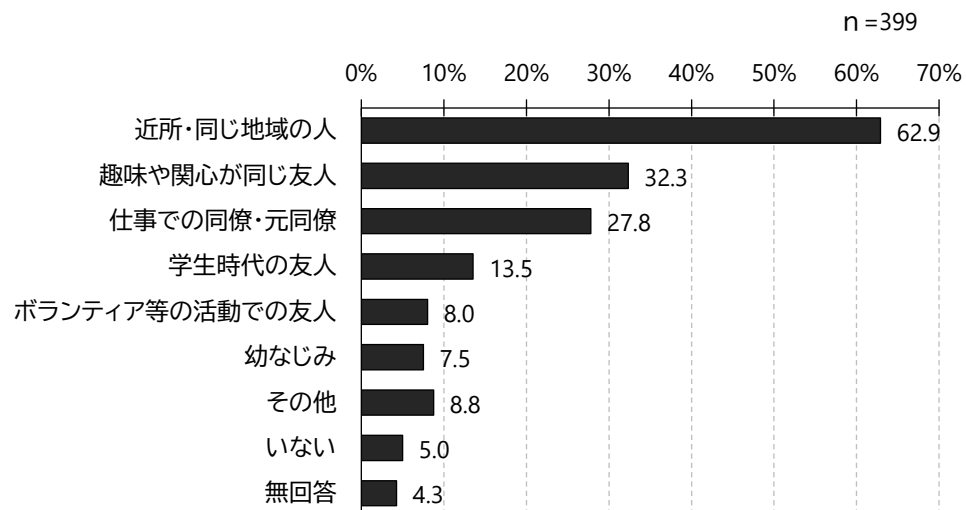
性別・年齢別・地区別





(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(複数回答)

「近所・同じ地域の人」が62.9%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.3%、「仕事での同僚・元同僚」が27.8%、「学生時代の友人」が13.5%、「その他」が8.8%となっています。

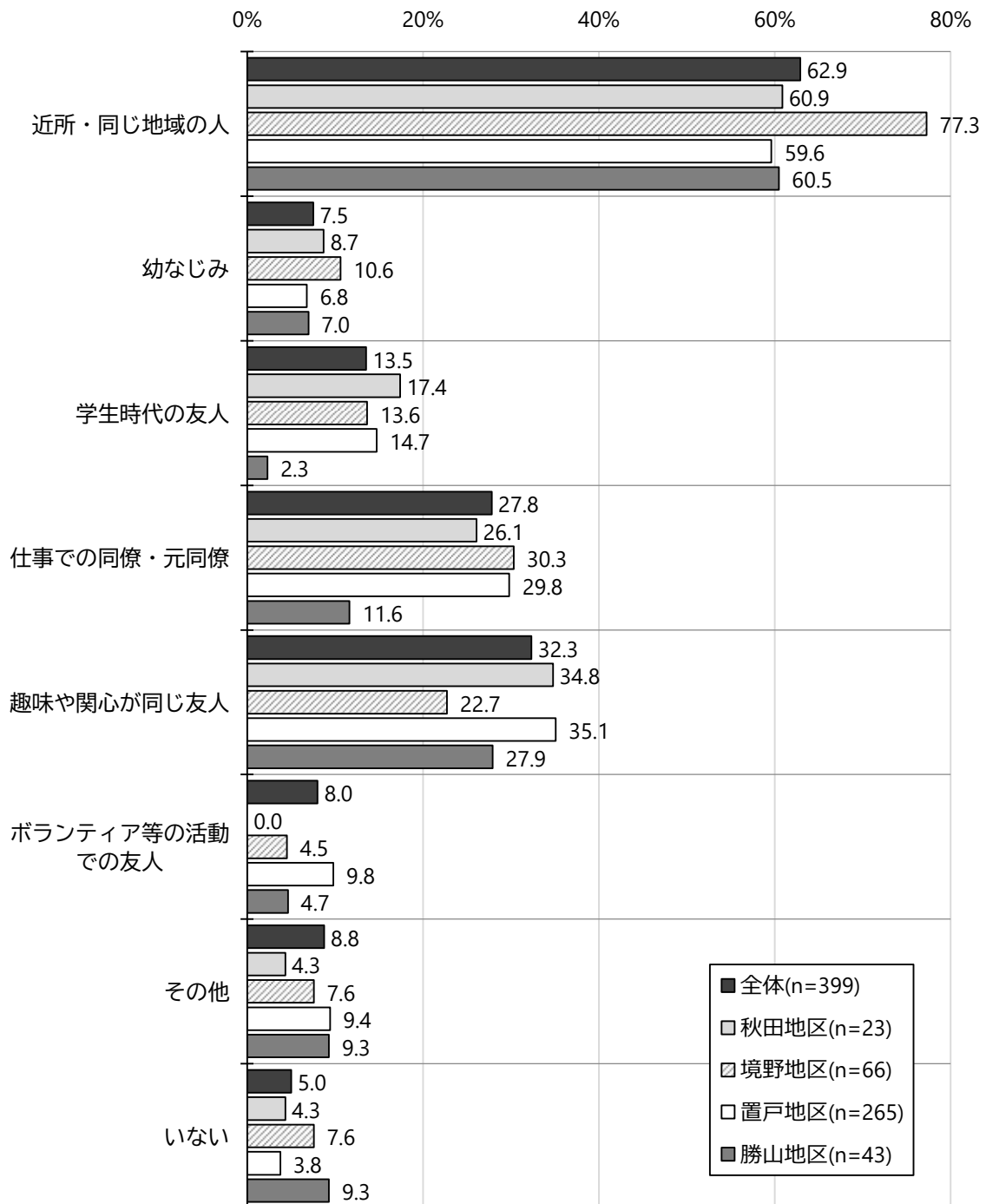


地区別に割合をみると、「近所・同じ地域の人」は境野地区が最も高くなっています。

「ボランティア等の活動での友人」は全体で8.0%と高くありませんが、置戸地区が全体より高い一方で、秋田地区にはみられません。

「いない」の割合は、勝山地区と境野地区が全体よりも高くなっています。

**地区別**



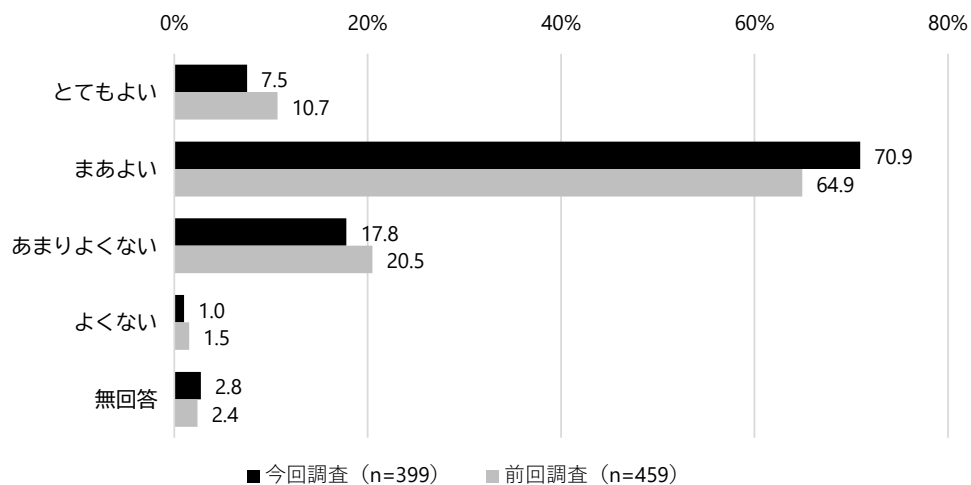
## 問7 健康について

### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

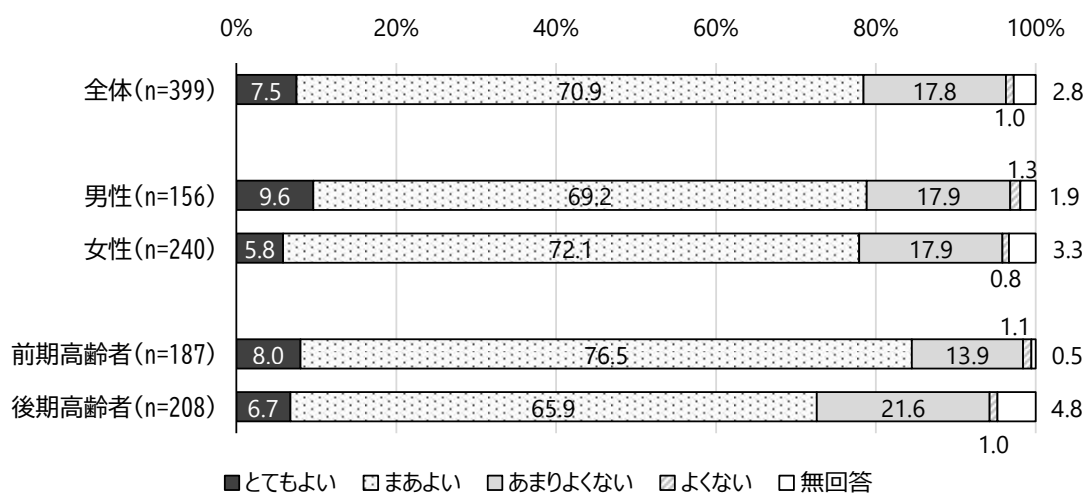
「まあよい」が70.9%と最も多く、次いで「あまりよくない」が17.8%、「とてもよい」が7.5%、「よくない」が1.0%となっています。

前回調査と比較すると、「あまりよくない」「よくない」ともにわずかながら減少していますが、「とてもよい」も減少しています。増加したのは「まあよい」(6.0ポイント増)であり、主観的健康状態の曖昧な領域の回答が増えていることから、フレイル予防の必要性が高まっていることも考えられます。

「とてもよい」の割合は、性別では男性の方が、年齢別では前期高齢者の方が高くなっています。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた割合は後期高齢者になると減少し、上述のフレイル予防は前期高齢者のうちからの取組が重要であることがうかがえます。

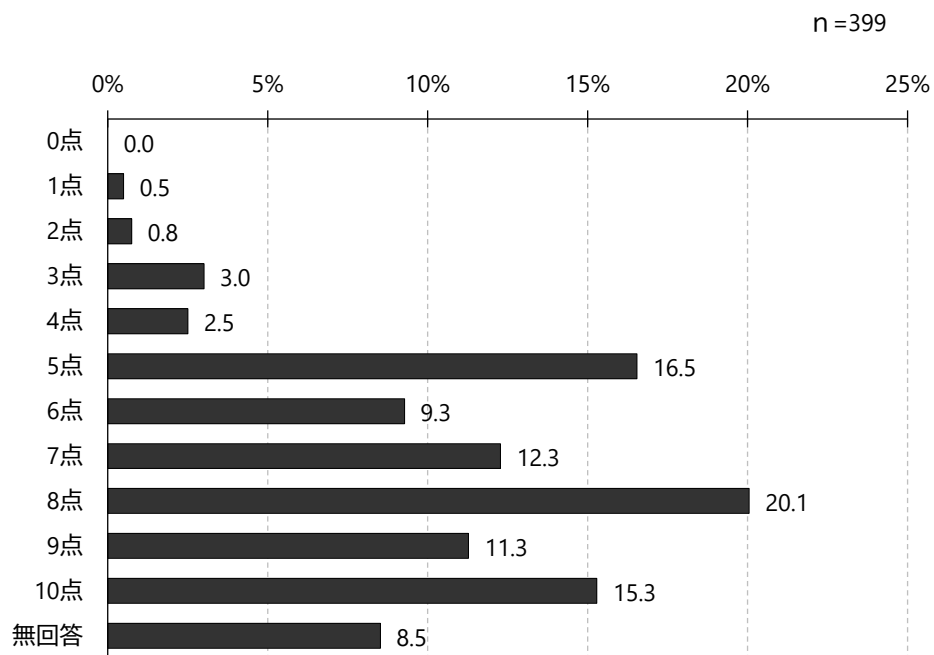


### 性別・年齢別



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

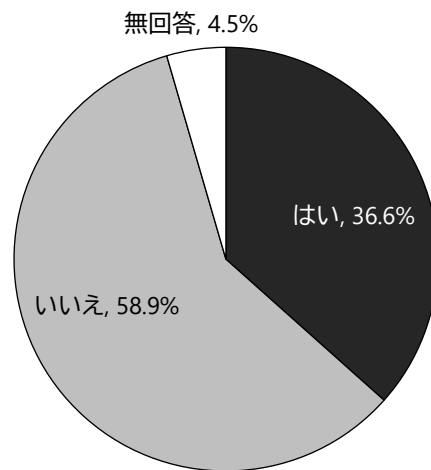
「8点」が20.1%と最も多く、次いで「5点」が16.5%、「10点」が15.3%、「7点」が12.3%、「9点」が11.3%となっています。



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

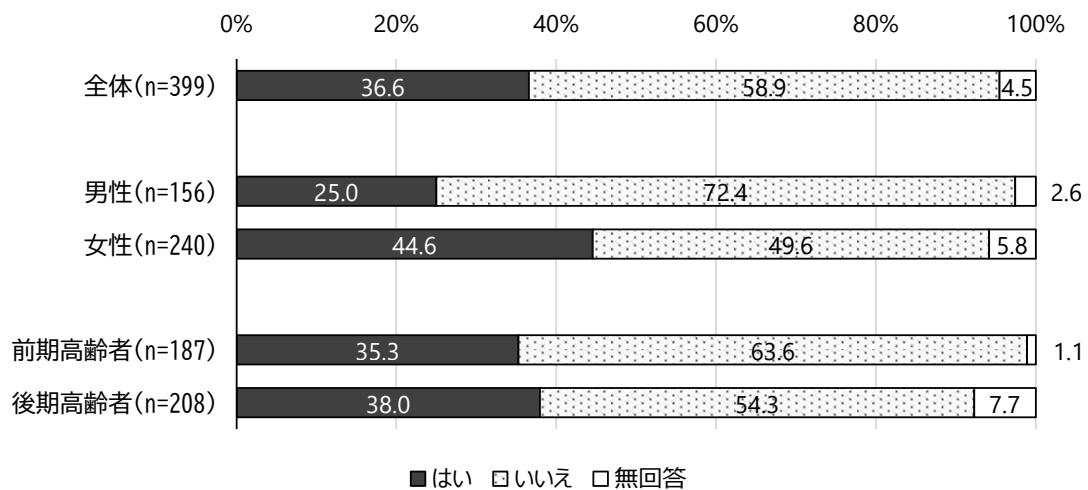
「はい」が36.6%、「いいえ」が58.9%となっています。

「はい」の割合をみると、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



n=399

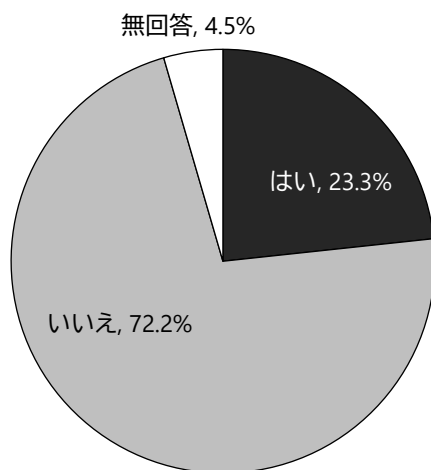
性別・年齢別



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

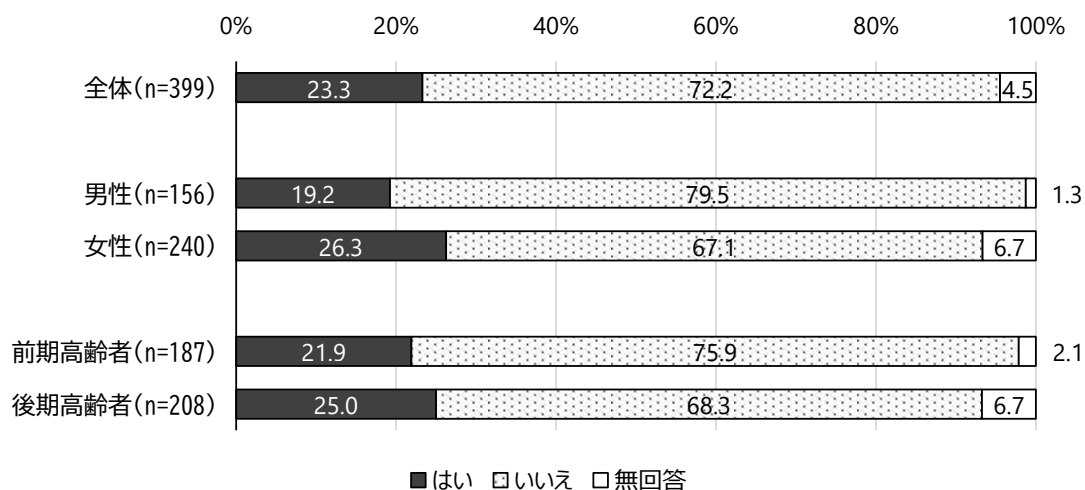
「はい」が23.3%、「いいえ」が72.2%となっています。

「はい」の割合をみると、性別では女性の方が高く、年齢別では後期高齢者の方が高くなっています。



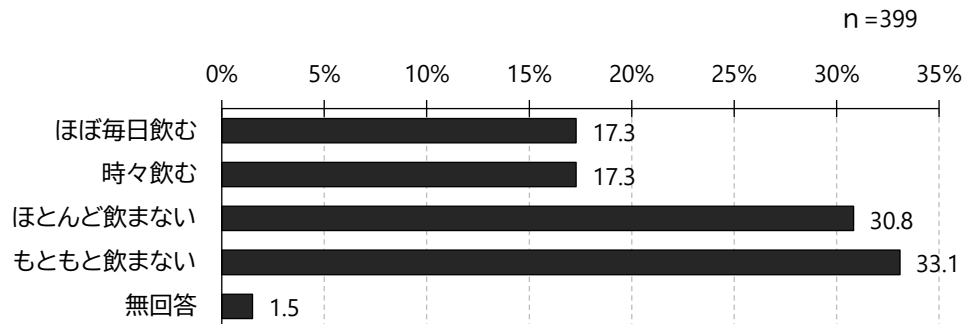
n=399

性別・年齢別



### (5) お酒は飲みますか

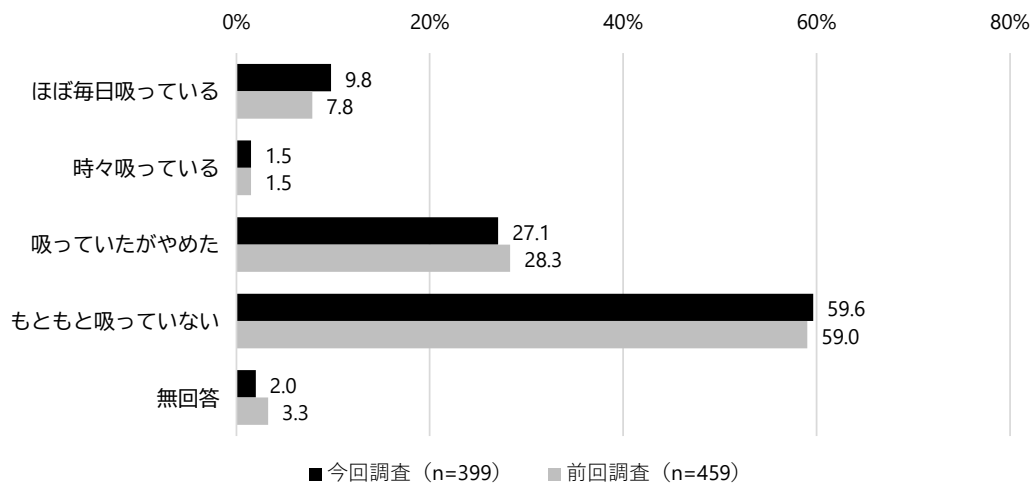
「もともと飲まない」が33.1%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が30.8%、「ほぼ毎日飲む」及び「時々飲む」が17.3%となっています。



### (6) タバコは吸っていますか

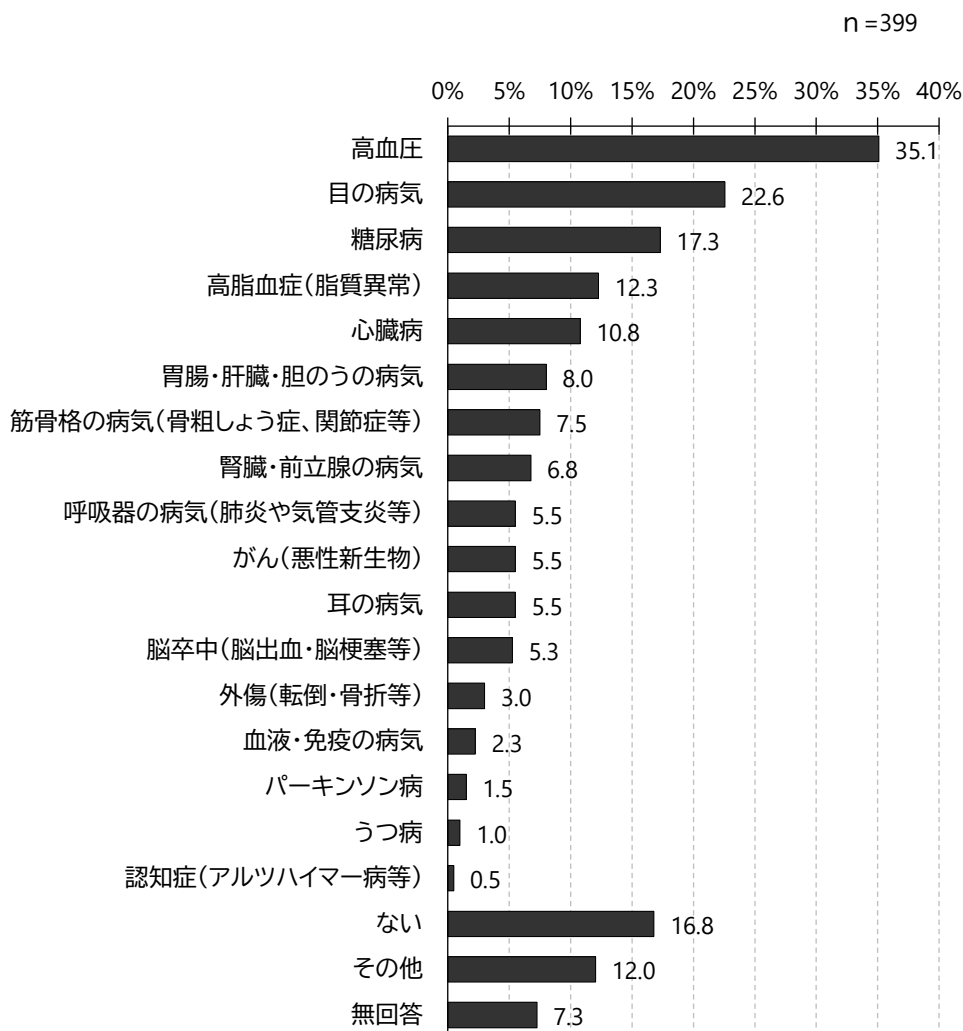
「もともと吸っていない」が59.6%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.1%、「ほぼ毎日吸っている」が9.8%、「時々吸っている」が1.5%となっています。

前回調査と比較すると、「もともと吸っていない」や「時々吸っている」には差がみられませんが、「吸っていたがやめた」がわずかに減少し、「ほぼ毎日吸っている」が1.9ポイント増加しています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(複数回答)

「高血圧」が35.1%と最も多く、次いで「目の病気」が22.6%、「糖尿病」が17.3%、「高脂血症(脂質異常)」が12.3%となっています。また、「ない」が16.8%となっています。



「その他」の主な内容

リウマチ(5) / 甲状腺(2) / コレステロール(2) / バセドウ病(2) / 喘息(2) / まい(2) / 腰痛 / 歯科 / 変形性膝関節症 / 三叉神経痛 / 腰痛 / 洞性頻脈(投薬) / 逆流性食道炎 / 皮膚病 / 尋常性感染症 / おしっこが出なくなる病気 / ひざが痛くて月に1回会注射に行ってる / 高血圧、高血糖、高脂血症で2か月に一度受診している / 等

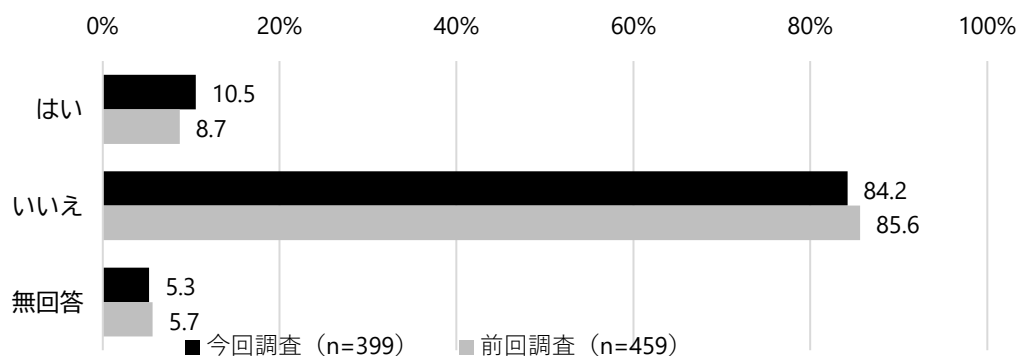


## 問8 認知症に関する相談窓口などについて

### (1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が10.5%、「いいえ」が84.2%となっています。

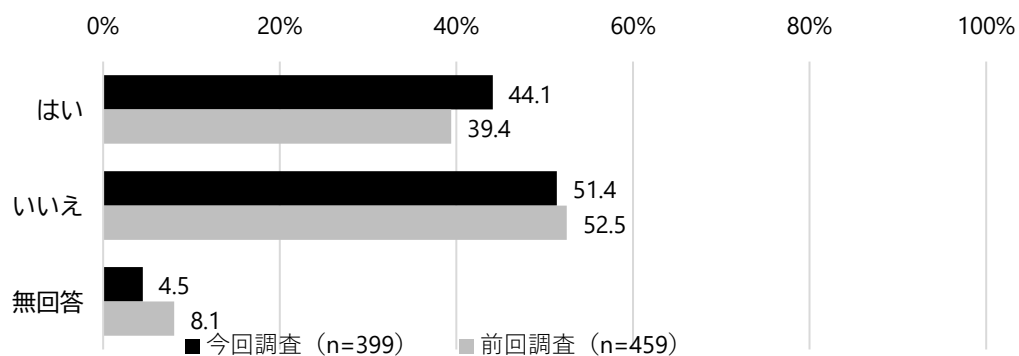
前回調査と比較すると、「はい」が増加し、「いいえ」が減少しています。



### (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」が44.1%、「いいえ」が51.4%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が増加し、「いいえ」が減少しています。

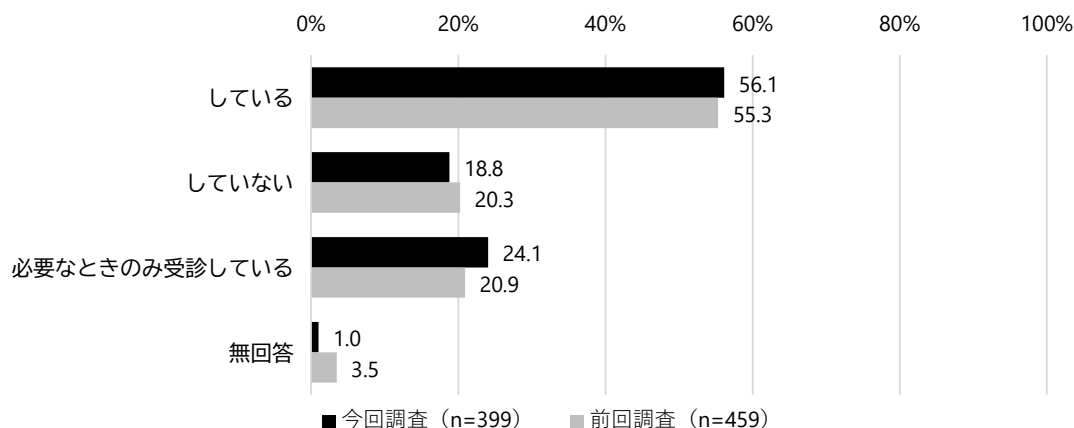


## 問9 病院・医療施設の利用などについて

### (1) あなたは町外の病院へ通院していますか

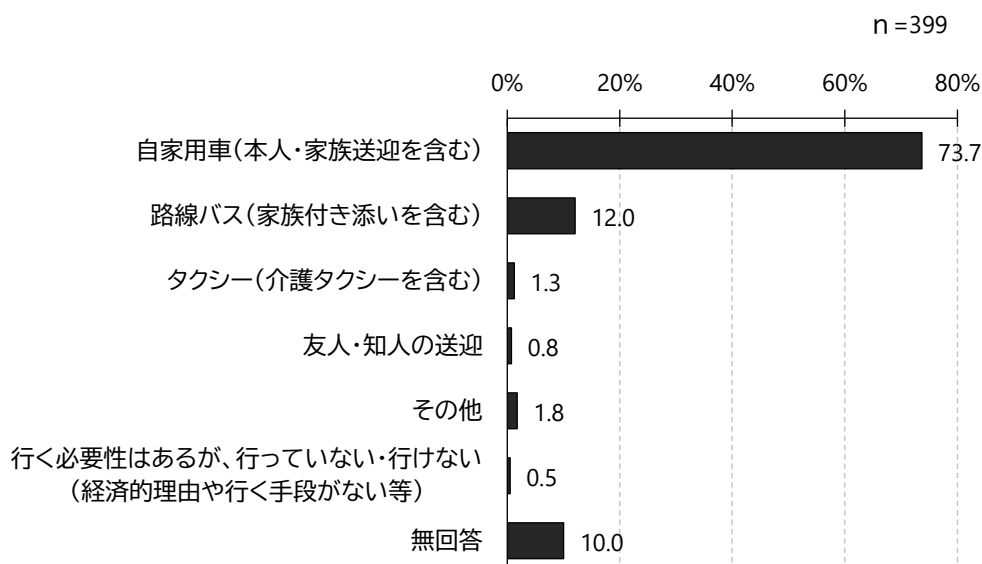
「している」が56.1%と最も多く、次いで「必要なときのみ受診している」が24.1%、「していない」が18.8%となっています。

前回調査と比較すると、「している」はわずかな増加、「していない」はわずかな減少で、「必要なときのみ受診している」は3.2ポイントの増加となっています。



### (2) 町外の病院への通院の手段はどうしていますか

「自家用車（本人・家族送迎を含む）」が73.7%と最も多く、次いで「路線バス（家族付き添いを含む）」が12.0%となっています。



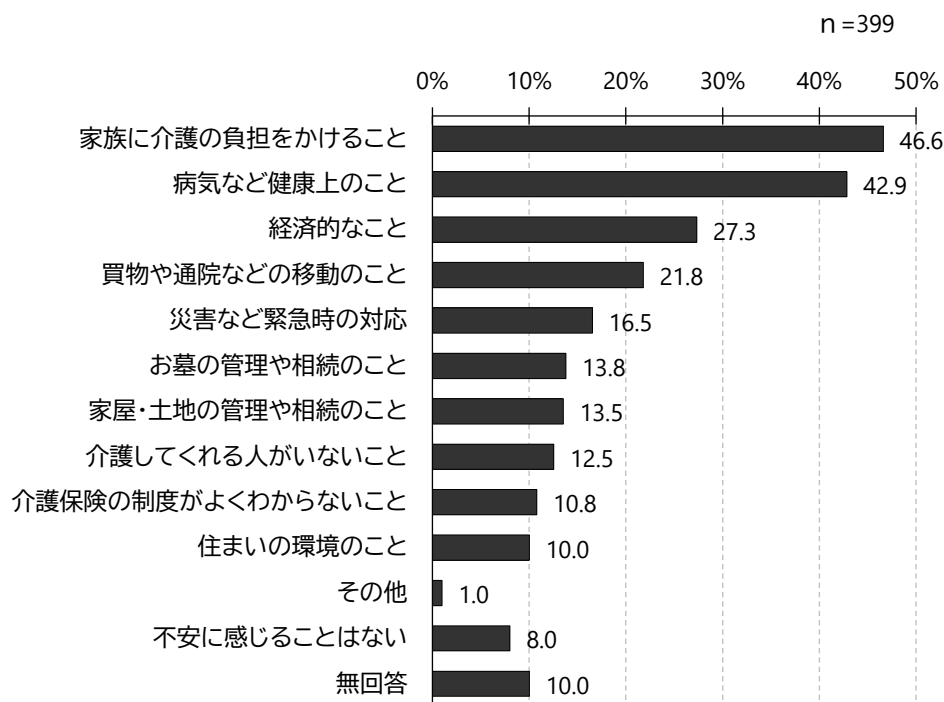
#### 「その他」の主な内容

駅まで車→バス→タクシーで病院／子供にお願いする

## 問 10 今後の生活や暮らす場所などについて

### (1) 今後の生活で不安に感じることはありますか(複数回答)

「家族に介護の負担をかけること」が46.6%と最も多く、次いで「病気など健康上のこと」が42.9%、「経済的なこと」が27.3%、「買物や通院などの移動のこと」が21.8%、「災害など緊急時の対応」が16.5%となっています。

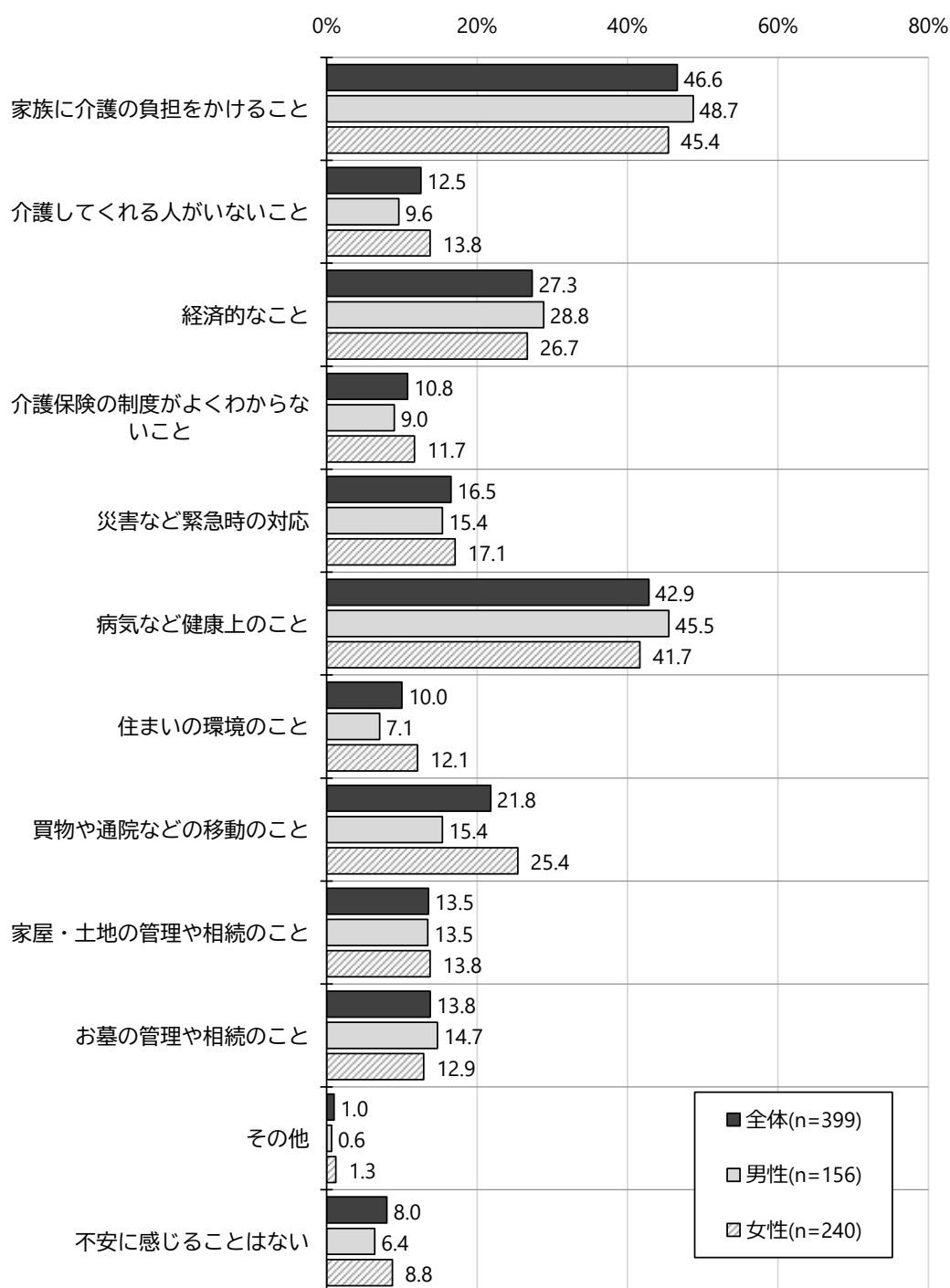


#### 「その他」の主な内容

置戸町にある施設に入居したいが満員で入れない。突然倒れた時に施設が無いのが心配

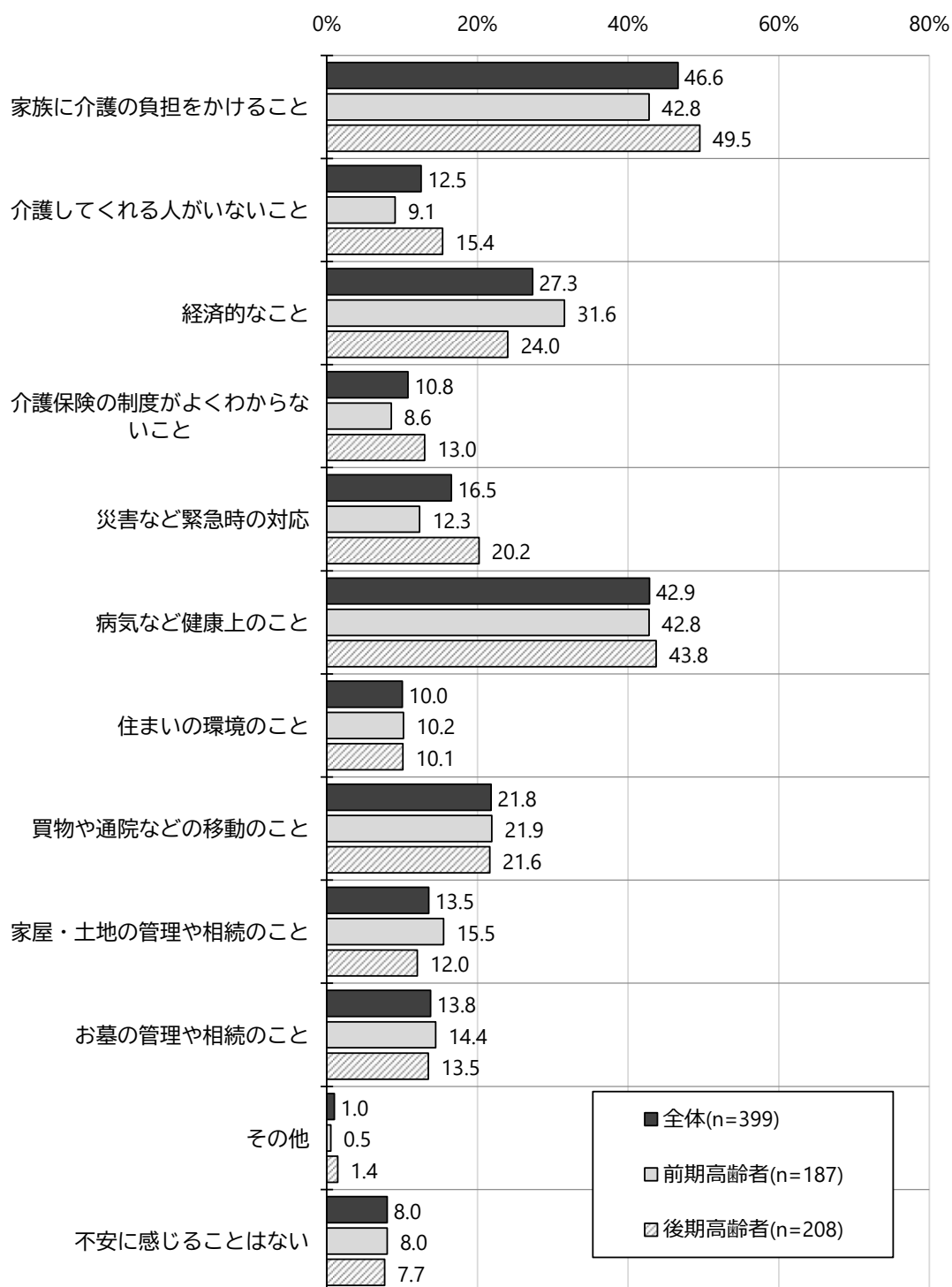
性別に割合をみると、「家族に介護の負担をかけること」「経済的なこと」「病気など健康上のこと」「お墓の管理や相続のこと」は男性の方が高く、「介護してくれる人がいないこと」「介護保険の制度がよくわからないこと」「災害など緊急時の対応」「住まいの環境のこと」「買物や通院などの移動のこと」は女性の方が高くなっています（差が1ポイント以上のもの）。

**性別**



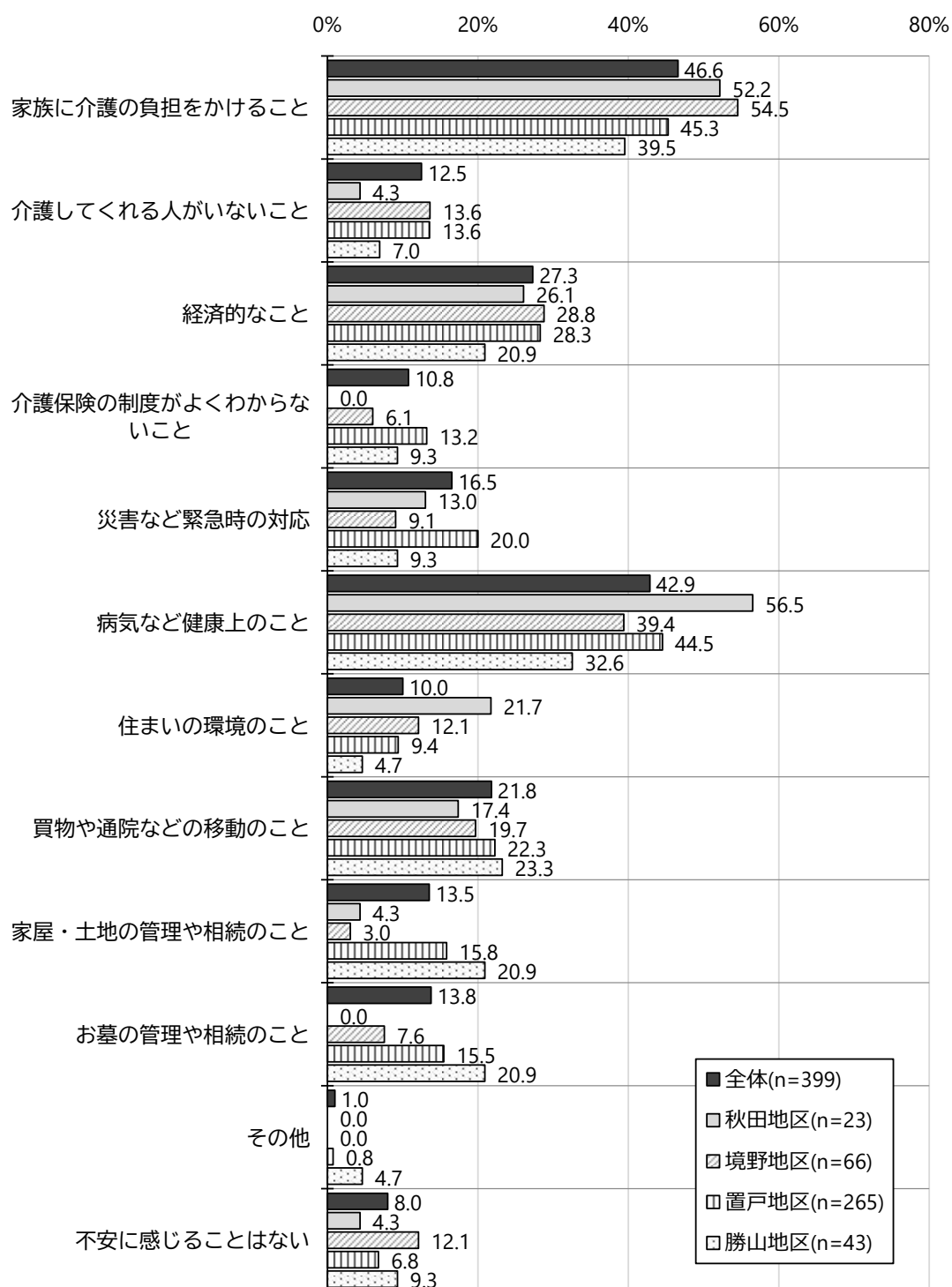
年齢別に割合をみると、「経済的なこと」「家屋・土地の管理や相続のこと」「お墓の管理や相続のこと」は前期高齢者の方が高く、そのほかでは後期高齢者の方が高くなっています。「買物や通院などの移動のこと」はどちらも約21%で、年齢による大きな差がみられません。

**年齢別**



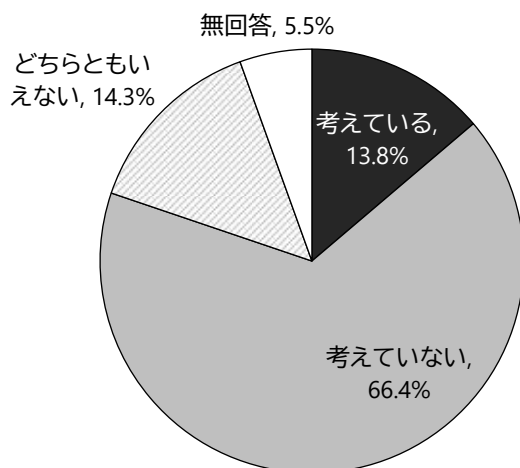
社会環境や財産等に関する項目に着目し、地区別に割合をみると、「災害など緊急時の対応」では置戸地区が、「住まいの環境のこと」では秋田地区が、「買物や通院などの移動のこと」では勝山地区と置戸地区が、「家屋・土地の管理や相続のこと」及び「お墓の管理や相続のこと」では勝山地区と置戸地区がそれぞれ高くなっています。

### 地区別



## (2) 介護の必要性以外の理由で住み替えを考えていますか

「考えていない」が 66.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 14.3%、「考えている」が 13.8%となっています。

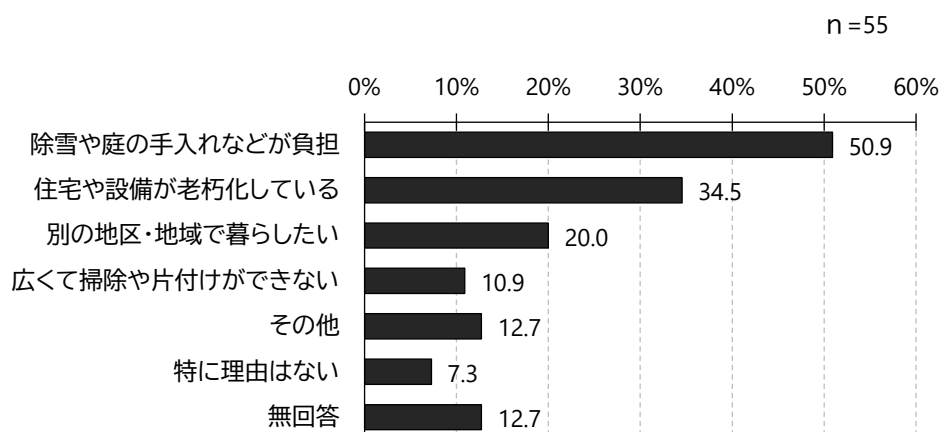


n=399

### (2)で「考えている」を選択された方

#### (2)-① その理由はどうしてですか(複数回答)

「除雪や庭の手入れなどが負担」が 50.9%と最も多く、次いで「住宅や設備が老朽化している」が 34.5%、「別の地区・地域で暮らしたい」が 20.0%、「その他」が 12.7%、「広くて掃除や片付けができない」が 10.9%となっています。



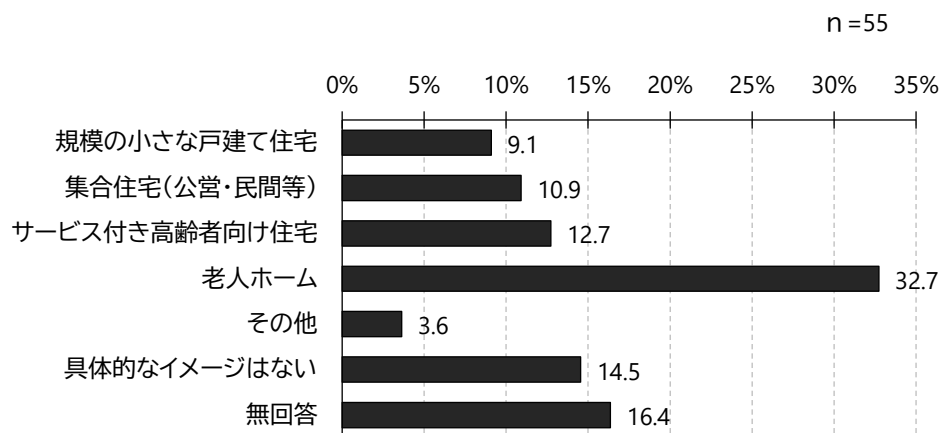
#### 「その他」の主な内容

子供の近くへ行く (2) / ホームへ行く / 子供たちが近くにいないから / 交通手段が無い地区なので免許証返納後は生活できない / 冬だけ出たい

## (2)で「考えている」を選択された方

### (2)-② どのような住宅等への住み替えを希望しますか

「老人ホーム」が32.7%と最も多く、次いで「具体的なイメージはない」が14.5%、「サービス付き高齢者向け住宅」が12.7%、「集合住宅（公営・民間等）」が10.9%、「規模の小さな戸建て住宅」が9.1%となっています。



#### 「その他」の主な内容

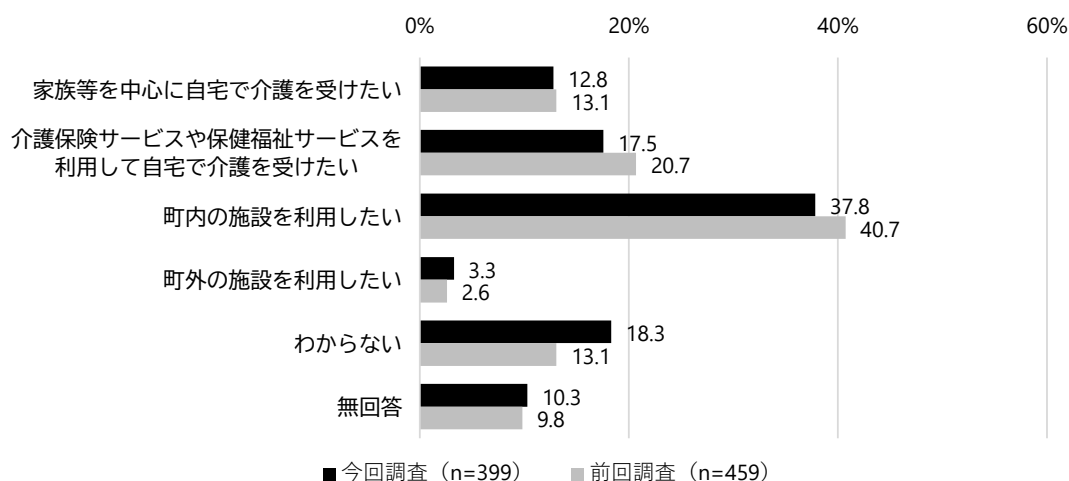
子供宅近くの賃貸アパート



### (3) 介護が必要になった場合、どこで介護を受けながら生活したいですか

「町内の施設を利用したい」が37.8%と最も多く、次いで「わからない」が18.3%、「介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して自宅で介護を受けたい」が17.5%、「家族等を中心に自宅で介護を受けたい」が12.8%、「町外の施設を利用したい」が3.3%となっています。

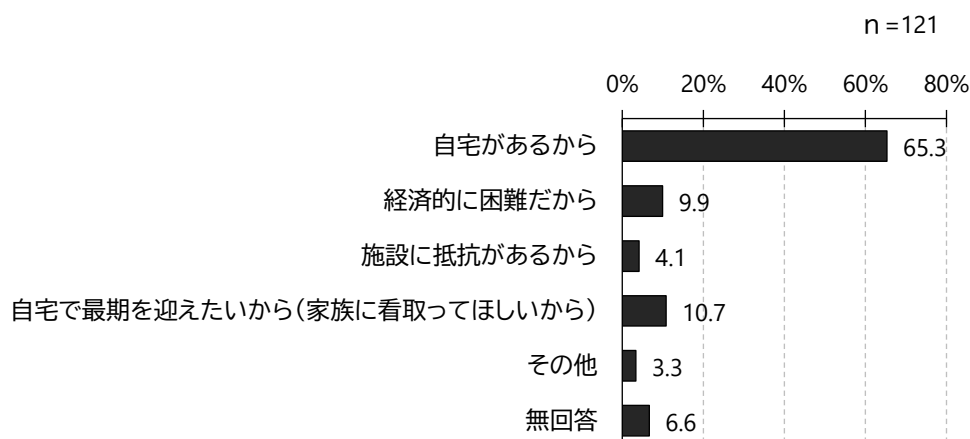
前回調査と比較すると、「介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して自宅で介護を受けたい」や「町内の施設を利用したい」が減少し、「わからない」が増加しています。



### (3)で「家族等を中心に自宅で介護を受けたい」「介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して自宅で介護を受けたい」を選択された方(自宅で介護を受けたい方)

#### (3)-① その理由はどうしてですか

「自宅があるから」が65.3%と最も多く、次いで「自宅で最期を迎えたいから(家族に看取ってほしいから)」が10.7%、「経済的に困難だから」が9.9%、「施設に抵抗があるから」が4.1%、「その他」が3.3%となっています。



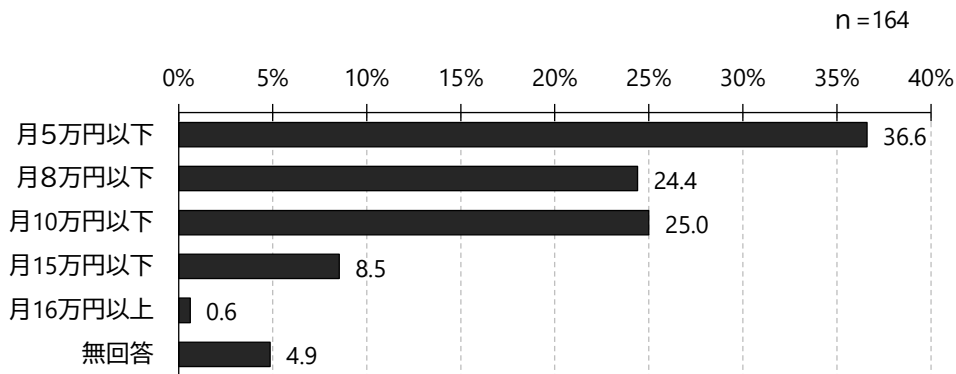
#### 「その他」の主な内容

残された家族が決めてくれたら良いと思う／自分のペースで暮らしたいから

(3)で「町内の施設を利用したい」「町外の施設を利用したい」を選択された方(施設を利用したい方)

(3)-② 施設を利用する場合、施設利用料(食費込み)はどの程度まで負担可能ですか

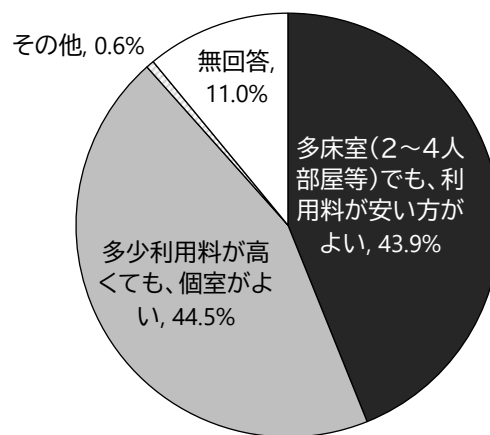
「月5万円以下」が36.6%と最も多く、次いで「月10万円以下」が25.0%、「月8万円以下」が24.4%、「月15万円以下」が8.5%、「月16万円以上」が0.6%となっています。



(3)で「町内の施設を利用したい」「町外の施設を利用したい」を選択された方(施設を利用したい方)

(4) 将来、特別養護老人ホームを利用するとしたら、どのタイプの部屋を希望しますか

「多少利用料が高くて、個室がよい」が44.5%と最も多く、次いで「多床室(2~4人部屋等)でも、利用料が安い方がよい」が43.9%、「その他」が0.6%となっています。



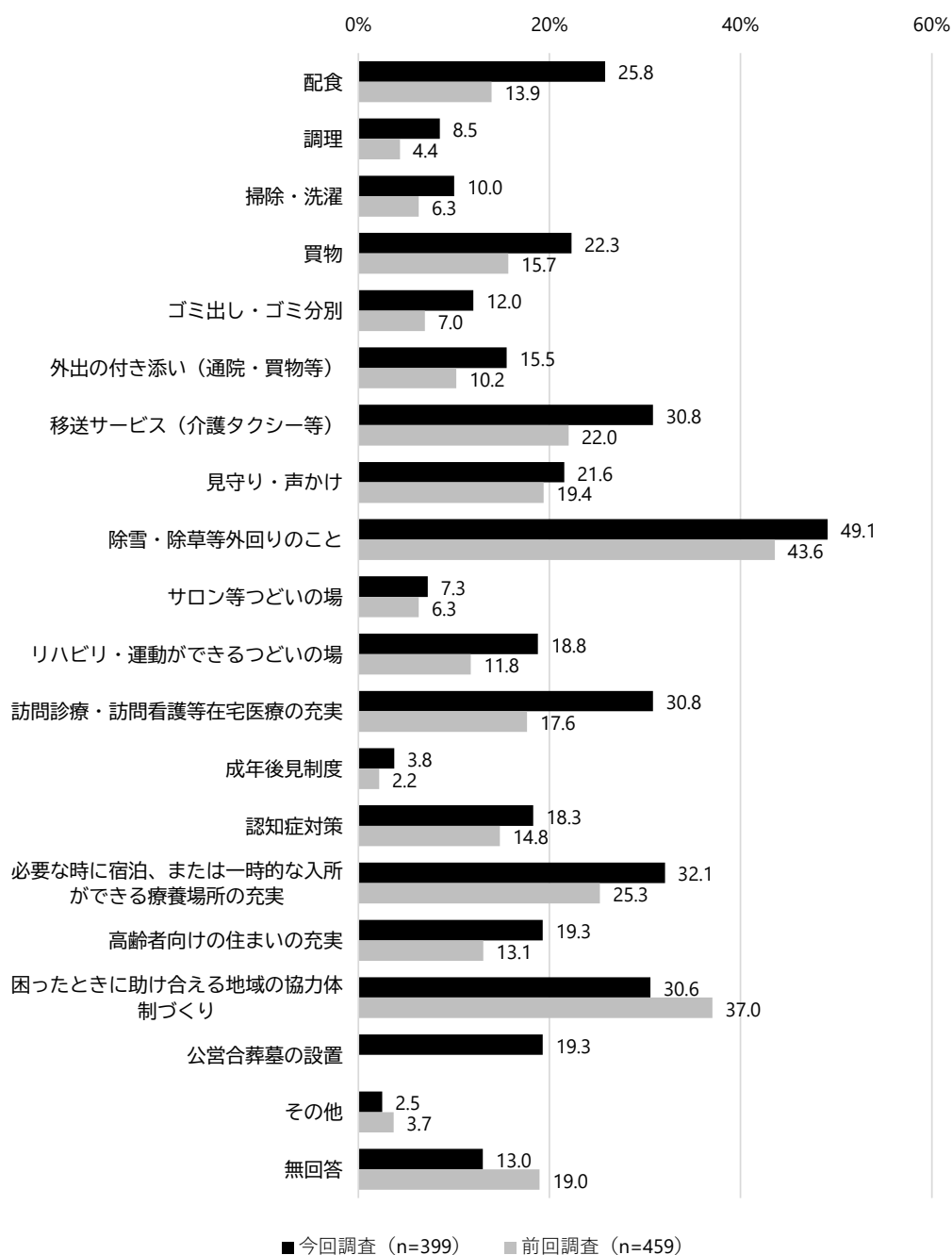
n=164

「その他」の主な内容

老人ホームのお世話にならず最期まで我家でとの思いしかないかもしれません/最期の住み処では仲良く過ごしたいと思います/現在のところわからない

(5) 住み慣れた置戸で暮らし続けていくために必要、またはさらなる充実が必要だと思うサービス等について、お答えください(複数回答)

「除雪・除草等外回りのこと」が49.1%と最も多く、次いで「必要な時に宿泊、または一時的な入所ができる療養場所の充実」が32.1%、「移送サービス(介護タクシー等)」及び「訪問診療・訪問看護等在宅医療の充実」が30.8%、「困ったときに助け合える地域の協力体制づくり」が30.6%となっています。複数回答のため、回答者が必要だと思ったものはそのまま数値に現れていると考えられますが、前回調査と比較すると、「困ったときに助け合える地域の協力体制づくり」以外は全て回答割合の数値が増加しています(「その他」を除く)。

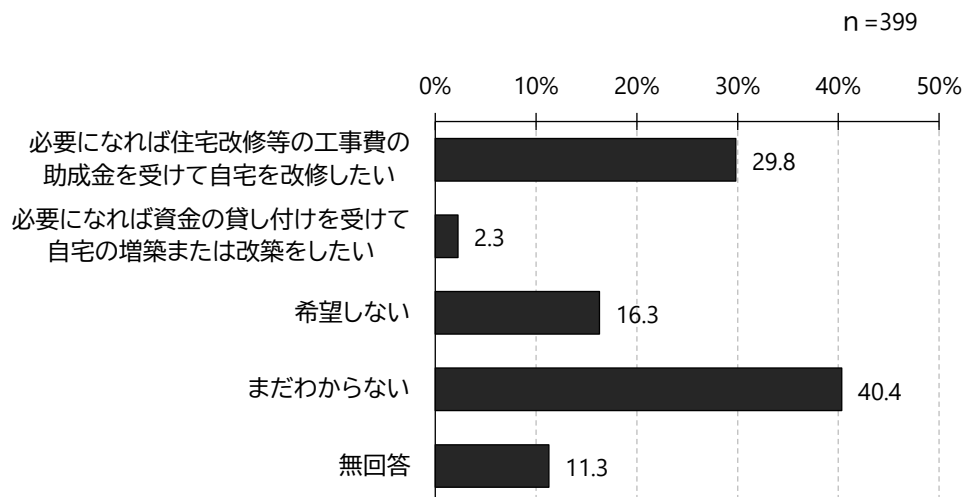


※「公営合葬墓の設置」は前回選択肢がありませんでした。

## 問 12 住まいの整備について

(1) 置戸町では、高齢者等住宅改修費助成事業や老人居室整備資金貸付事業により高齢者の住環境整備の支援を行っていますが、今後、または将来にこれらの制度を利用した住宅改修を希望しますか

「まだわからない」が40.4%と最も多く、次いで「必要になれば住宅改修等の工事費の助成金を受けて自宅を改修したい」が29.8%、「希望しない」が16.3%、「必要になれば資金の貸し付けを受けて自宅の増築または改築をしたい」が2.3%となっています。



# リスク分析

---

今回の調査では、地域の高齢者の課題や必要なサービス等をよりの確に把握するため、前回の調査と同様、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れています。

国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の標準設問には、介護予防事業の「基本チェックリスト」の指標の判定に関する調査項目が設定されており、それらの調査項目を使用したリスク分析が可能です。

本報告書では、生活機能評価として、以下の項目について生活機能が低下している人の状況を分析します。

- 運動機能の低下
- 転倒
- 低栄養
- 認知機能

なお、判定は複数の設問の回答によるものが多く、いずれかが無回答であった場合は正当な判定ができないため、判定不能の処理となります。以下では、回答が判定の要件を満たしておらず判定不能であったものを「無回答」と表記しています。

# 1 運動機能

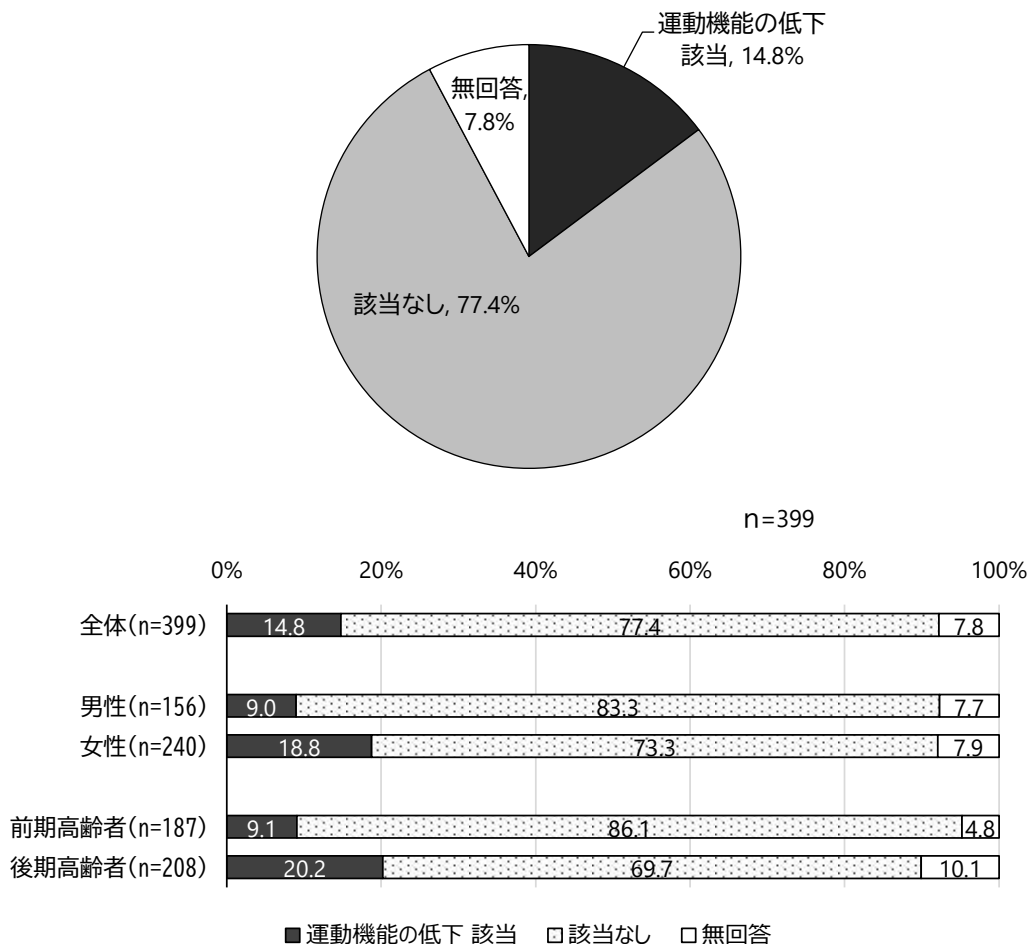
## ▼運動機能の低下 判定基準

設問	0点	1点
問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(3)15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	3. ない	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)転倒に対する不安は大きいですか	3. あまり不安でない 4. 不安でない	1. とても不安である 2. やや不安である



5項目の合計得点	2点以下	3点以上
判定カテゴリ	該当なし	運動機能の低下 該当者

運動機能の低下リスク該当者は14.8%となっています。



## 2 転倒

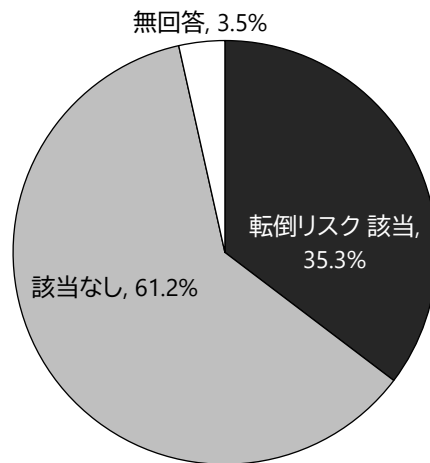
### ▼転倒リスク 判定基準

設問	0点	1点
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	3. ない	1. 何度もある 2. 1度ある

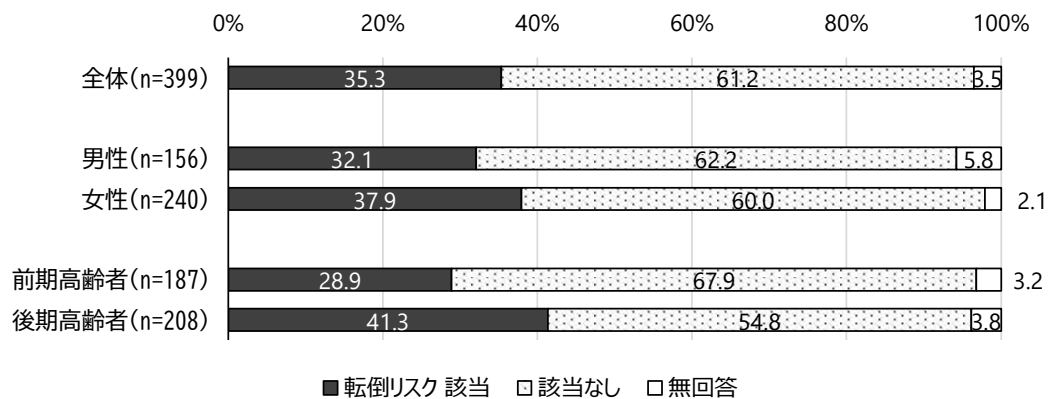


1項目の合計得点	0点	1点
判定カテゴリ	該当なし	転倒リスク 該当者

転倒リスク該当者は 35.3%となっています。



n=399



### 3 低栄養

#### ▼低栄養の傾向 判定基準

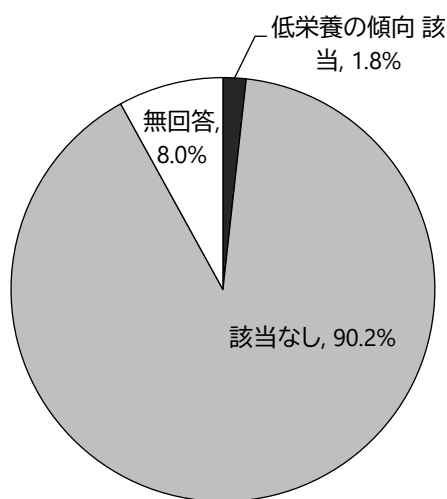
設問	0点	1点
問3(1)BMI(身長・体重)	2. 標準(18.5~25.0 未満) 3. 肥満(25.0 以上)	1. やせ(18.5 未満)
問3(7)6か月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか	2. いいえ	1. はい



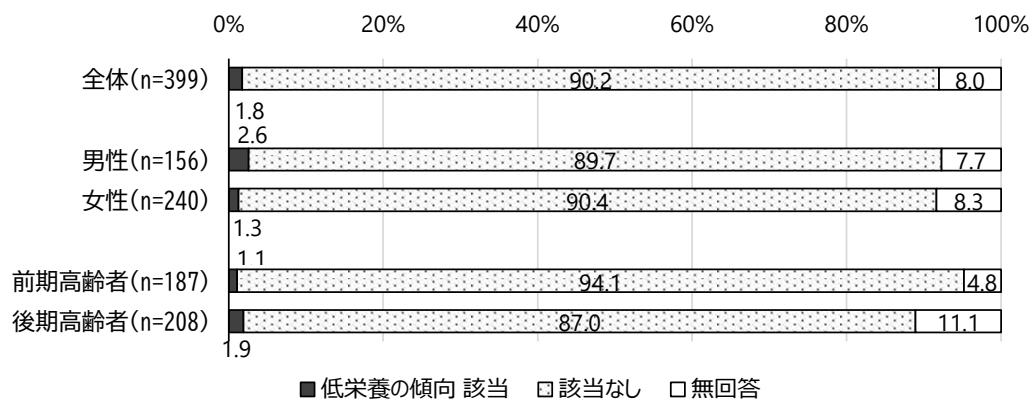
2項目の合計得点	1点以下	2点
判定カテゴリ	該当なし	低栄養の傾向 該当者

※BMI値=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

低栄養の傾向該当者は1.8%となっています。



n=399





## 4 口腔機能

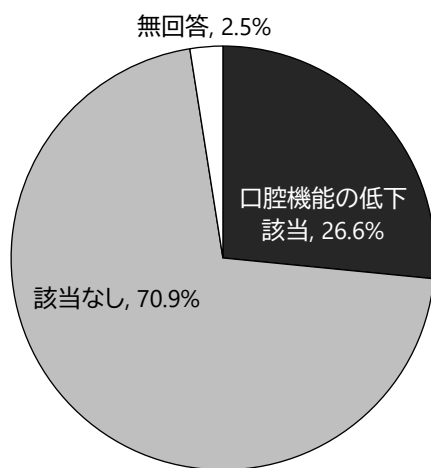
### ▼口腔機能の低下 判定基準

設問	0点	1点
問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	2. いいえ	1. はい
問3(3)お茶や汁物等でむせることがありますか	2. いいえ	1. はい
問3(4)口の湯きが気になりますか	2. いいえ	1. はい

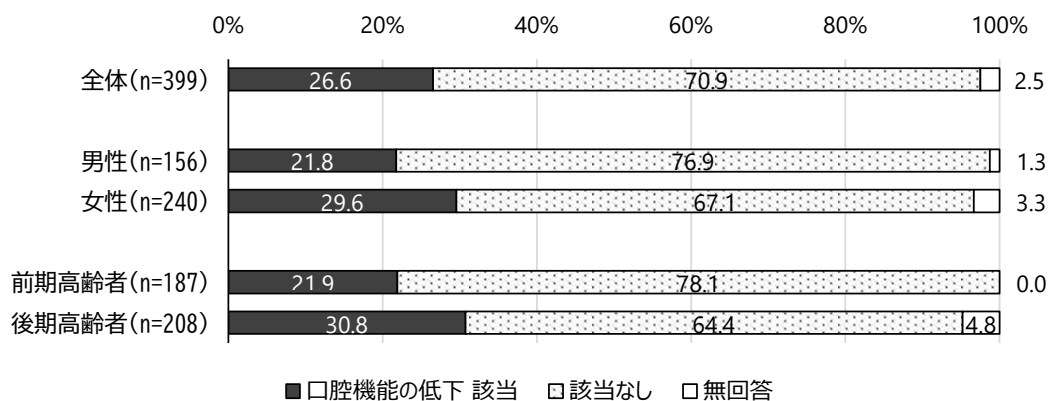


3項目の合計得点	1点以下	2点以上
判定カテゴリ	該当なし	口腔機能の低下 該当者

口腔機能の低下該当者は26.6%となっています。



n=399



## 5 認知機能

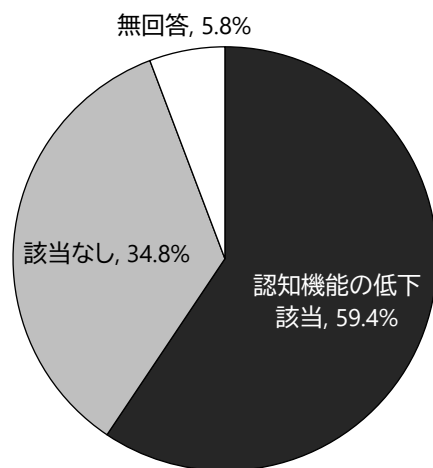
### ▼認知機能の低下 判定基準

設問	0点	1点
問4(1)物忘れが多いと感じますか	2. いいえ	1. はい
問4(2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
問4(3)今日が何月何日かわからないときがありますか	2. いいえ	1. はい

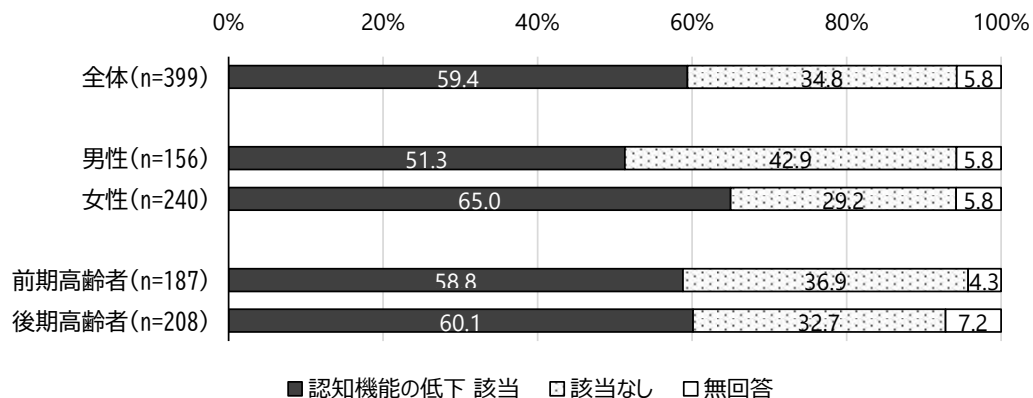


3項目の合計得点	0点	1点以上
判定カテゴリ	該当なし	認知機能の低下 該当者

認知機能の低下該当者は59.4%となっています。



n=399

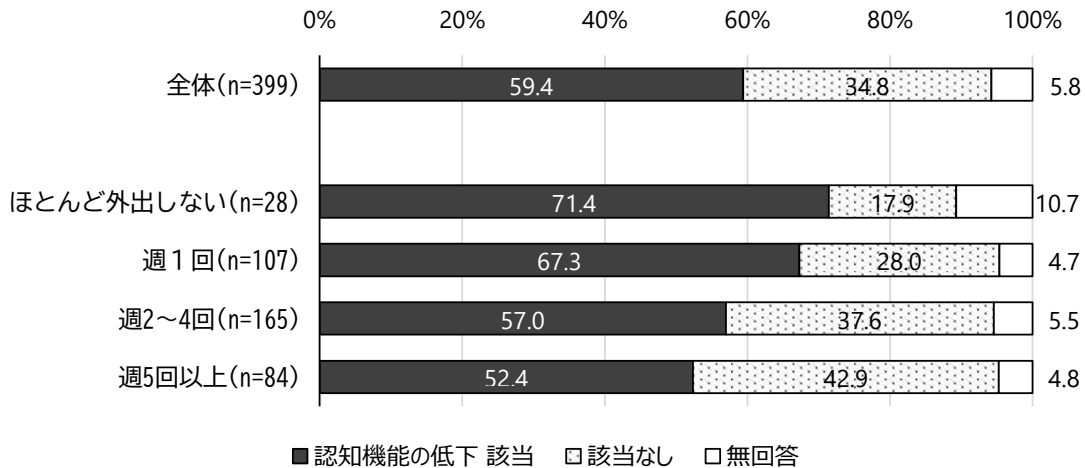


## 6 認知機能の低下リスクの該当者クロス集計

リスク分析による認知機能の低下リスク判定結果と、いくつかの調査項目をクロス集計した結果を以下に示します。以下の「無回答」は、リスク分析において判定不能であったものを表しています。

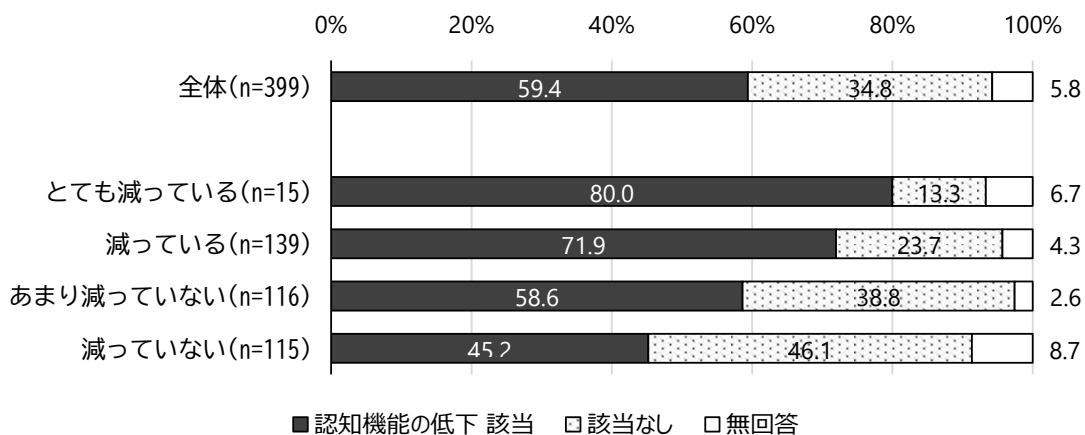
### 問2(6) 週に1回以上は外出していますか × 認知機能の低下リスク

外出頻度が低いほど、認知機能の低下リスクに該当する割合が高くなっています。「ほとんど外出しない」では、71.4%と、7割以上がリスク該当者となっています。



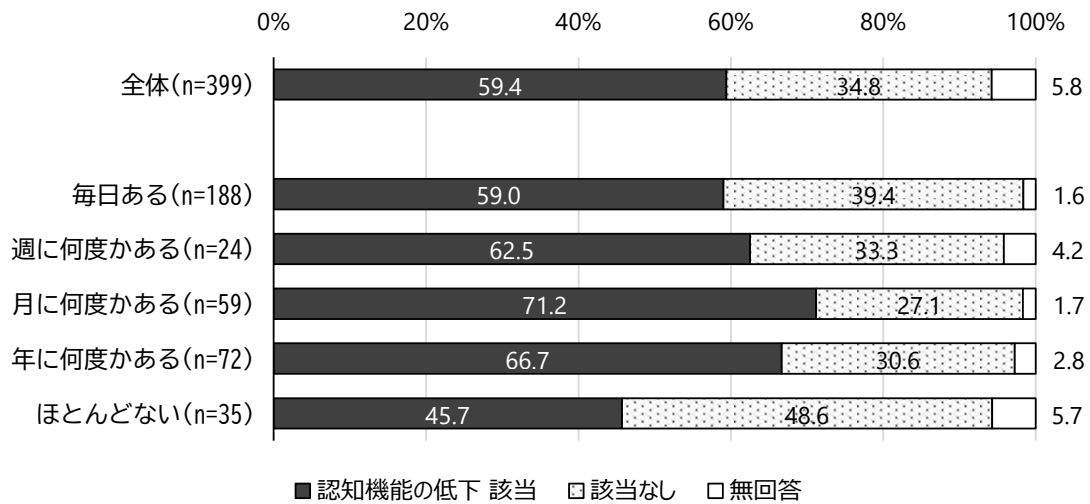
### 問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか × 認知機能の低下リスク

外出頻度と同様の相関関係がみられます。(昨年と比べて)外出の回数が減っているほど認知機能の低下リスクに該当する割合が高くなっています。「とても減っている」では、80.0%と、8割がリスク該当者となっています。



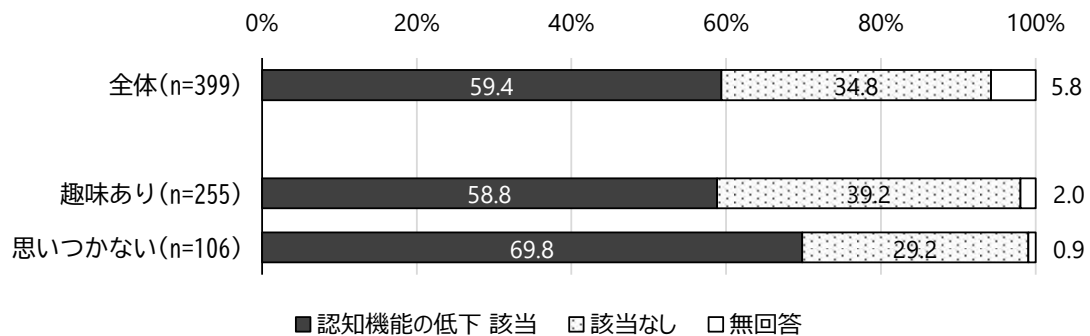
### 問3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか × 認知機能の低下リスク

どなたかと食事をとる機会の多さとの相関関係は明確にはみられません、「毎日ある」から「月に何度かある」までは、機会が少なくなるにつれて認知機能の低下リスクに該当する割合が高くなっています。



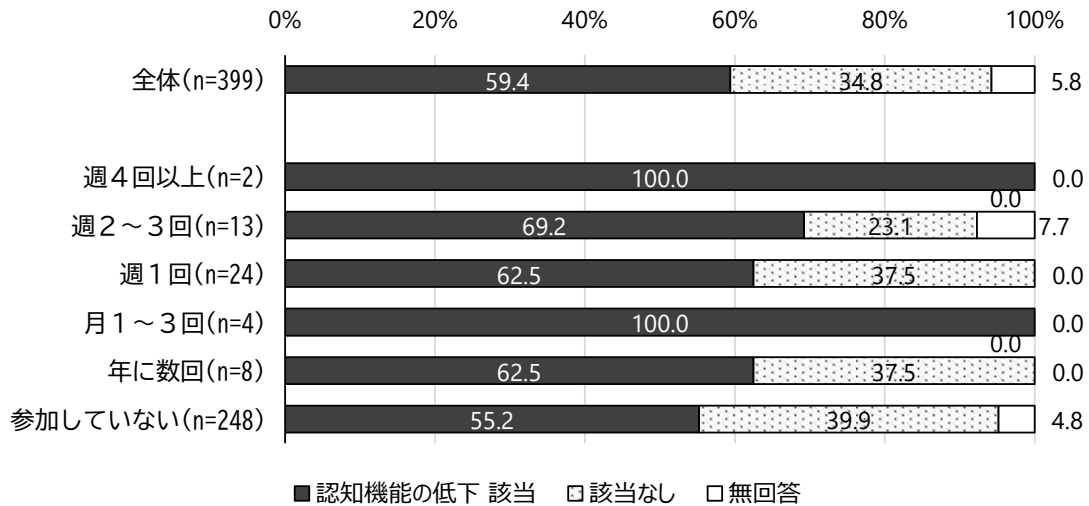
### 問4(17) 趣味はありますか × 認知機能の低下リスク

「趣味あり」のほうが、認知機能の低下リスクに該当する割合が低くなっています。ただし、この結果だけで因果関係の方向は確定できません。「趣味のある人がリスクが低い」「リスクの高い人が趣味を思いつかない」の二通りの関係性が考えられます。



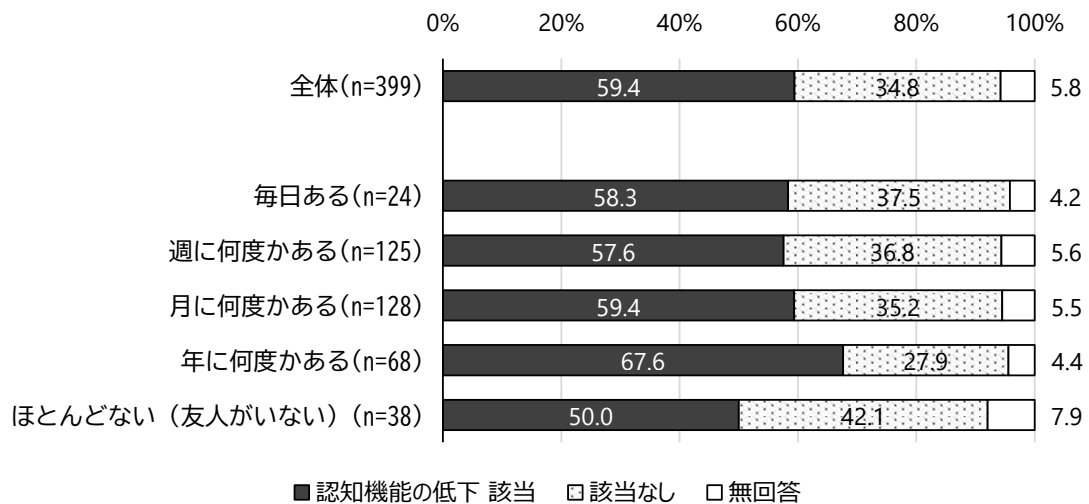
問5(1) 会・グループ等への参加頻度／⑤(いきいき運動クラブ、いきいき百歳体操など)  
介護予防のための通いの場 × 認知機能の低下リスク

介護予防のための通いの場への参加頻度が高いほど認知機能の低下リスクが低くなるかを検証するために行ったクロス集計ですが、相関関係は特にみられませんでした。



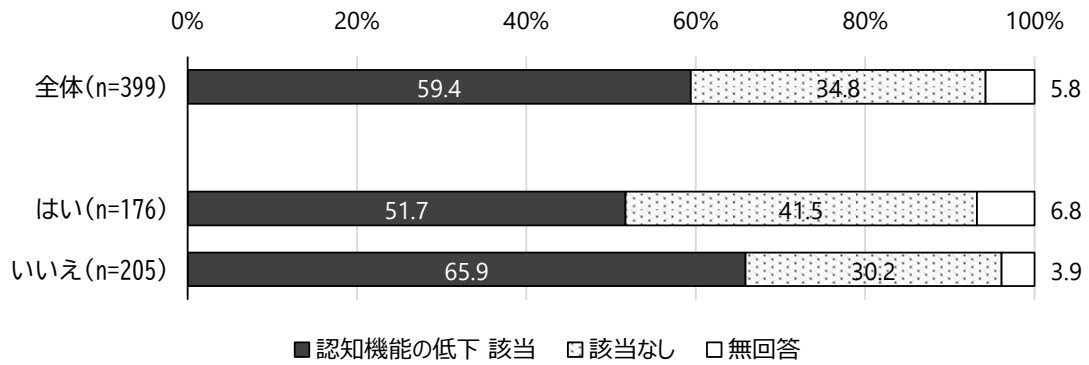
問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか × 認知機能の低下リスク

友人・知人と会う頻度が高いほど認知機能の低下リスクが低くなるかを検証するために行ったクロス集計ですが、相関関係は特にみられませんでした。



## 問8(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか × 認知機能の低下リスク

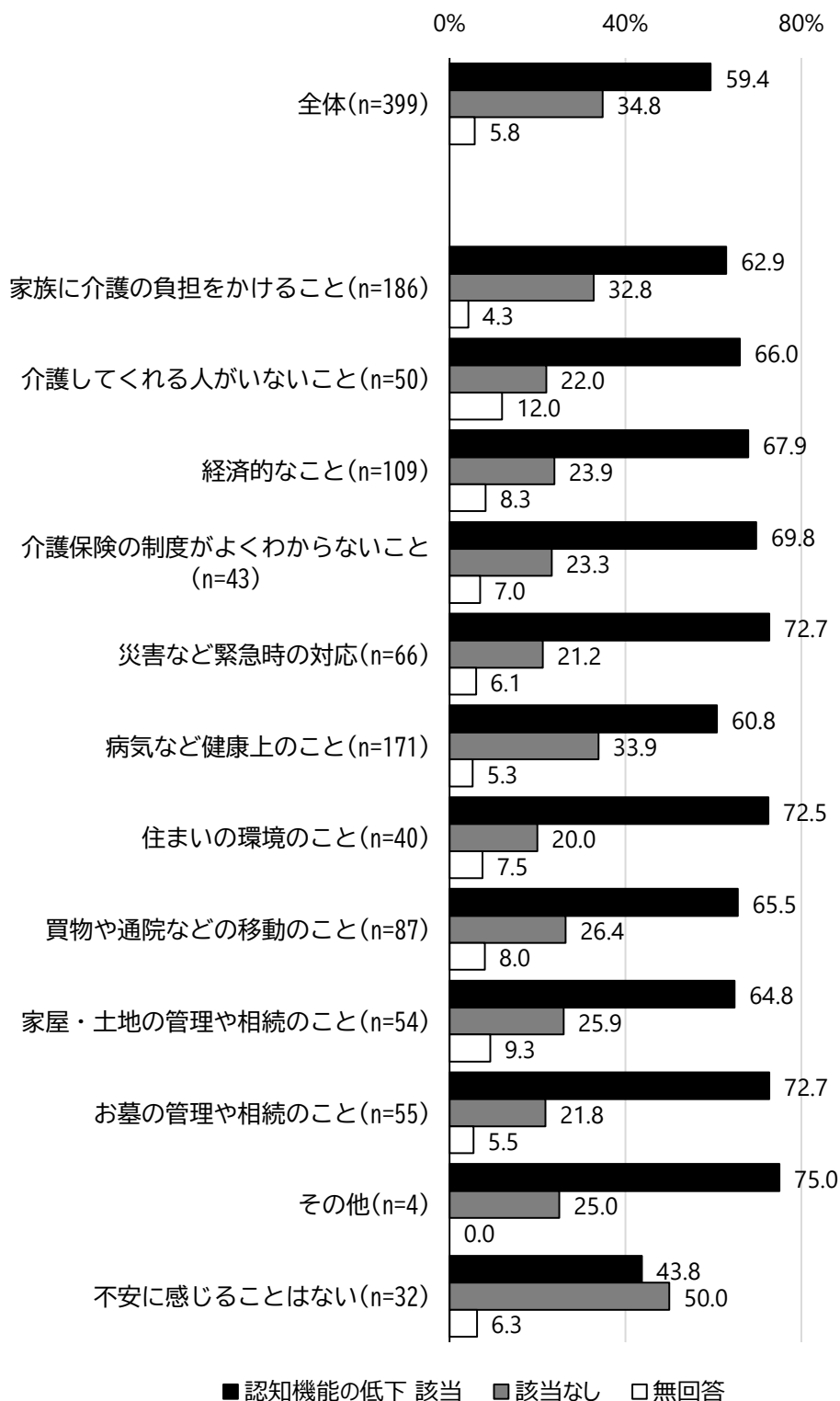
「いいえ」の回答、つまり認知症に関する相談窓口を知らない人の方が認知機能の低下リスクが高くなっています。逆の捉え方をすると、リスク該当者の多くが窓口を知らない状態、ということもできます。



## 問 10(1) 今後の生活で不安に感じることはありますか × 認知機能の低下リスク

認知機能の低下リスク該当者における回答の割合が7割を超えている項目は、「災害など緊急時の対応」「住まいの環境のこと」「お墓の管理や相続のこと」「その他」となっていますが、この結果だけでリスク該当者への支援の方向性を議論することは適切ではないと思われます。

「不安に感じることはない」では、リスク該当者よりも非該当者の回答割合が高くなっています。



# 自由意見

---

高齢者福祉や介護保険について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

※ご意見の後に【性別・年齢】を記載しています。無回答の属性は NA と表示しています。

## 【介護保険・サービス・要望・提案】

- 介護保険、もう少し考えてほしいです。 【女性・80～84 歳】
- 1 人暮らしですが、体調不良の時、心細い時、ほのかで 1 日でも申し込みしていなくても、緊急の時、対応してくれましたらありがたいです。1 人暮らしだとお風呂に入浴等の対応をしてほしいと思います。 【女性・80～84 歳】
- 介護保険については、あまり把握できていません。 【女性・75～79 歳】
- 町で除雪はあるようですが、除草がないみたいなので、外回りのことがあると良いと思う。 【女性・75～79 歳】
- タクシーを利用したいことがありますが、何か助成はありますか？ 【女性・85～89 歳】
- 一人になって一年を振り返って、夏場は花、野菜と動き、楽しいのですが、問題は冬場で一番辛かった除雪ですね。機械はありますが、乗ることができません。それと今はスマートフォンがありますが、体の調子が悪くなった時にボタン一つで連絡できる電話があれば嬉しいです。用事がなくても、色々な話も聞かせて下さい。 【女性・75～79 歳】
- 1 人暮らしをしている 81 歳ですが、冬になると除雪が 1 番の心配です。夏は草が出ますが、それは運動のために花を植えたりして楽しんでいますが、冬は業者さんに頼んでいます、私の年金生活では大変です。よろしく願います。 【女性・80～84 歳】
- 娘と 2 人暮らしですが、1 人になることもあり、多少不安になることがある。防犯ブザーは 1 人暮らししか付けられないのでしょうか？ 【女性・85～89 歳】
- コロナ禍とはいえ、親族の所に行っても会うこともできず淋しい気持ちで帰ってきます。入所中（養護ホーム、特養ホーム）の人も同じ気持ちだと思います。何か工夫が必要だと思います。 【男性・75～79 歳】
- 年齢的に 70 歳 80 歳代、そんな話し場が月に 1 度でもあって、心を一つにして励まし合い、笑い声ができ、前向きに生きていけることを願っています。 【女性・85～89 歳】
- 健康な老人は高齢者福祉や介護保険に無関心だと思う。まずは意識改革を。 【男性・70～74 歳】
- 冬の除雪を安くしてもらえませんか。 【女性・70～74 歳】
- 福祉通院バスの利用者が、足腰に不安のある方にできる限り自宅～病院・病院～自宅へと送迎があると、老人及び足の不自由な方々にとって大変便利です、ありがたいと思うので、ぜひ自宅送迎ができることを望みます。 【男性・70～74 歳】
- 高齢者と子供たちの交流や、ふれあいの場があるといいなと思います。 【女性・70～74 歳】



- 困ったときに話を聞いて下さい。そして書いたりするときには書けません。手伝ってくださることが助かります。 【女性・80～84 歳】
- 老人ホームの建て替えを早く、市街地に建てて欲しい（特養、養護共に）。安心して老後が送れるように（日赤と併設してはどうか?）。 【男性・70～74 歳】
- 組織の充実を。高齢化社会に向けた人員配置を。施設の利用の仕方、入口の方向等、利用者にとって望ましい施設の在り方等の検討をぜひ行って下さい。 【男性・80～84 歳】
- 「置戸町暮らしサポートガイドブック」製作・配布の要望。今回、置戸町に於ける高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するようですが、現在どのような福祉計画や介護保険事業が実施されているのか全くわかりません。もちろんこれまで広報やチラシ、ホームページで断片的にその都度情報を出しているようですが、実際に必要とならなければそうした情報は気に留めていないのが現状と思います。そこで、私たち町民が日常的な暮らしをする中で、現在置戸町が実施している支援制度や、助成制度など「住まい」「産業・企業」「水道」「教育・文化・スポーツ」「減免・免除・補助制度（税金・国民年金・優待券等）」「健康（検診・健診）」「子供と親の福祉」「高齢者の福祉」「障がい者の福祉」「その他の福祉」「暮らしの情報など」に分類して、各種支援制度一覧をまとめた「置戸町暮らしのガイドブック」を製作し各世帯に配布して下さい。私たち町民がこの暮らしサポートガイドブックをすぐ閲覧できる場所に保管し、この暮らしサポートガイドブックを利用することで、日常的な暮らしが少しでも楽になれるツールとして要望いたします。せっかく置戸町が用意してくれた各種の支援・助成制度を有効に活用できるよう望みます。 【男性・70～74 歳】
- ウォーキングルート（例えば堤防）に仮設トイレやベンチがあれば、安心して健康づくりを楽しむことができるのではないかと思います。 【男性・65～69 歳】

#### 保険料

- 介護保険料高いな～…。 【女性・65～69 歳】
- 介護保険のことですが、また上がると聞いています。今ようやくやりくりして暮らしているのに、これ以上上がるとどうなるのか心配です。 【女性・85～89 歳】
- 物価高、公共料金値上げなど、年金生活者には苦しい生活になっている中ですので、介護保険料上げ巾は最小限にとどめて下さい。 【男性・70～74 歳】

#### 困りごと・悩みごと

- 私は高齢で 84 歳になり、ここ 1～2 年で次々と持病が悪化しだし、毎日の生活がやっとの暮らしです。いつ倒れるかわからず、心配してます。置戸の街中に介護の施設があり、すぐに入居のできる、緊急でも良いと思う施設があると安心する。 【男性・80～84 歳】
- 老人が多くなり、色々介護していただけると助かります。よろしく願い致します。歳とともにいろんなところが弱っています。 【女性・80～84 歳】
- 介護保険料が高く、年金が減り、物価は高く今後大変。道路と歩道の除雪が大変。アンケートに書いて出したら、お金を払っている人たちもいるからの返事。自分の敷地ならまだしも、道路と歩道の除雪をいつまでしなくてはならないのか。年齢を重ねていくのに? 【女性・75～79 歳】
- 今は自分も配偶者も運転ができるので困ってはいないが、運転が難しくなった場合のことをいつも考えています。子供たちは地方にいますし、友人たちも同じ高齢者ですので。 【女性・70～74 歳】

- 最期まで今の住宅に住み続けたくても、車の運転ができなくなれば住み続けることは不可能。 【女性・65～69歳】

#### 感謝

- 介護保険を利用して助かっています（デイサービスも含む）。 【女性・75～79歳】
- ヘルパーさん、病院への送迎等々、大変お世話になっております。本当に感謝です。ありがとうございます。 【女性・70～74歳】
- 高齢者に対し、こと細かく気遣って下さって、安心して置戸に住めます。ありがとうございます。 【女性・85～89歳】
- 年齢を重ねることは、自分のことが少しずつできなくなることだ、ということを知っては理解していたつもりでしたが、80歳と少しを過ぎ、今までとは違う体調の変化を感じるようになりました。ケアマネの方が自宅訪問をして下さったり、お年寄りに寄り添って下さっていることに感謝しています。できるだけ、自分でできることは自分でを心掛け、いつどうなるかの不安を感じながらも、すぐ相談に乗って下さる福祉関係の方々への御配慮に感謝しております。こんなことあんなことをと思わず、何かありましたらすぐご相談させて頂きたいと思います。夜遅くまで、明かりをつけ残業の多い毎日をごさされております職員の皆様、本当にお疲れ様です。若い時と違い、体の変化を十分認識し、年齢に合った身の振りを考えながら生活していこうと思っています。今後共よろしくお願い致します。 【女性・80～84歳】

#### その他

- 独居の方々、低所得者の方々、障害を持っている方々に優しい対応は当たり前ですが、現実にはそうはなっていません。残念ですね…。 【男性・65～69歳】
- 今後、車の免許のことを考えながらと思っています。 【男性・80～84歳】
- 1人暮らしをしていますが、若い時の貯蓄もなく、これから先、年金だけしかなく、介護保険料が高く、病院へ行くのも我慢したり、介護料は何が基本になって決まるのか知りたい。ホームにもお金がなくて行けないし、持ち家でなんとか暮らそうと頑張っている。 【女性・75～79歳】
- まだその場になってみたいとわからない。 【男性・65～69歳】
- 住み続けたいです。よろしくお願ひしたい。 【女性・80～84歳】
- 除雪車ドライバーの個人的関係、身内等には玄関までキレイにし、隣の無関係なところは無視！むしろ隣の雪を置いて行く（世間話で聞いた）。そんな不平等なことはやめて下さい。年寄りには体力がない弱者です。水道料金のように、多少の有料は出してもいいから、腹の立つ除雪はやめて下さい。役場と業者とドライバーにヨロシクお願ひ!! 【女性・90～94歳】
- 調査結果はどのように反映してるのか？ 【女性・70～74歳】